

第5次瑞穂町長期総合計画
後期基本計画策定に係る基礎調査報告書

令和7年3月

瑞穂町

目次

1 章 時代潮流

1. はじめに	3
2. 社会情勢の変化	4
1) 人口・世帯の縮小がもたらす影響	4
2) 第4次産業革命のうねり	5
3) 新たな都市間競争	5
4) 世界的な気候変動などに対する危機管理	6
5) 人生 100 年時代の到来	6
6) 人のつながり・生活空間の変化	7
7) 多摩都市モノレールの延伸とまちづくり	7
3. 社会の変化がもたらす、町への影響	8
1) これから目指す瑞穂の姿	8
2) 重視すべき視点	10

2 章 統計データ等による基礎調査

1. 西多摩地域と瑞穂町	15
1) 地理的特性	15
2) 広域交通網	17
2. 人口・世帯	20
1) 人口	20
2) 世帯	21
3) 世帯類型	23
4) 年齢階層別人口（人口3区分）	24
5) 外国人人口	26
6) 15 歳以上の自宅外通勤通学者流出入口	28
7) 昼間人口と夜間人口	29
8) 社会移動	30
3. 健康・医療	34
1) 平均寿命	34
2) 65 歳健康寿命	35
3) 出生数と出生率	37
4) 合計特殊出生率の推移	38
5) 死亡数と死亡率	39
6) 瑞穂町を取り巻く広域医療圏（西多摩圏域）の状況	41
4. 福祉	45
1) 社会福祉施設の状況	45

2) 年少人口・老年人口の割合	47
3) 介護保険被保険者、認定者、受給者の状況	49
4) 心身障がい者（児）居宅介護（ホームヘルプ）実施状況	50
5) 保育所	51
6) 児童館、学童クラブ及び職員の状況	52
7) 生活保護	53
5. 産業	54
1) 産業分類別従業者及び事業所数	54
2) 労働力状態	60
3) 事業所数、従業者数、製造品出荷額等（製造業）	64
4) 事業所数、従業者数、年間販売額（商業）	67
5) 農業経営体数	68
6) 経営耕地面積	69
7) 森林面積、林野率	71
6. 都市基盤	72
1) 都市計画の状況	72
2) 道路状況	75
3) 都市公園	76
4) 下水道	77
5) 住宅	78
6) 自動車保有台数	81
7) 土地	82
7. 環境	84
1) 公害	84
2) ごみ	85
3) 資源化・最終処分	86
8. 教育・文化	87
1) 学校数	87
2) 公立学校の学校給食	88
3) 社会教育施設の状況	89
4) 社会体育施設の状況	90
5) NPO 活動等	91
9. 防犯・防災	92
1) 犯罪件数	92
2) 火災	93
3) 交通事故（人身事故）	94
10. 行財政	95
1) 市町村民税の課税状況	95
2) 普通会計決算の状況（市町村民税）	96
3) 普通会計決算の状況（性質別歳出）	97

4) 会計決算の状況（目的別歳出）	98
5) 主要財政指標	99
6) 財政健全化判断比率.....	100
7) 職員数	102
8) DX の進捗状況	103

3章 関連計画等

1. 分野別の計画	107
1) 主な計画の種類と期間.....	107

4章 各種意見

1. 町長への手紙の分析.....	113
2. みずほ小・中学生議会における一般質問の内容分析	117

1 章 時代潮流

1. はじめに

令和2年に発生した新型コロナウイルス感染症をきっかけに、町を含めた社会の動向は大きく変化している。

本調査では、令和元年に調査した「1. 人口・世帯の縮小がもたらす影響」、「2. 第4次産業革命のうねり」、「3. 新たな都市間競争」、「4. 世界的な気候変動などに対する危機管理」、「5. 人生100年時代の到来」、「6. 人のつながり・生活空間の変化」、「7. 多摩都市モノレールの延伸とまちづくり」の変化等について示すとともに、社会の変化がもたらす町への影響について、第5次瑞穂町長期総合計画の基本構想で掲げる、「これから目指す瑞穂の姿」及び「重視すべき視点」から考察する。

2. 社会情勢の変化

ここでは、「第5次瑞穂町長期総合計画策定に係る基礎調査報告書」で示した7つの社会情勢について、状況の変化及び現状の課題を示す。

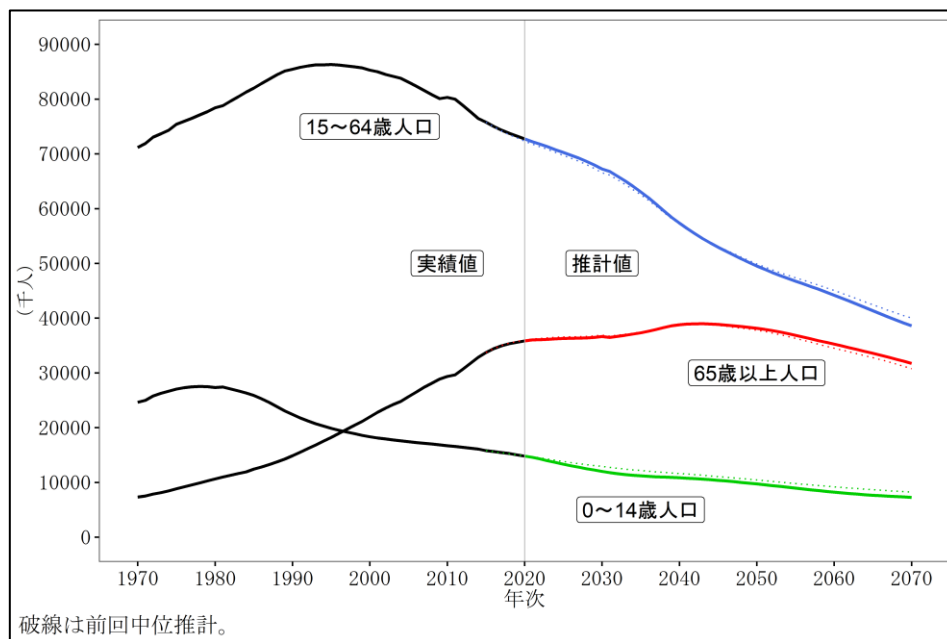
1) 人口・世帯の縮小がもたらす影響

15～64歳人口は引き続き減少傾向にあり、本格的な人口減少と超高齢社会の到来や、人口構造や世帯の縮小については、令和元年に町で実施した基礎調査からの5年間で大きな変化は見られず、引き続き課題となっている。

2025年に団塊世代の後期高齢期に移行することにより、労働人口の減少^{※1}や地域における町内会、自治会活動の担い手の減少^{※2}など、様々な分野における人手不足が予測される。

また、世帯の縮小により、特に単身世帯における社会からの孤立が注目されるようになり、高齢単身世帯の生活支援や、若者世代への居場所づくりや相談体制づくりなど^{※3}、年齢を問わず孤立化を防ぐ取組が重視されつつある。

■日本の年齢別人口の推移（年齢3区分別）^{※4}



出典：「日本の将来推計人口（令和5年推計）「結果の概要」」国立社会保障・人口問題研究所

※1 「令和6年版労働経済の分析～人手不足への対応～」第Ⅱ部人手不足への対応 p113、（令和6年9月）

※2 「地域コミュニティに関する研究会報告書」地域コミュニティに関する研究会（総務省）（令和4年）

※3 「2050 東京戦略（案）」28の「ビジョン」と「戦略の柱」 04 若者 p115（東京都）（令和7年1月）

※4 上記グラフにおける2020年より右側は予測値

2) 第4次産業革命のうねり

テクノロジー技術はこの5年間で大きく進化している。また、新型コロナウイルス感染症拡大の影響によって、オンラインによる学習やイベントへの参加、商品やサービスの提供など、企業等によるデジタル技術の活用が大幅に進んだ。^{※1}

その後、令和4年頃よりAI技術が急速に発展し、テキスト、画像、音声などを自律的に生成できる「生成AI」の世界の市場規模は2021年の2.3億ドルから2025年は21.7億ドル（予測値）と拡大し、今後もさらに拡大することが予測されている。^{※2}一方で「生成AI」の利用による知的財産権の侵害や、偽・誤情報の拡散及び犯罪への利用等が社会問題となっており^{※3}、世界各地で利用ルールの検討が課題となっている。

国においてはSociety5.0^{※4}の実現のためのスマートシティ^{※5}、DX^{※6}等の推進に力を入れ、自動運転の実用化に向けた公道での社会実験やインフラ管理のデジタル化^{※7}など、各分野において研究が進められている。東京都においてもデジタルの力で都民が質の高い生活を送る「スマート東京」^{※8}の実現に向けた取り組みを進めている。

※1 「令和3年情報通信白書」第1部第2章コロナ禍で加速するデジタル化（総務省）

※2 「2050 東京戦略（案）」02 都政を取り巻く情勢の変化（AI テクノロジーの進化）（p56）（東京都）

※3 「令和6年情報通信白書」第1部第4章デジタルテクノロジーの課題と現状の対応策（総務省）

※4 1.0（狩猟社会）、2.0（農耕社会）、3.0（工業社会）、4.0（情報社会）に続く新たな社会。第5期科学技術基本計画（平成28年1月22日閣議決定）において、「サイバー空間とフィジカル空間を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する人間中心の社会」として提唱された。「Society5.0」（内閣府）

※5 グローバルな諸課題や都市や地域の抱えるローカルな諸課題の解決、また新たな価値の創出を目指して、ICT等の新技術や官民各種のデータを有効に活用した各種分野におけるマネジメント（計画、整備、管理・運営等）が行われ、社会、経済、環境の側面から、現在および将来にわたって、人々（住民、企業、訪問者）により良いサービスや生活の質を提供する都市または地域。「Society5.0の実現に向けた科学技術・イノベーション政策」（内閣府）

※6 デジタルトランスフォーメーションの略。デジタル技術を使い既成概念の破壊を伴いながら新たな価値を創出するための改革「令和3年情報通信白書」第1部第1章デジタル化の現状と課題

※7 「第2期デジタルライフライン全国総合整備実現会議 第1回事務局資料」（経済産業省）（令和6年9月）

※8 「2050 東京戦略（案）」2050 東京戦略の全体像（p66）、戦略11 デジタル（p190）（東京都）

3) 新たな都市間競争

「人が魅力を感じ、集まるのは、居心地の良さ、かっこよさ、本物感などを持つ、多様な要素にあふれた都市であり、これまでの取組を維持・発展させながら、これらの要素にも着目したより高いレベルのまちづくりに向けた新しい取組が求められている」と言われている。^{※1} これからの町の魅力づくりは、多摩都市モノレールの延伸に向けて、様々な要素を生み出していくことが引き続き課題となっている。

緑地等の自然との近さが魅力的な環境と、多摩都市モノレールの延伸による利便性の向上の可能性を背景に、引き続きより魅力的となるような居住環境づくりと、町内に住む人やさまざまな目的で町に集まる人の出会いや交流づくり、また交流から発展する新しい取組等の創出を後押しするような多摩都市モノレール新駅周辺環境づく

りが課題となる。

また、新しい都市間競争の形態として、日本全国から国民が直接魅力のある自治体の特産物等を選び納税する仕組みである「ふるさと納税」が発展した。全国では受入件数が令和3年度の4,447.3万件から令和5年度は5,894.6万件と約1.3倍^{※2}に増えている。町では令和3年度からふるさと納税の返礼品提供を開始し、年間約300件^{※3}の受入がある。

※1 「「居心地がよく歩きたくなるまちなか」からはじまる都市の再生～都市におけるイノベーションの創出と人間中心の豊かな生活の実現～」(中間とりまとめ) 都市の多様性とイノベーションの創出に関する懇談会(国土交通省)(令和元年6月)
令和元年度基礎調査報告書にて抜粋

※2 「ふるさと納税に関する現況調査結果」総務省自治税務局市町村税課(令和6年8月)

※3 「ふるさと納税の受入実績および活用状況について」瑞穂町企画部財政課

4) 世界的な気候変動などに対する危機管理

気候変動の影響はここ数年続いている酷暑、集中豪雨等の発生により深刻さを増すとともに、地震についても令和6年1月に発生した能登地震や令和6年8月に南海トラフ臨時情報(巨大地震注意)発表されるなど、地震への対応が現実味を帯びてきている。また富士山等の火山噴火への備えの必要性も指摘^{※1}されている。これらの現象へどのように対応していくかが課題となっている。

また、新型コロナウイルス感染症の拡大により人々の往来や物流が世界的に停止された時期は、行政や医療機関、公共交通やその他各産業の事業や業務が縮小や停滞する場面もあった。突発的な危機にどう業務を継続していくかが課題である。

都は、令和5年度より「TOKYO 強靱化プロジェクト」として風水害、地震、火山噴火、電力・通信等の途絶、感染症の5つ災害への強靱化に取り組んでいる。

※1 「大規模噴火降灰対応指針」富士山噴火降灰対策検討会(東京都)(令和5年12月)

5) 人生100年時代の到来

団塊世代と言われる年齢層が後期高齢期に移行する2025年を迎え、高齢者の健康寿命を延ばす取組が、介護人材の不足や医療費の削減、地域コミュニティや各産業での担い手の確保、熟練した経験を持つ高齢世代の技術や知識等の若い世代への伝達といった様々な面でより重要な課題となっている。

都においても「心豊かに暮らし、いつまでも輝けるアクティブなChōju社会」として高齢者の社会参加・就労促進や健康づくりを、また介護が必要になっても安心して暮らせる取組を推進している。^{※1}

※1 「2050 東京戦略(案)」戦略07 長寿(choju)(p138)(東京都)

6) 人のつながり・生活空間の変化

孤独の背景にある1～2人世帯の増加による家族のつながりの低下や、地域における近所づきあいの希薄化、人々の価値観や働き方等のライフスタイルの多様化等の傾向は変わっておらず、全ての年齢層で地域等での居場所等の様々な場の確保や、多様な手段、手法により社会とのつながりを確保、維持し続けることも引き続き課題となっている。

また、新型コロナウイルス感染症拡大により対面での交流が制限されたことで、高齢者世代を中心として孤立化の傾向がみられた。さらに、地域コミュニティにおいても対面での活動が自粛され、活動の再開に困難を抱えているケースも見られ、多様な手法でのつながる力の再生が課題となる。

国においては令和6年に孤立・孤独対策推進法が施行、内閣府に孤独・孤立対策推進室を設置され、東京都においても地域コミュニティやボランティア活動の活性化、孤独・孤立対策^{※1}に取り組んでいる。

※1 「2050 東京戦略（案）」戦略 08 コミュニティ（p152）（東京都）

7) 多摩都市モノレールの延伸とまちづくり

多摩都市モノレールの箱根ヶ崎方面延伸が令和4年12月に決定し、令和7年3月6日に都市計画決定が告示されたことで、事業化に向けた手続きは大きく進んでいる。町においても、令和6年3月に「瑞穂町多摩都市モノレール新駅周辺まちづくり基本構想」を策定するとともに、具体的なまちづくりの検討を進めている。

このため、開通後のまちの姿を見据えた環境整備の具体的な推進が引き続き課題となる。

3. 社会の変化がもたらす、町への影響

上記で示した社会の変化を踏まえ、基本構想に掲げた「これから目指す瑞穂の姿」及び「重視すべき視点」が受ける影響について示す。

1) これから目指す瑞穂の姿

(1) 新たな人、物の流れを創造するまち

交通網の再編、人の流れ、物の流れが変わり、新たな商業環境や住環境が今までにない形を作ります。また、交通利便性の向上により、官民含めた業務機能の従来と異なった展開がみられ、瑞穂町のさまざまな環境が変化します。そして、環境が変化することにより、交流人口や関係人口が増加し、新しい関係性も生まれていきます。

A I等のデジタル技術の発達や多摩都市モノレール等のインフラの整備等により、既存の農業・工業・商業といった産業の環境が大きく変化する可能性があり、その変化にどう対応するかが課題となる。

産業の環境が変化することにより、町への転入者や訪問者にも変化が現れる可能性がある。町に関わる人々が増加することによる、新しいコミュニティづくりも課題である。

(2) 持続可能なまち

人口減少傾向に歯止めをかけ、生活しやすく魅力的な地域社会を形成することなどにより、若い世代がいきいきと学び、働き、地域の担い手として活躍するとともに、住み続けたいと思う持続可能なまちが作り上げられます。

人口減少については、短期間で大きな改善を見込むことは難しい。持続的なまちを作るためには、現在の町における人材や資産を最大限に活用することが必要となる。

また、子育てに対する支援や高齢化が進むことによる介護への支援を継続することは、人口減少への対策となる。なお、支援を受ける人だけでなく、その家族もいきいきと暮らすことができる環境づくりが必要となる。

(3) 経済が循環し、新しい価値が生み出されるまち

工業、商業、農業が相互に関連し合い、先端産業や専門人材などと連携して、地域内の経済が循環する環境が整えられています。また、技術開発、IT投資、インキュベーションなどの広がりにより、専門知識や経験を有する人材の育成とまちづくりへの参画がすすんでいます。

瑞穂町多摩都市モノレール新駅周辺まちづくり基本構想で示された、産業近代化拠点の形成においては、専門的な知識や経験を有する人材の活用が必要となる。

また、デジタル社会の推進によって生じる産業構造の変化に対応するため、町内事業者との連携や支援が課題となる。

(4) 充実したときを過ごせるまち

テレワークなどの多様な働き方が社会に浸透しています。その時代の中で、働く場所でありながら、心休まる落ち着いた自然環境と共存する瑞穂らしい暮らし方が実現できるなど、瑞穂町の潜在的な魅力が際立っています。

新型コロナウイルス感染症の拡大によって浸透した、多様な働き方への支援は引き続き課題となっている。

また、多摩都市モノレール延伸を契機とした新たなまちづくりを進めるなかで、他の自治体にはない町の魅力を発掘する取組も必要となる。

(5) つながるまち

自然や産業、公共サービス、人材などのあらゆる資源がつながり、交流が生まれるなどの小さな関係が重なり、新たな発想や活動が生まれています。そして、町外の資源も含めてつながり合う環境やコミュニティが形成され、周辺地域にも影響が広がっています。

多摩都市モノレール延伸に伴う町の変化だけでなく、デジタル技術の進化によって、従来よりも広範囲の人々と町がつながることによる新たなコミュニティへの対応が課題となる。

また、孤独・孤立への対策の対応も課題となる。

2) 重視すべき視点

(1) 町の魅力を際立たせる

あらゆる世代が生活を楽しむみずほでの暮らしを思い描くことができ、また、産業や各地区における特性が発揮され、その相乗効果による魅力が浮かび上がるといった、快適に暮らせる基盤が実現するハードおよびソフトの仕組みが形成されている姿をめざします。

多摩都市モノレールの延伸に伴う新たなまちづくりにおいて、町の産業や地域の特性を発揮させる取組は、継続して必要である。

また、他の地域にはない町の魅力を際立たせることで、町と関わりを持つ人を増やす取組が必要である。

(2) 資源を磨き生活の質を豊かにする

今ある公共空間や地域資源をより有効に活用することに知恵を絞り、それぞれの資源の持つ機能を組み合わせたり、つなぎ合わせたりすることなどにより、住民の生活がより豊かになるとともに、相乗効果や新たな価値が生み出されている姿をめざします。

行政のデジタル化によって、住民の利便性を向上させるとともに、町の公共施設を効果的に活用することによって、持続可能なまちづくりをすすめることが必要である。

また、町内各地域の利便性を向上させ、新たなヒト及びモノの流れを創出するとともに、専門的な知識を有する人材の活用によって、新しい価値を生み出していくことが必要である。

(3) つながる地域づくり

個人個人の感覚に合った距離感を持ちながら、困ったときにはさりげなくささえ合うことができる関係が構築されている。そして、地域でのゆるやかな人間関係が形成されている姿をめざします。

働き方改革や少子高齢化が進むなかで、さまざまな状況に対応できる体制が必要とされている。

また、多摩都市モノレール延伸に伴って、交流人口・関係人口を増やす取組も引き続き必要となる。

(4) 危機に備える

首都直下地震や風水害、感染症などのこれまでの経験値では想定しづらい危機に対し、幅広い総合的な視点から危機管理対応がさらに強化され、安全に安心して暮らしている姿をめざします。

酷暑や集中豪雨などの気候変動がもたらす産業や生活環境への影響へ対応するため、過去の事例にもとづく町の体制の改善が必要である。

また、新たな危機への備えとして、新型コロナウイルス感染症の対応に基づく経験を知識としてまとめ、管理することが必要である。

2章 統計データ等による基礎調査

1. 西多摩地域と瑞穂町

1) 地理的特性

瑞穂町が属している西多摩地域は、東京都の西方に位置し、総面積は572.70 km²である。4市3町1村で構成され、東京都全体の約26%を占める広大な地域である。

瑞穂町は西多摩地域の東部に位置し、東京都心から西へ約40kmとなっている。狭山丘陵の裾野に市街地が形成されたベッドタウンで、緑豊かな自然環境が残るエリアでもある。町域の南部は在日米軍及び航空自衛隊が移駐する横田基地で占められているため、人口密度が約2,000人/km²と周辺市町と比べて低い状況にある。

■西多摩地域と瑞穂町の位置



■西多摩地域の市町村とその面積及び人口

構成自治体名	面積（k m ² ）	人口（人）
青梅市	103.31	129,468
福生市	10.16	56,512
羽村市	9.90	54,416
あきる野市	73.47	79,513
瑞穂町	16.85	32,062
日の出町	28.07	16,300
檜原村	105.41	1,986
奥多摩町	225.53	4,603
合計	572.70	374,860

注）都面積 2,199.94 km²（都に対する西多摩地域の面積の割合 26.0%）

出典：全国都道府県市区町村別面積調（令和6年4月1日時点）（国土地理院）

住民基本台帳による世帯と人口（令和6年1月1日現在）（東京都総務局統計部）

2) 広域交通網

(1) 鉄道

鉄道は、立川駅を起点に JR 青梅線が多摩川沿いに奥多摩駅まで、拝島駅を起点に JR 五日市線が秋川沿いに武蔵五日市駅までを結び、拝島駅からは新宿方面に西武鉄道が発着している。また、JR 八高線が南北方向に通るが、「単線」で本数が少なく、輸送量の増大と複線化が課題である。瑞穂町から東京都心までは、JR 八高線箱根ヶ崎駅から拝島駅経由で約 1 時間 30 分程度となっている。

また、平成 10 年 11 月に東大和市上北台まで開通した多摩都市モノレールは、武蔵村山市を經由し、箱根ヶ崎駅まで延伸される予定であり、町内には箱根ヶ崎駅を含め 2 駅の設置が予定されている。令和 7 年 2 月 6 日に開催された第 248 回東京都都市計画審議会では、同モノレールの東大和市上北台一丁目～瑞穂町大字箱根ヶ崎字狭山間の追加を議決し、当該事業の実施が周辺環境に与える影響についても、東京都環境影響評価条例に基づく環境影響評価書のとおり、都市計画を定める上で支障がないと判断した。その後、東京都は令和 7 年 3 月 6 日に多摩都市モノレールの箱根ヶ崎方面延伸に関連する都市計画決定を告示した。

町では、令和 6 年 3 月に、多摩都市モノレールの延伸後を見据えたまちづくりの方向性を示す「瑞穂町多摩都市モノレール新駅周辺まちづくり基本構想」を策定した。令和 6 年度は、上記基本構想を深度化し、新駅周辺のまちづくり及び町全体のまちづくりとの連携について記載した「多摩都市モノレール延伸を契機とした瑞穂町まちづくり基本計画」の策定を進めている。

(2) バス

バス網は、JR 青梅線、JR 五日市線、JR 八高線、西武鉄道の駅を起点とし、周辺の市町村に向かうバス網が形成されている。バスの運行本数は路線により異なり、1 時間に複数本運行される路線から、数時間に 1 本の路線まで様々である。

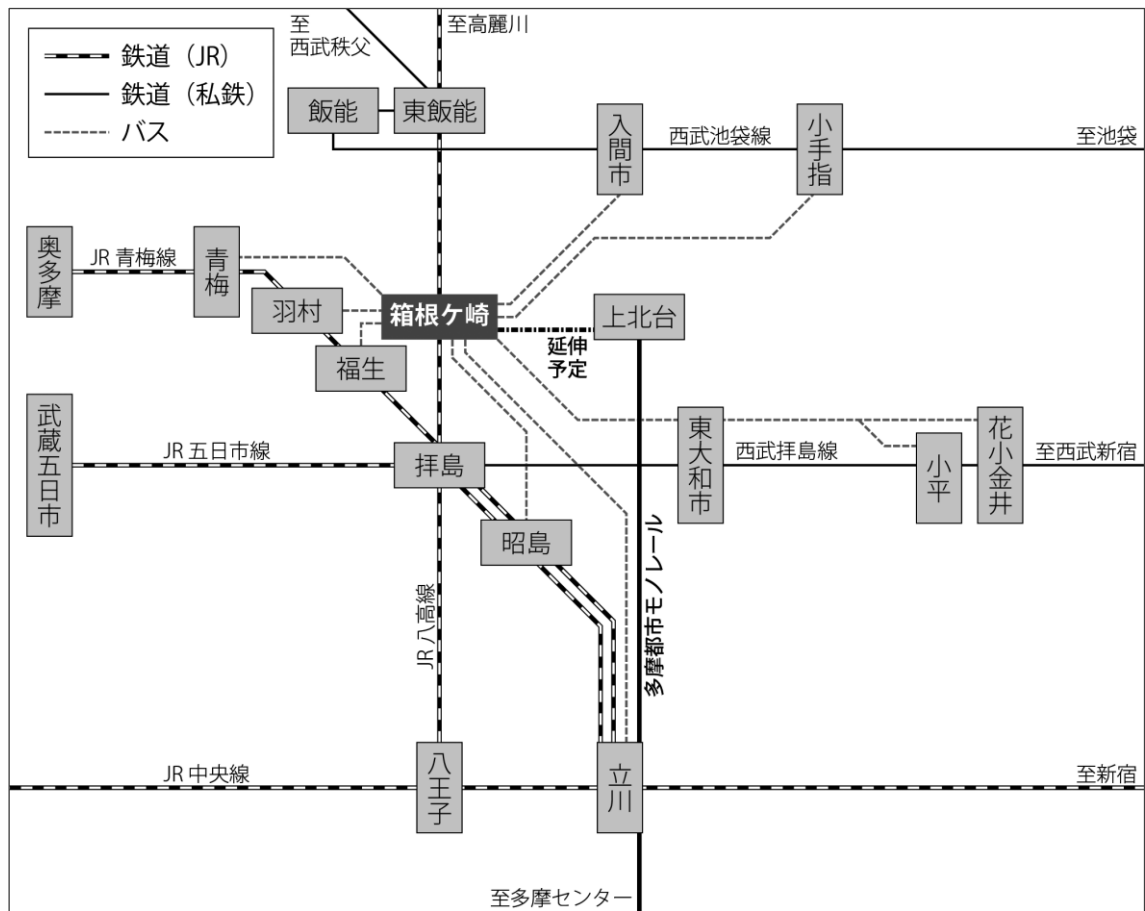
瑞穂町内のバス路線は、箱根ヶ崎駅を中心に羽村駅、福生駅、昭島駅、立川駅に向かうバス路線が主であり、その他、小平駅、花小金井駅、入間市駅等に向かうバスが運行されている。

令和 3 年 10 月よりコミュニティバスの実証実験として 6 路線の運行が開始され、令和 6 年 10 月からは実証実験の結果を受けて 3 路線の本格運行を開始した。また、既存の路線ではカバーできていない地域については、デマンド交通（チョイソコみずほまち）の実証実験運行が行われている（～令和 7 年 9 月までを予定）。

(3) 道路

道路網は、東西方向には都道の青梅街道及び五日市街道、南北方向には東から国道 16 号、都道の滝山街道、同秋川街道が通っている。高速道路網は、首都圏の環状線である首都圏中央連絡自動車道（圏央道）と、首都圏と地方を結ぶ中央自動車道及び関越自動車道により構成されている。圏央道は、平成 8 年に関越自動車道と、平成 19 年に中央自動車道と接続した。

■箱根ヶ崎駅を取り巻く公共交通の状況



■鉄道駅別乗車人員

(単位：人)

青梅線	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
	1日平均	うち定期	1日平均	うち定期	1日平均	うち定期	1日平均	うち定期	1日平均	うち定期
拝島	30,430	19,527	29,946	19,379	22,874	15,837	24,575	16,453	26,314	16,983
牛浜	4,596	2,562	4,475	2,540	3,289	2,094	3,546	2,156	4,019	2,266
福生	16,395	10,229	16,017	10,093	12,136	8,302	12,841	8,509	13,842	8,717
羽村	13,816	9,370	13,687	9,394	10,125	7,321	10,755	7,526	11,439	7,819
小作	16,297	11,186	16,111	11,231	11,900	8,715	12,711	8,876	13,986	9,457
河辺	13,635	9,114	13,417	9,033	10,302	7,412	10,797	7,542	11,588	7,813
東青梅	6,557	4,673	6,493	4,668	5,152	3,913	5,449	4,046	5,771	4,153
青梅	6,497	4,542	6,349	4,448	4,882	3,625	4,986	3,526	5,191	3,544
宮ノ平	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
日向和田	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石神前	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
二俣尾	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
軍畑	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沢井	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
御嶽	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
川井	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
古畑	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳩ノ巣	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
白丸	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奥多摩	916	264	934	261	866	268	699	250	807	260

五日市線	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
	1日平均	うち定期	1日平均	うち定期	1日平均	うち定期	1日平均	うち定期	1日平均	うち定期
熊川	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東秋留	4,719	3,431	4,593	3,381	3,478	2,627	3,743	2,781	4,043	2,913
秋川	6,690	4,667	6,499	4,576	5,044	3,764	5,350	3,877	5,732	3,993
武蔵引田	3,102	2,180	3,235	2,297	2,430	1,772	2,640	1,854	3,611	2,677
武蔵増戸	2,584	1,786	2,481	1,721	1,875	1,384	1,989	1,432	2,195	1,538
武蔵五日市	4,376	2,807	4,164	2,740	3,134	2,161	3,366	2,282	3,577	2,285

八高線	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
	1日平均	うち定期	1日平均	うち定期	1日平均	うち定期	1日平均	うち定期	1日平均	うち定期
東福生	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
箱根ヶ崎	4,490	3,204	4,384	3,215	3,258	2,458	3,620	2,654	3,848	2,783

注：「-」は、下記資料で公表されていない。

出典：数字で見る西多摩（令和6年3月）（西多摩地域広域行政圏協議会）

2. 人口・世帯

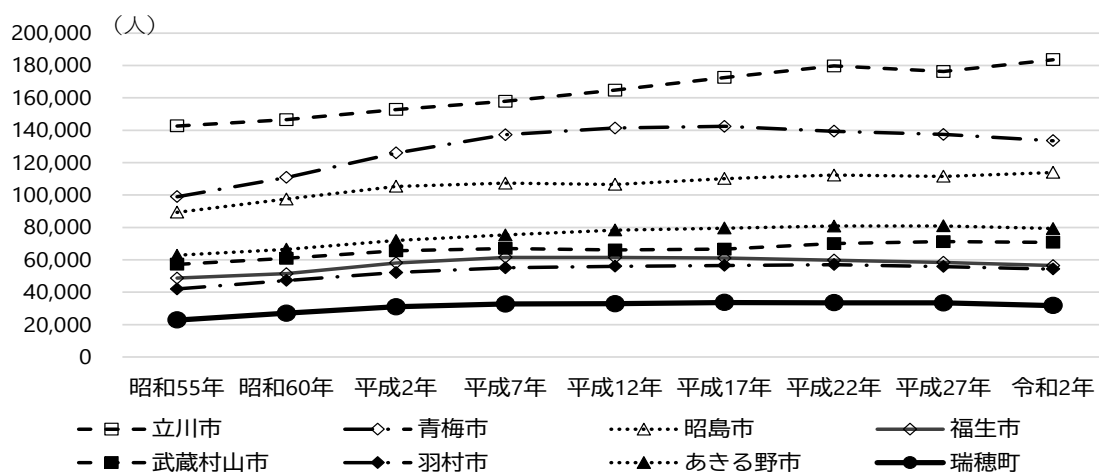
1) 人口

瑞穂町の人口は、平成 17 年の 33,691 人をピークに緩やかな減少傾向を示している。
平成 17 年から平成 27 年にかけては微減であったが、平成 27 年から令和 2 年にかけては 1,680 人（5%減）と大きく減少している。

■人口の推移

(単位：人)

自治体名	昭和55年	昭和60年	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	令和2年
立川市	142,675	146,523	152,824	157,884	164,709	172,566	179,668	176,295	183,581
青梅市	98,990	110,828	125,960	137,234	141,394	142,354	139,339	137,381	133,535
昭島市	89,344	97,543	105,372	107,292	106,532	110,143	112,297	111,539	113,949
福生市	48,694	51,478	58,062	61,497	61,427	61,074	59,796	58,395	56,414
武蔵村山市	57,198	60,930	65,562	67,015	66,052	66,553	70,053	71,229	70,829
羽村市	42,017	47,203	52,103	55,095	56,013	56,514	57,032	55,833	54,326
あきる野市	62,810	66,529	71,940	75,355	78,351	79,587	80,868	80,954	79,292
瑞穂町	22,803	27,033	30,967	32,714	32,892	33,691	33,497	33,445	31,765



出典：令和 2 年国勢調査（総務省統計局）

■人口の伸び率

(単位：%)

自治体名/年	昭和55 ～60年	昭和60年 ～平成2年	平成2 ～7年	平成7 ～12年	平成12 ～17年	平成17 ～22年	平成22 ～27年	平成27 ～令和2年
立川市	2.7%	4.3%	3.3%	4.3%	4.8%	4.1%	-1.9%	4.1%
青梅市	12.0%	13.7%	9.0%	3.0%	0.7%	-2.1%	-1.4%	-2.8%
昭島市	9.2%	8.0%	1.8%	-0.7%	3.4%	2.0%	-0.7%	2.2%
福生市	5.7%	12.8%	5.9%	-0.1%	-0.6%	-2.1%	-2.3%	-3.4%
武蔵村山市	6.5%	7.6%	2.2%	-1.4%	0.8%	5.3%	1.7%	-0.6%
羽村市	12.3%	10.4%	5.7%	1.7%	0.9%	0.9%	-2.1%	-2.7%
あきる野市	5.9%	8.1%	4.7%	4.0%	1.6%	1.6%	0.1%	-2.1%
瑞穂町	18.6%	14.6%	5.6%	0.5%	2.4%	-0.6%	-0.2%	-5.0%

注：上表国勢調査の数値から計算したもの

2) 世帯

瑞穂町の世帯数は、平成12年から約1.22倍の増加となっているが、平成27年から令和2年にかけては、それまでの微増傾向が逆転し、減少している。対して、近隣の各自治体の世帯数は増加し続けている。

世帯人員は2.38人（令和2年）と周辺市と比較して規模が大きいが、平成12年以降その規模が縮小傾向にある。

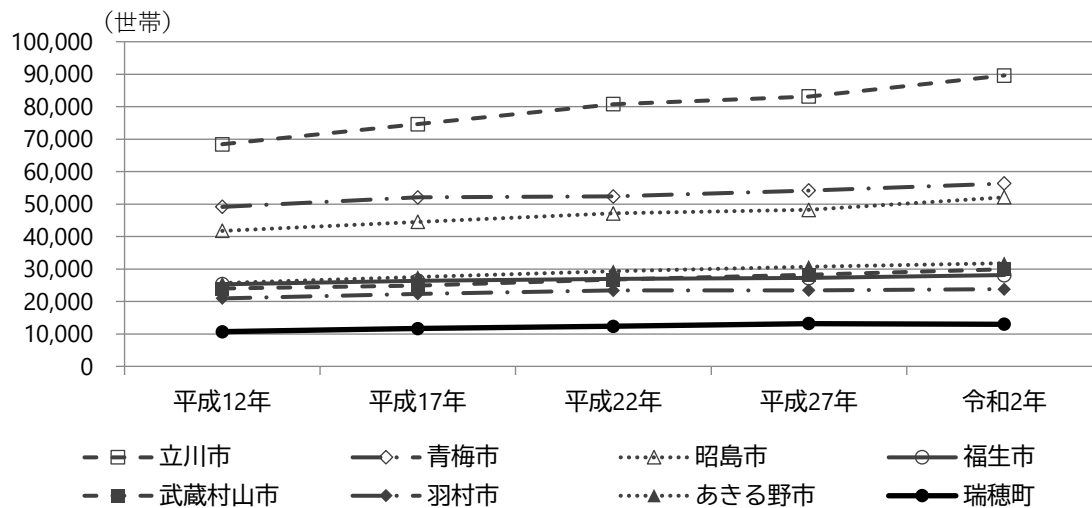
■世帯数・世帯人員の推移

（単位：人）

自治体名/年	一般世帯数					平均世帯人員				
	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	令和2年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	令和2年
立川市	68,414	74,648	80,805	83,188	89,599	2.41	2.31	2.22	2.12	2.01
青梅市	49,180	52,090	52,352	54,196	56,354	2.88	2.73	2.66	2.53	2.25
昭島市	41,754	44,531	47,167	48,208	52,111	2.55	2.47	2.38	2.31	2.14
福生市	25,334	26,386	26,951	27,220	28,117	2.42	2.31	2.22	2.15	1.97
武蔵村山市	23,974	24,926	26,770	28,277	29,956	2.76	2.67	2.62	2.52	2.33
羽村市	20,961	22,374	23,421	23,435	23,789	2.67	2.53	2.44	2.38	2.24
あきる野市	25,654	27,570	29,337	30,758	31,840	3.05	2.89	2.76	2.63	2.42
瑞穂町	10,677	11,649	12,356	13,179	13,000	3.08	2.89	2.71	2.54	2.38

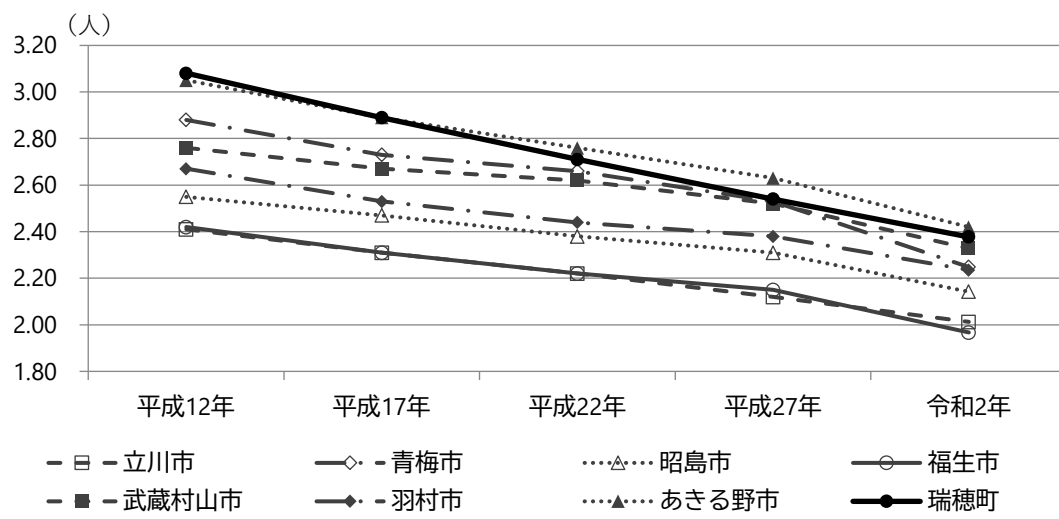
出典：令和2年国勢調査（総務省統計局）

■世帯数の推移



出典：令和2年国勢調査（総務省統計局）

■世帯人員の推移



出典：令和2年国勢調査（総務省統計局）

3) 世帯類型

瑞穂町の世帯数 13,000 世帯（令和 2 年）のうち、核家族世帯が 7,959 世帯（61.2%）、単独世帯が 3,935 世帯（30.3%）であった。

単独世帯のうち、65 歳以上の単身世帯は 1,479 世帯であった。

■世帯類型（令和 2 年 10 月 1 日現在）

（単位：世帯）

自治体名	世帯総数	総数	親族世帯						非親族世帯	単独世帯	65歳以上 単身世帯
			核家族世帯					その他の 親族世帯			
			総数	夫婦のみ	夫婦と 子ども	男親と 子ども	女親と 子ども				
立川市	89,599	48,323	46,407	16,332	22,468	1,123	6,484	1,916	378	40,896	12,540
青梅市	56,354	36,486	33,562	12,544	15,293	926	4,799	2,924	715	19,099	7,412
昭島市	52,111	31,238	29,494	10,249	14,113	838	4,294	1,744	400	20,446	7,165
福生市	28,117	14,807	13,896	5,078	6,029	400	2,389	911	256	13,054	4,093
武蔵村山市	29,956	19,847	18,417	5,985	9,073	587	2,772	1,430	202	9,892	3,744
羽村市	23,789	15,077	14,130	4,827	6,852	374	2,077	947	208	8,499	2,883
あきる野市	31,840	22,011	20,114	7,290	9,666	595	2,563	1,897	452	8,856	3,519
瑞穂町	13,000	8,867	7,959	2,819	3,686	237	1,217	908	155	3,935	1,479

（単位：％）

自治体名	世帯総数	総数	親族世帯						非親族世帯	単独世帯	65歳以上 単身世帯
			核家族世帯					その他の 親族世帯			
			総数	夫婦のみ	夫婦と 子ども	男親と 子ども	女親と 子ども				
立川市	100.0	53.9	51.8	18.2	25.1	1.3	7.2	2.1	0.4	45.6	14.0
青梅市	100.0	64.7	59.6	22.3	27.1	1.6	8.5	5.2	1.3	33.9	13.2
昭島市	100.0	59.9	56.6	19.7	27.1	1.6	8.2	3.3	0.8	39.2	13.7
福生市	100.0	52.7	49.4	18.1	21.4	1.4	8.5	3.2	0.9	46.4	14.6
武蔵村山市	100.0	66.3	61.5	20.0	30.3	2.0	9.3	4.8	0.7	33.0	12.5
羽村市	100.0	63.4	59.4	20.3	28.8	1.6	8.7	4.0	0.9	35.7	12.1
あきる野市	100.0	69.1	63.2	22.9	30.4	1.9	8.0	6.0	1.4	27.8	11.1
瑞穂町	100.0	68.2	61.2	21.7	28.4	1.8	9.4	7.0	1.2	30.3	11.4

注：総数は、「不詳」を含む。

出典：令和 2 年国勢調査東京都区市町村町丁別報告（東京都総務局統計部）

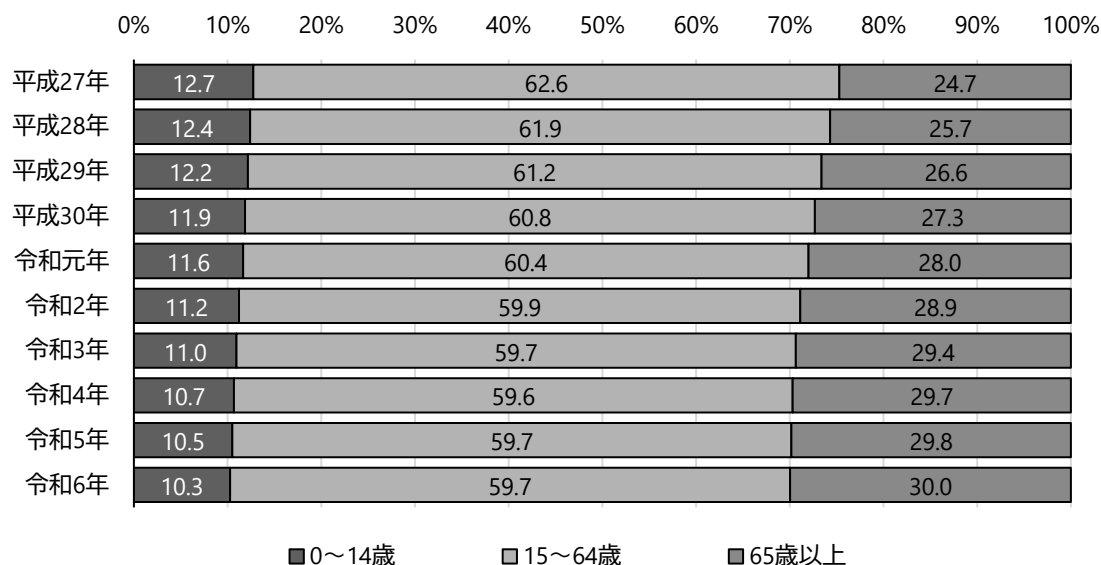
4) 年齢階層別人口（人口3区分）

瑞穂町の年齢階層別人口の推移を見ると、0～14歳の年少人口及び15～64歳の生産年齢人口が減少し、65歳以上の老年人口が増加傾向にある。

周辺市と比較すると瑞穂町は、年少人口比率（10.3%）が青梅市（9.5%）、福生市（9.7%）ついで3番目に低く、生産年齢人口比率（59.7%）があきる野市（58.2%）、青梅市（58.4%）についで3番目に低い結果となった。対して、老年人口比率（30.0%）は高い傾向にあり、老年人口に対する介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）の定員の割合は、青梅市、あきる野市に次いで高く、老年人口の約4.6%を占めている。

■瑞穂町年齢階層別人口（各年1月時点）

（単位：％）



出典：住民基本台帳による東京都の世帯と人口（町丁別・年齢別）（東京都総務局統計部）

■年齢階層別人口（令和6年1月1日現在）

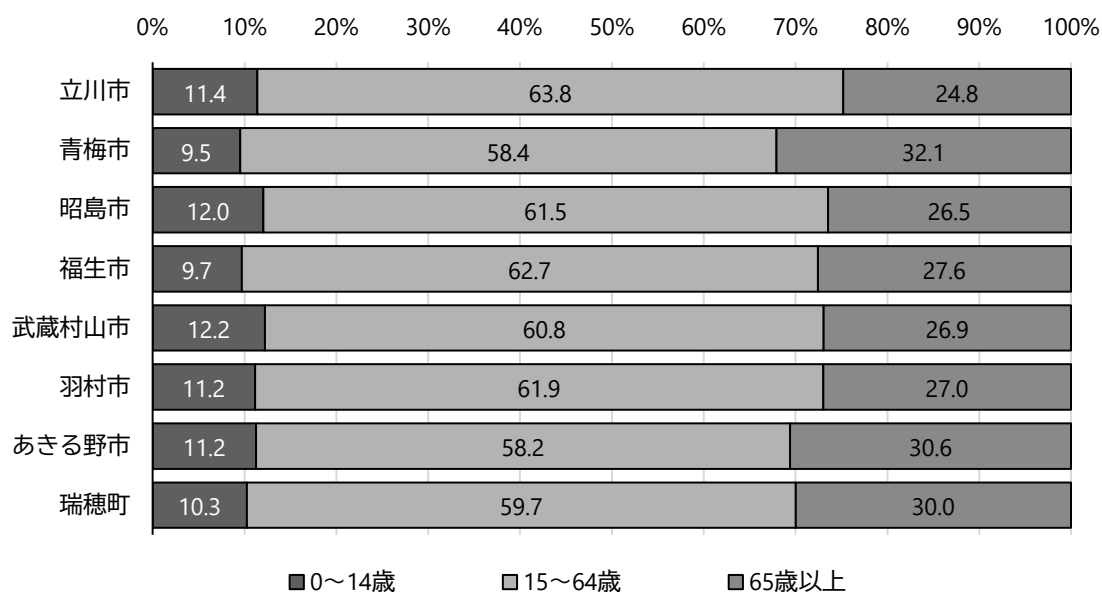
自治体名	年少人口（0～14歳）				生産年齢人口（15～64歳）				老年人口（65歳以上）			
	0～14歳 (人)	比率 (%)	男 (人)	女 (人)	15～64歳 (人)	比率 (%)	男 (人)	女 (人)	65歳以上 (人)	比率 (%)	男 (人)	女 (人)
立川市	21,194	11.4	10,879	10,315	118,535	63.8	61,176	57,359	46,096	24.8	19,924	26,172
青梅市	12,338	9.5	6,365	5,973	75,583	58.4	39,838	35,745	41,547	32.1	18,833	22,714
昭島市	13,798	12.0	7,013	6,785	70,394	61.5	36,522	33,872	30,324	26.5	13,375	16,949
福生市	5,483	9.7	2,771	2,712	35,443	62.7	18,623	16,820	15,586	27.6	6,975	8,611
武蔵村山市	8,687	12.2	4,428	4,259	43,205	60.8	22,309	20,896	19,126	26.9	8,488	10,638
羽村市	6,070	11.2	3,172	2,898	33,663	61.9	17,826	15,837	14,683	27.0	6,560	8,123
あきる野市	8,944	11.2	4,571	4,373	46,251	58.2	24,036	22,215	24,318	30.6	10,977	13,341
瑞穂町	3,293	10.3	1,666	1,627	19,157	59.7	10,232	8,925	9,612	30.0	4,380	5,232

注：本表には、年齢不詳者を含まない。

出典：住民基本台帳による東京都の世帯と人口（令和6年1月1日現在）（東京都総務局統計部）

■年齢3区分人口の比率

(単位：％)



出典：住民基本台帳による東京都の世帯と人口（令和6年1月）（東京都総務局統計部）

■老年人口及び介護老人福祉施設数・定員

自治体名	老年人口 (65歳以上) (人)	介護老人福祉施設 (R4)		老年人口に対 する定員の割 合
		施設数 (か所)	定員 (人)	
立川市	45,734	9	787	1.72%
青梅市	41,077	28	2,562	6.24%
昭島市	30,206	5	512	1.70%
福生市	15,431	4	449	2.91%
武蔵村山市	19,197	3	337	1.76%
羽村市	14,664	3	402	2.74%
あきる野市	24,299	13	1,320	5.43%
瑞穂町	9,596	4	440	4.59%

出典：令和4年介護サービス施設・事業所調査（厚生労働省）

出典：住民基本台帳による東京都の世帯と人口（令和4年1月）（東京都総務局統計部）

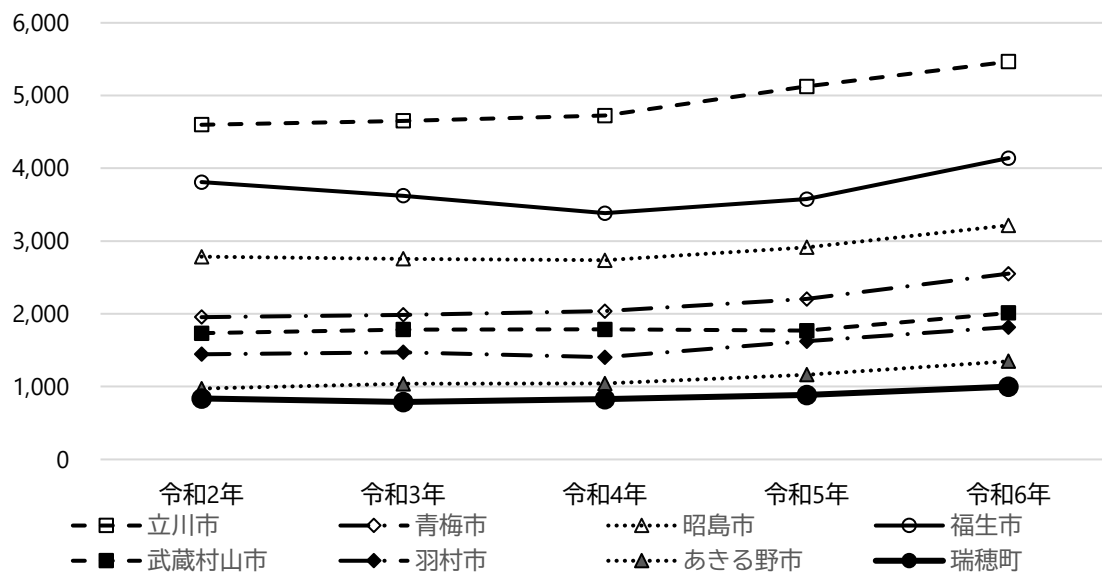
5) 外国人人口

瑞穂町及び周辺市ともに外国人人口は増加傾向にあるが、瑞穂町では令和2年から令和6年にかけて1.2倍に増加している。

周辺市を見ると、国別では中国、韓国、フィリピン、ベトナムが多いが、瑞穂町ではフィリピン、その他の国、ベトナムが多い。

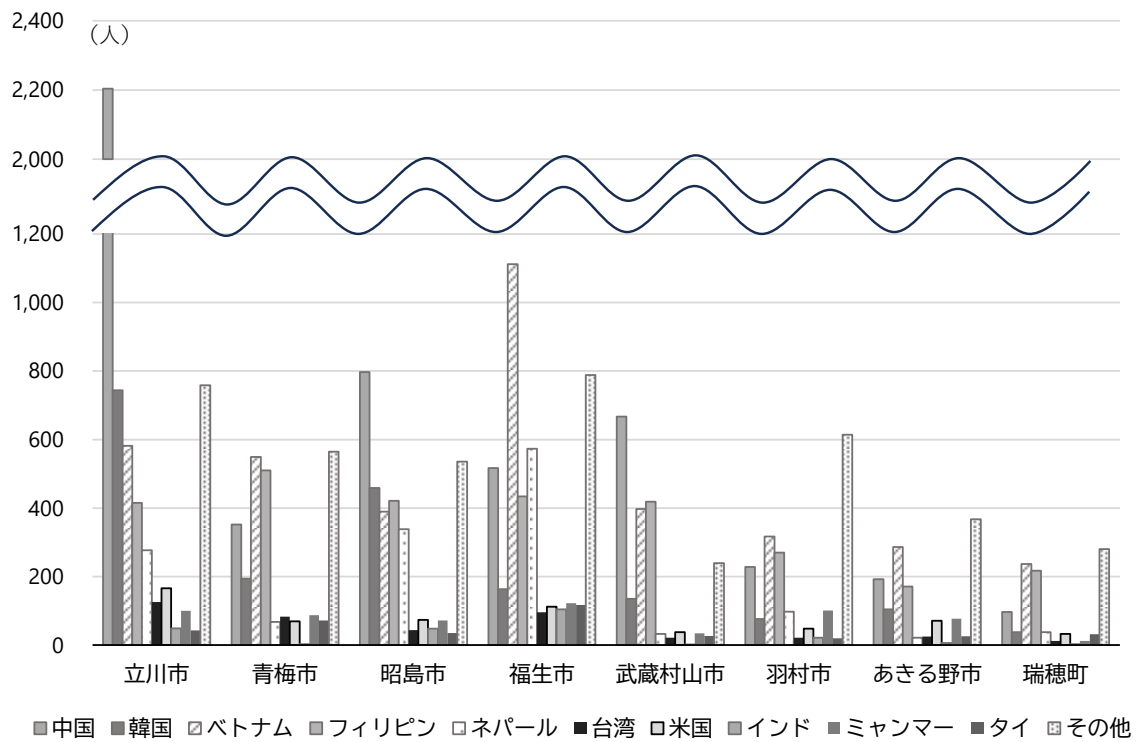
■外国人人口の推移

自治体名/年	外国人人口				
	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
立川市	4,598	4,650	4,723	5,124	5,464
青梅市	1,955	1,986	2,037	2,203	2,552
昭島市	2,784	2,755	2,736	2,913	3,214
福生市	3,809	3,621	3,382	3,576	4,138
武蔵村山市	1,732	1,783	1,786	1,769	2,013
羽村市	1,444	1,472	1,402	1,622	1,816
あきる野市	973	1,038	1,042	1,163	1,347
瑞穂町	835	788	827	885	999



出典：外国人人口（令和6年1月1日現在）（東京都総務局統計部）

■外国人人口 国別の比較（令和6年1月1日現在）



出典：外国人人口（令和6年1月1日現在）（東京都総務局統計部）

6) 15 歳以上の自宅外通勤通学者流出口

15 歳以上の自宅外通勤通学者流出口は、周辺市の大半は、多摩地域内の他市町村への流出口が最も多く、次いで区部となっているが、瑞穂町では、多摩地域内の他市町村への流出に次いでその他地域（主に埼玉県）が多く、区部への流出は少ない。瑞穂町は、周辺市に比べて隣接する埼玉県との経済的なつながりが強いことが特徴である。

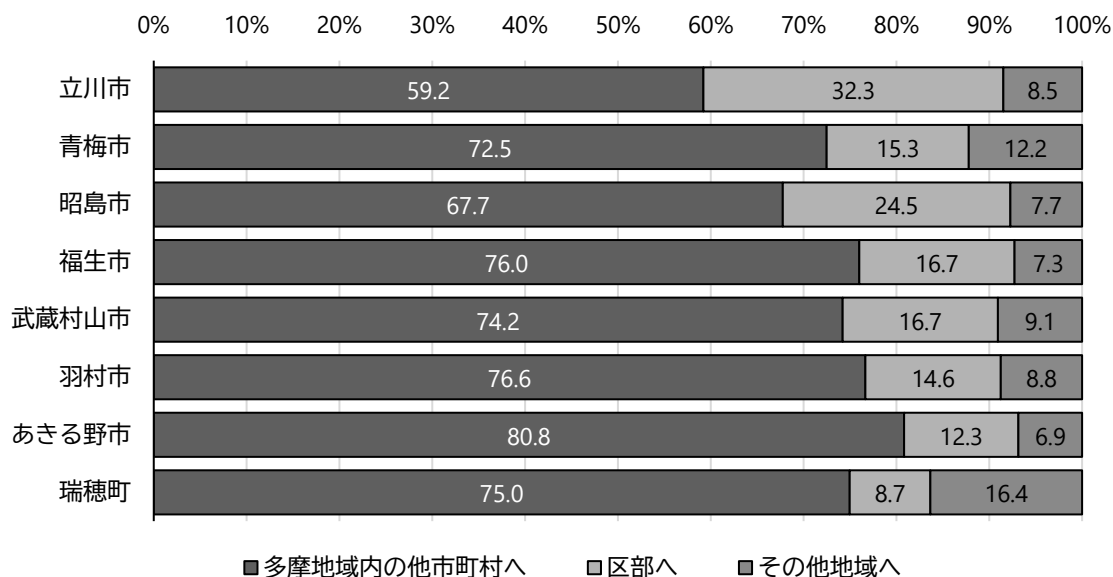
瑞穂町の 15 歳以上の人口 28,126 人（令和 2 年国勢調査）に対し流出口は 8,986 人（31.9%）である。

■15 歳以上の自宅外通勤通学者流出口（令和 2 年 10 月 1 日）

（単位：人）

自治体名	多摩地域内の他市町村へ			区部へ			その他地域へ			流出口 （計）
	計	通勤	通学	計	通勤	通学	計	通勤	通学	
立川市	28,898	25,598	3,300	15,774	14,500	1,274	4,146	3,701	445	48,818
青梅市	22,774	20,289	2,485	4,818	4,213	605	3,838	3,452	386	31,430
昭島市	22,745	20,304	2,441	8,234	7,557	677	2,599	2,290	309	33,578
福生市	12,194	11,204	990	2,686	2,417	269	1,169	1,045	124	16,049
武蔵村山市	12,309	10,978	1,331	2,777	2,464	313	1,506	1,366	140	16,592
羽村市	12,851	11,629	1,222	2,446	2,097	349	1,471	1,276	195	16,768
あきる野市	18,275	16,431	1,844	2,791	2,392	399	1,552	1,327	225	22,618
瑞穂町	6,736	6,044	692	779	644	135	1,471	1,333	138	8,986

（単位：％）



出典：令和 2 年国勢調査による東京都の昼間人口（従業地・通学地による人口）（東京都総務局統計部）

7) 昼間人口と夜間人口

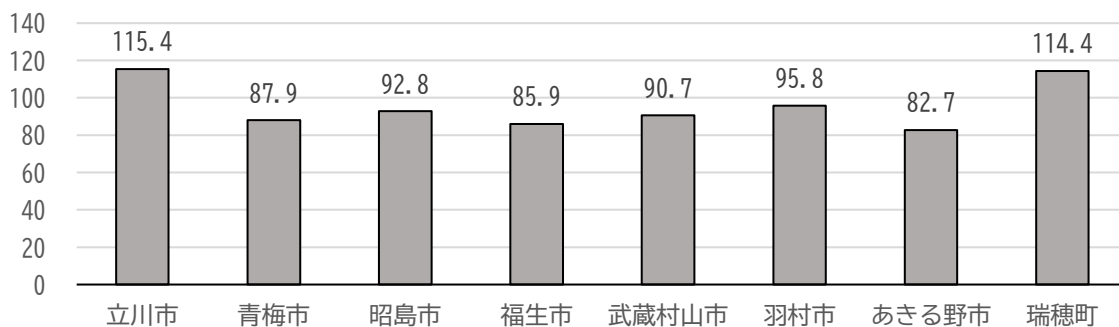
瑞穂町では、夜間人口 31,765 人に対して昼間人口は 36,340 人となり、昼間人口指数は 114.4 と立川市に次いで高い値となっている。

しかし、平成 27 年と比較すると昼間人口は減少している。ただし、都の将来推計においては、2040 年まで昼間人口は増加傾向にあると予測されている。

■昼間人口と夜間人口

自治体名	昼間人口	平成27年との比較		昼間人口密度 (1km ² 当たり) (人)	流入超過人口 (-は流出超過) (人)	夜間人口 (人)	昼間人口指数 (夜間人口 =100)
		増減人数 (人)	増減率 (%)				
立川市	211,798	10,504	5.2	8,263	28,217	183,581	115.4
青梅市	117,435	-6,710	-5.4	1,202	-16,100	133,535	87.9
昭島市	105,791	4,339	4.3	5,851	-8,158	113,949	92.8
福生市	48,484	-4,080	-7.8	5,174	-7,930	56,414	85.9
武蔵村山市	64,237	-3,377	-5.0	4,413	-6,592	70,829	90.7
羽村市	52,042	167	0.3	5,240	-2,284	54,326	95.8
あきる野市	65,613	-4,293	-6.1	952	-13,679	79,292	82.7
瑞穂町	36,340	-427	-1.2	2,182	4,575	31,765	114.4

■昼間人口指数



出典：令和 2 年国勢調査（総務省統計局）

■昼間人口指数の推移と将来推計

自治体名	平成27年	令和 2 年	令和 7 年	令和12年	令和17年	令和22年
立川市	114.2	113.2	112.8	112.1	111.4	111.0
青梅市	90.4	90.8	91.1	91.5	91.9	92.4
昭島市	91.0	91.0	91.2	91.5	91.8	92.1
福生市	90.0	90.2	91.0	92.0	93.5	95.6
武蔵村山市	94.9	94.9	94.8	94.9	95.1	95.2
羽村市	92.9	93.2	93.4	93.8	93.9	93.8
あきる野市	86.4	86.5	86.5	86.5	86.4	86.4
瑞穂町	109.9	110.9	111.3	111.8	112.4	113.1

出典：東京都昼間人口の予測（令和 2 年 3 月）（東京都総務局統計部）

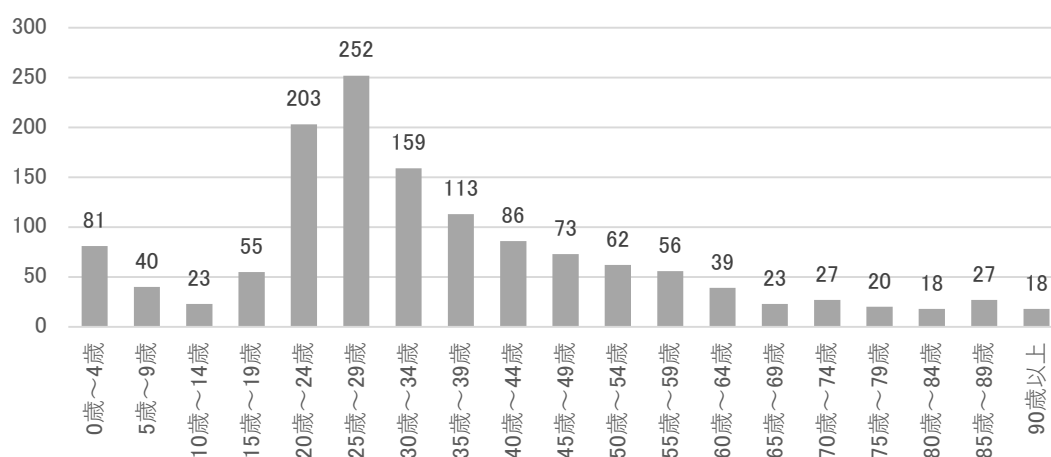
8) 社会移動

性別・年齢別の転入者数・転出者数は、男女ともに20代が転入・転出とも多くなっている。転入と転出の差で見ると、全体ではどの年代も転入超過のなか、20歳～24歳のみが転出超過（-45人）となっており、男女別に見ると、男性は30歳～34歳（+26人）及び0歳～4歳（+20人）の転入超過が目立つのに対し、女性は20歳～24歳の転出超過（-39人）が突出している。

■瑞穂町性別・年齢別転入者数（2023年）

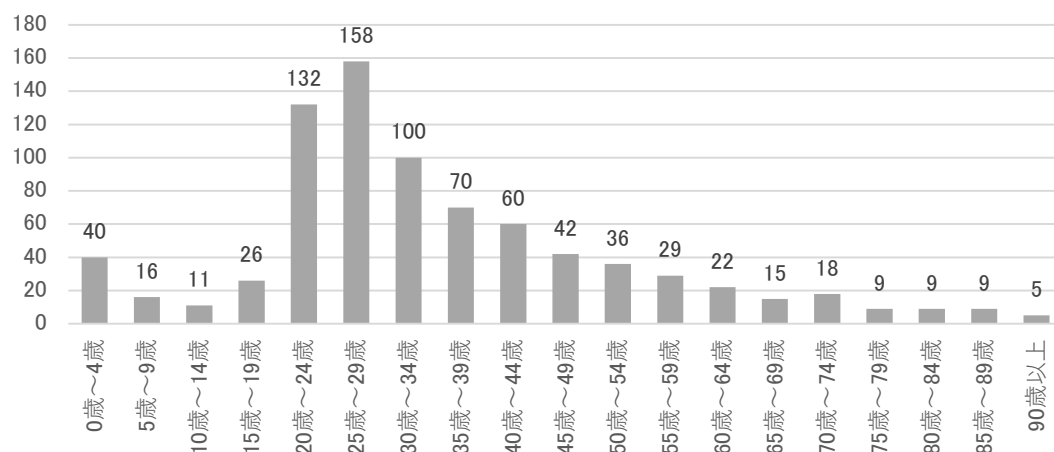
<男女計>

（単位：人）



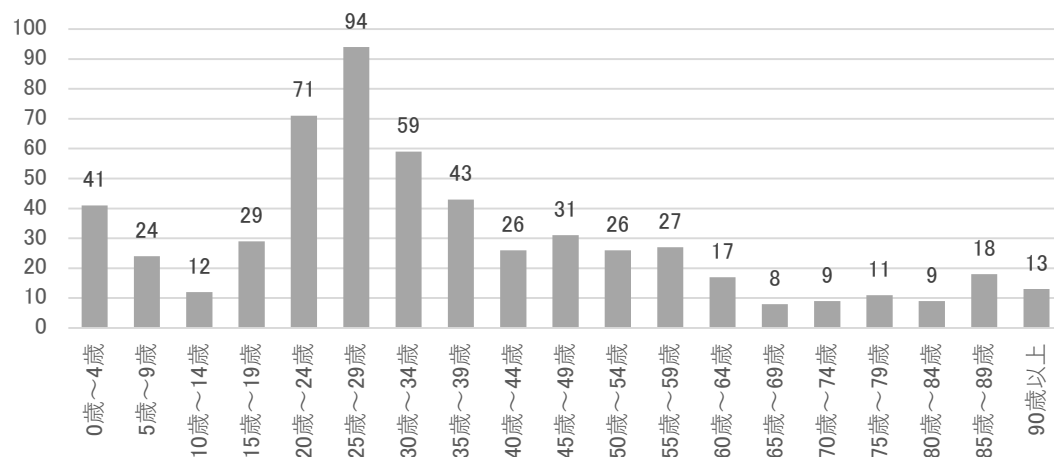
<男>

(単位：人)



<女>

(単位：人)

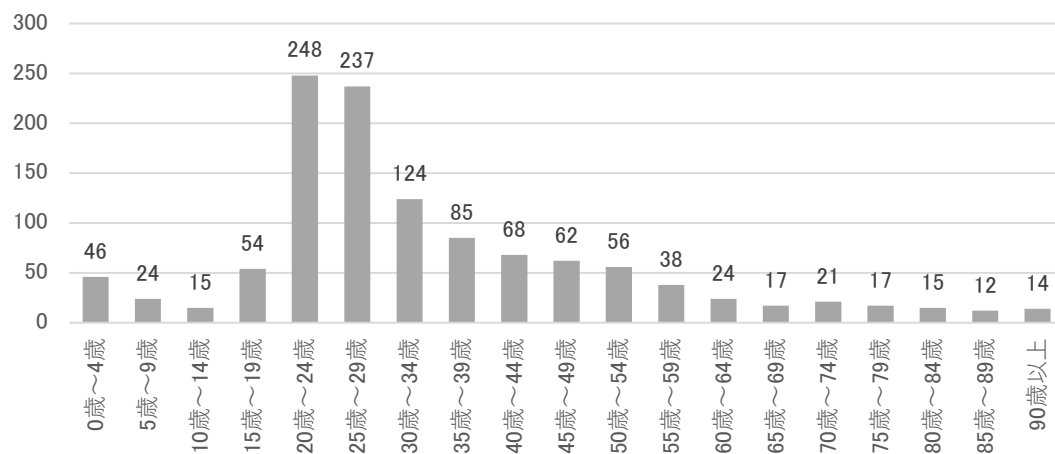


出典：住民基本台帳人口移動報告（総務省統計局）

■瑞穂町性別・年齢別転出者数（2023 年）

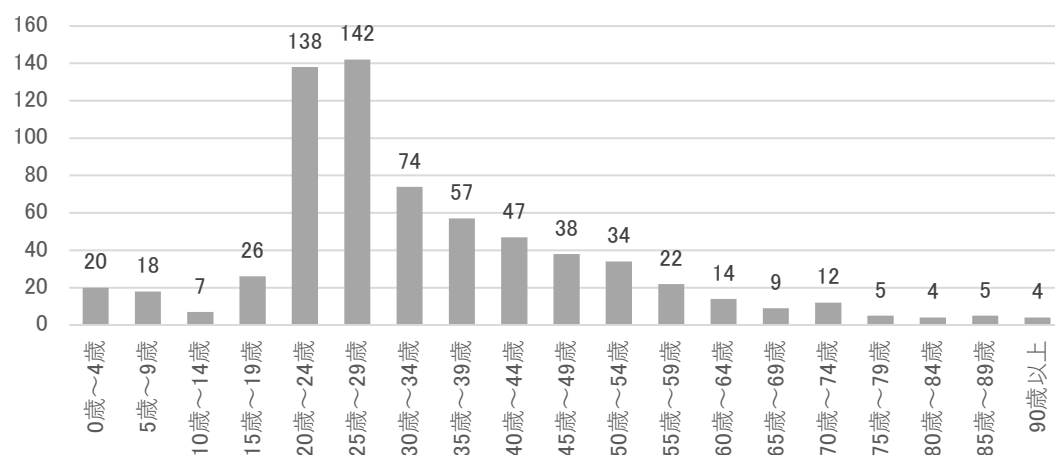
<男女計>

（単位：人）



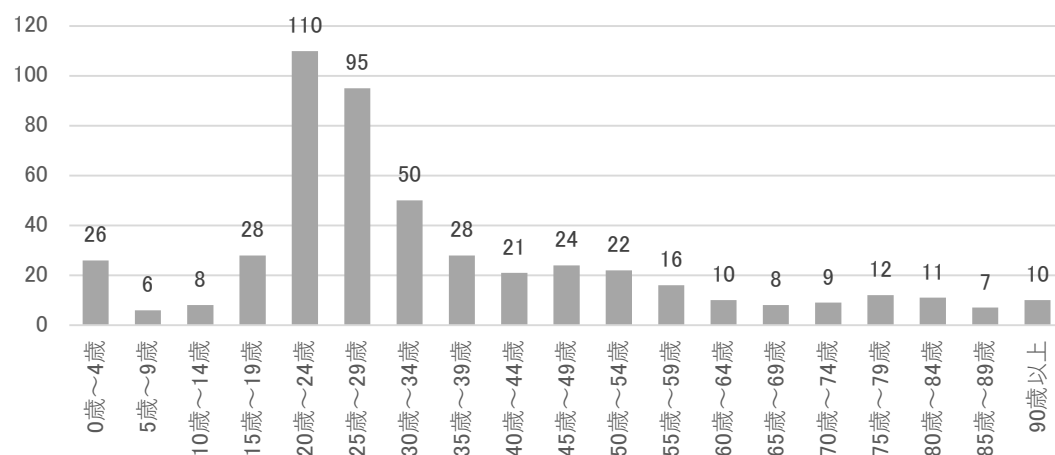
<男>

（単位：人）



<女>

（単位：人）

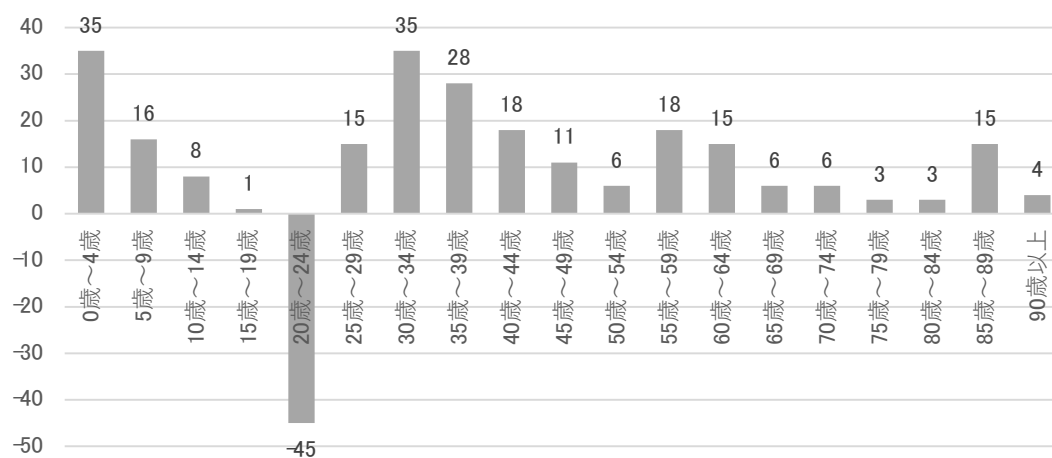


出典：住民基本台帳人口移動報告（総務省統計局）

■瑞穂町性別・年齢別転入超過数（2023 年）

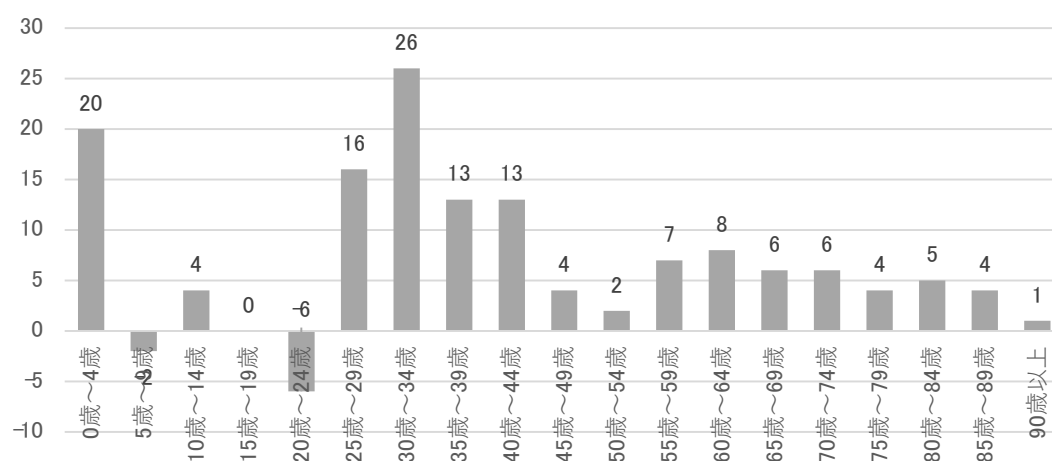
<男女計>

（単位：人）



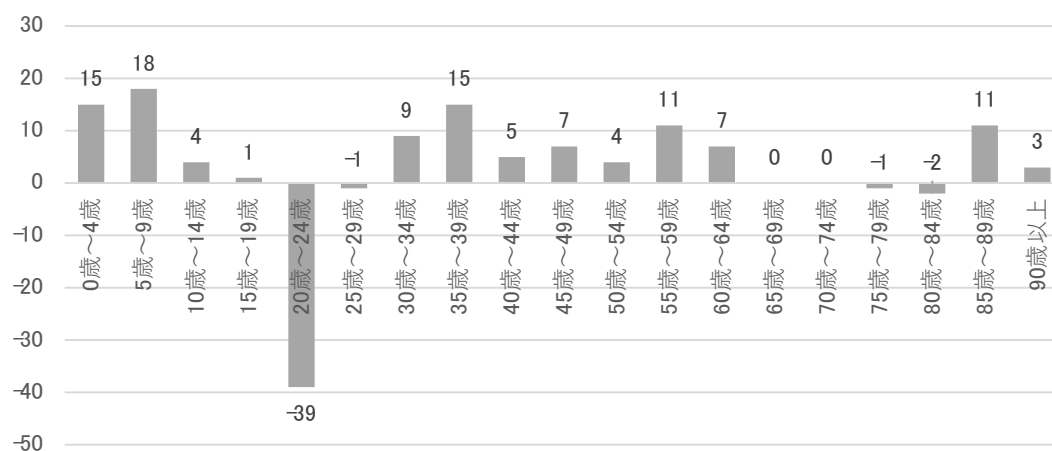
<男>

（単位：人）



<女>

（単位：人）



出典：住民基本台帳人口移動報告（総務省統計局）

3. 健康・医療

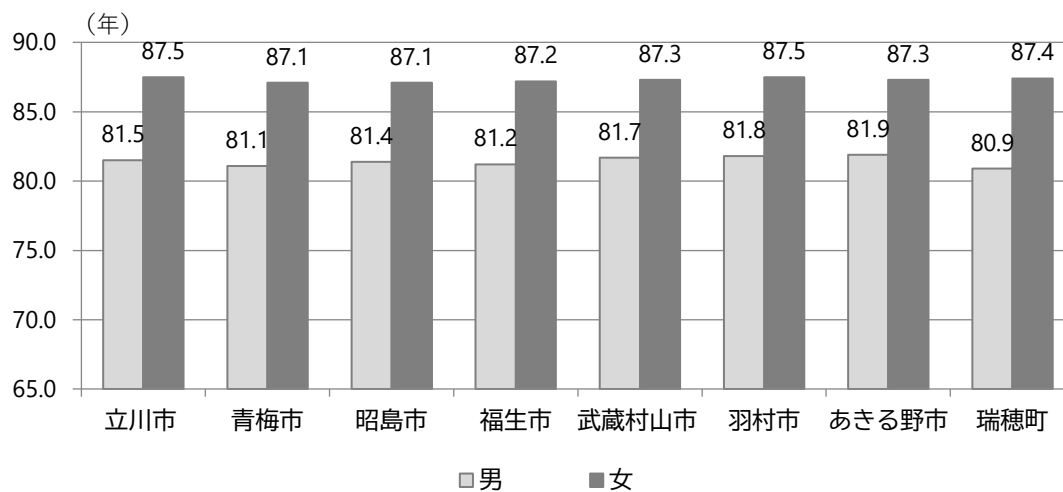
1) 平均寿命

瑞穂町の平均寿命は男性 80.9 年、女性 87.4 年で、男女とも周辺市と比べて高いとは言えない。

■平均寿命

(単位：年)

自治体名	男	女
立川市	81.5	87.5
青梅市	81.1	87.1
昭島市	81.4	87.1
福生市	81.2	87.2
武蔵村山市	81.7	87.3
羽村市	81.8	87.5
あきる野市	81.9	87.3
瑞穂町	80.9	87.4



出典：令和2年市区町村別平均寿命（厚生労働省）

2) 65 歳健康寿命

「健康寿命」は、日常的に介護を必要とせず、自立した生活ができる生存期間のこと
で、東京都においては「65 歳健康寿命」を指標にして数字を公表している。

下表は、65 歳に達した住民が「要支援 1」以上の介護認定を受けるまでの期間を算
出したもので、東京都福祉保健局の資料によると、令和 4 年の西多摩保健医療圏の 65
歳健康寿命は、男性では青梅市、福生市、武蔵村山市、羽村市、あきる野市が東京都全
体よりも高い数値となっている。女性では昭島市を除いてすべての市町村が東京都全
体よりも健康寿命が長い。

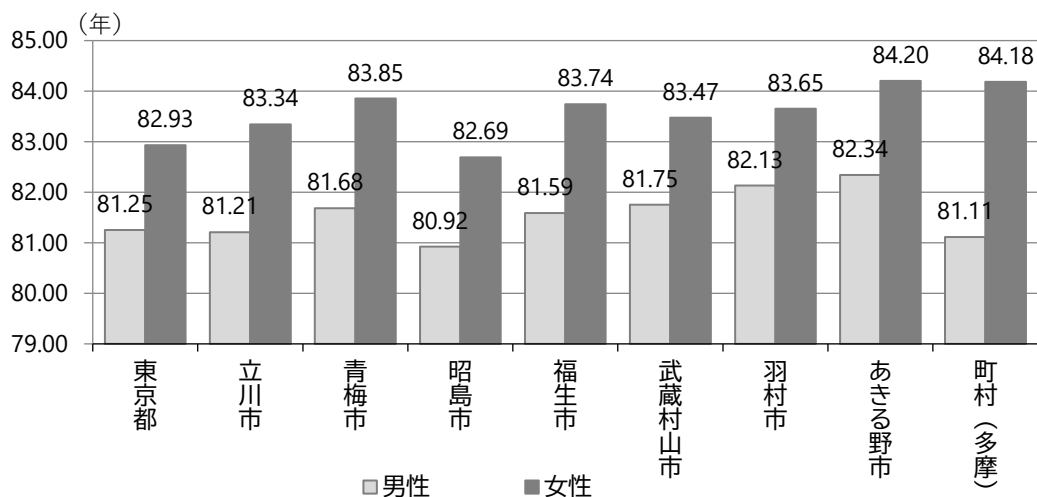
■65 歳健康寿命

(単位：年)

自治体名	要支援 1		要介護 2	
	男性	女性	男性	女性
東京都	81.25	82.93	82.83	86.01
立川市	81.21	83.34	83.01	85.76
青梅市	81.68	83.85	82.85	86.05
昭島市	80.92	82.69	82.36	85.52
福生市	81.59	83.74	82.87	86.19
武蔵村山市	81.75	83.47	83.04	86.24
羽村市	82.13	83.65	83.53	86.46
あきる野市	82.34	84.20	83.53	86.39
町村（多摩）	81.11	84.18	82.21	86.15

出典：令和 4 年都内各区市町村の 65 歳健康寿命（東京都保健医療局）

■65 歳健康寿命（要支援 1）



出典：令和 4 年都内各区市町村の 65 歳健康寿命（東京都保健医療局）

また、瑞穂町の令和5年の平均自立期間（日常生活動作が自立している期間の平均（要介護2以上95%信頼区間）のこと）は、男性77.0～80.2年、女性83.0～85.0年となっている。

■瑞穂町平均自立期間

（単位：年）

	男性	女性
瑞穂町	77.0～80.2	83.0～85.0

出典：国保データベースより抽出（令和5年度）
※第5次瑞穂町長期総合計画の数値指標の令和5年度実績値

3) 出生数と出生率

瑞穂町及び周辺市とも出生数は下降気味であり、人口千人当たりの出生数では瑞穂町は青梅市（4.0人）に次いで2番目に低い数値（4.2人）である。

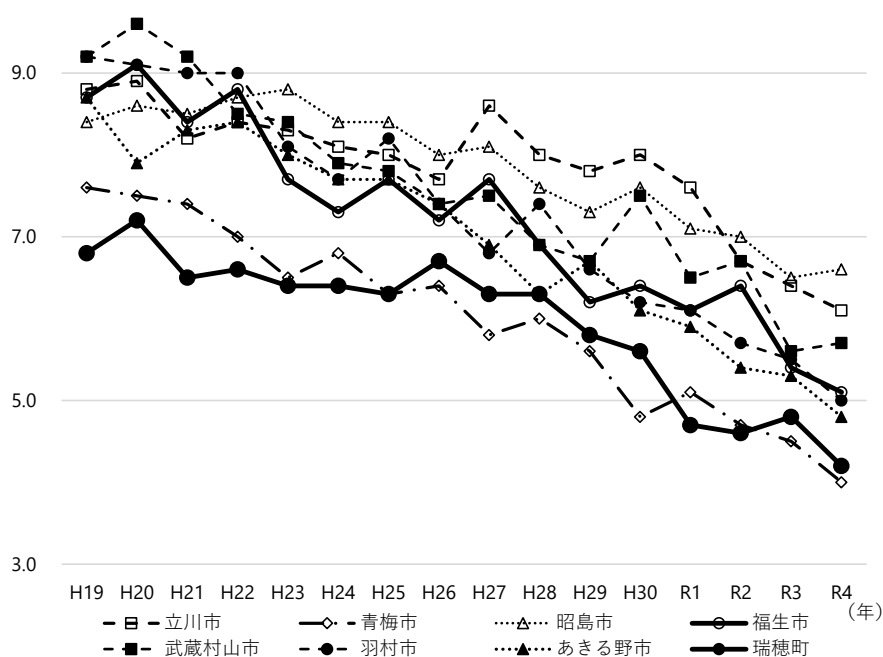
■出生数と出生率

自治体名	出生数（人）															
	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
立川市	1,548	1,566	1,457	1,484	1,486	1,460	1,439	1,395	1,501	1,419	1,391	1,435	1,366	1,205	1,181	1,134
青梅市	1,078	1,055	1,044	969	904	940	860	880	794	818	766	650	676	620	592	522
昭島市	943	960	955	957	983	943	936	895	882	852	820	850	798	780	745	756
福生市	524	548	506	509	457	431	449	419	431	401	362	370	352	335	301	285
武蔵村山市	627	665	642	589	590	556	550	521	525	496	478	539	465	461	397	401
羽村市	522	522	513	503	458	434	461	414	373	412	368	340	337	303	299	270
あきる野市	698	633	668	674	647	623	619	598	557	512	539	493	471	419	423	376
瑞穂町	230	240	219	219	213	213	210	222	207	211	192	183	154	144	151	131

自治体名	出生率（人口千対）															
	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
立川市	8.8	8.9	8.2	8.4	8.3	8.1	8.0	7.7	8.6	8.0	7.8	8.0	7.6	6.7	6.4	6.1
青梅市	7.6	7.5	7.4	7.0	6.5	6.8	6.3	6.4	5.8	6.0	5.6	4.8	5.1	4.7	4.5	4.0
昭島市	8.4	8.6	8.5	8.7	8.8	8.4	8.4	8.0	8.1	7.6	7.3	7.6	7.1	7.0	6.5	6.6
福生市	8.7	9.1	8.4	8.8	7.7	7.3	7.7	7.2	7.7	6.9	6.2	6.4	6.1	6.4	5.4	5.1
武蔵村山市	9.2	9.6	9.2	8.5	8.4	7.9	7.8	7.4	7.5	6.9	6.7	7.5	6.5	6.7	5.6	5.7
羽村市	9.2	9.1	9.0	9.0	8.1	7.7	8.2	7.4	6.8	7.4	6.6	6.2	6.1	5.7	5.5	5.0
あきる野市	8.7	7.9	8.3	8.4	8.0	7.7	7.7	7.4	6.9	6.3	6.7	6.1	5.9	5.4	5.3	4.8
瑞穂町	6.8	7.2	6.5	6.6	6.4	6.4	6.3	6.7	6.3	6.3	5.8	5.6	4.7	4.6	4.8	4.2

出典：人口動態統計（年次推移（区市町村別）（東京都保健医療局）

■出生率（人口千対）



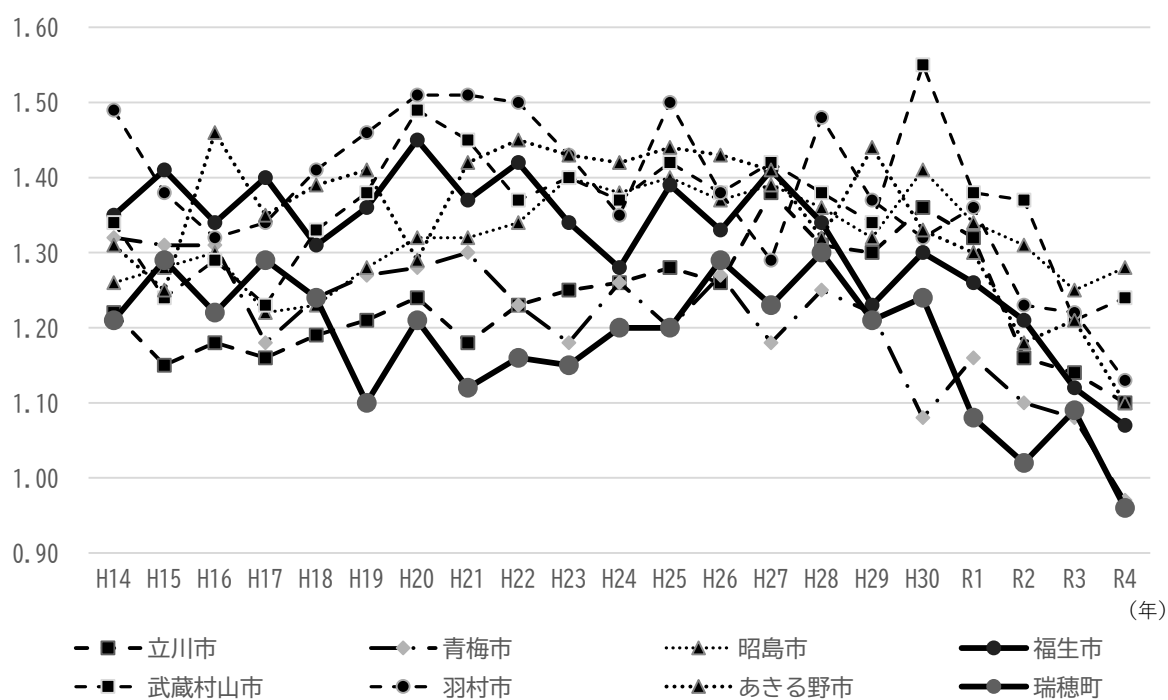
出典：人口動態統計（年次推移（区市町村別）（東京都保健医療局）

4) 合計特殊出生率の推移

瑞穂町の合計特殊出生率は長らくの間 1.20 前後で推移していたが、令和元年以降は大きく減少し、令和 4 年に 1.00 を下回った。これは、周辺市と比べて最も低い合計特殊出生率である。

■合計特殊出生率の推移

自治体名	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
立川市	1.22	1.15	1.18	1.16	1.19	1.21	1.24	1.18	1.23	1.25	1.26	1.28	1.26	1.38	1.31	1.30	1.36	1.32	1.16	1.14	1.10
青梅市	1.32	1.31	1.31	1.18	1.24	1.27	1.28	1.30	1.23	1.18	1.26	1.20	1.27	1.18	1.25	1.22	1.08	1.16	1.10	1.08	0.97
昭島市	1.26	1.28	1.30	1.22	1.23	1.28	1.32	1.32	1.34	1.40	1.38	1.40	1.37	1.39	1.36	1.32	1.41	1.34	1.31	1.25	1.28
福生市	1.35	1.41	1.34	1.40	1.31	1.36	1.45	1.37	1.42	1.34	1.28	1.39	1.33	1.41	1.34	1.23	1.30	1.26	1.21	1.12	1.07
武蔵村山市	1.34	1.24	1.29	1.23	1.33	1.38	1.49	1.45	1.37	1.40	1.37	1.42	1.38	1.42	1.38	1.34	1.55	1.38	1.37	1.21	1.24
羽村市	1.49	1.38	1.32	1.34	1.41	1.46	1.51	1.51	1.50	1.43	1.35	1.50	1.38	1.29	1.48	1.37	1.32	1.36	1.23	1.22	1.13
あきる野市	1.31	1.25	1.46	1.35	1.39	1.41	1.29	1.42	1.45	1.43	1.42	1.44	1.43	1.41	1.32	1.44	1.33	1.30	1.18	1.21	1.10
瑞穂町	1.21	1.29	1.22	1.29	1.24	1.10	1.21	1.12	1.16	1.15	1.20	1.20	1.29	1.23	1.30	1.21	1.24	1.08	1.02	1.09	0.96



出典：人口動態統計年次推移（区市町村別）（東京都保健医療局）

5) 死亡数と死亡率

瑞穂町の死亡数・死亡率は、高齢化に伴い上昇している。

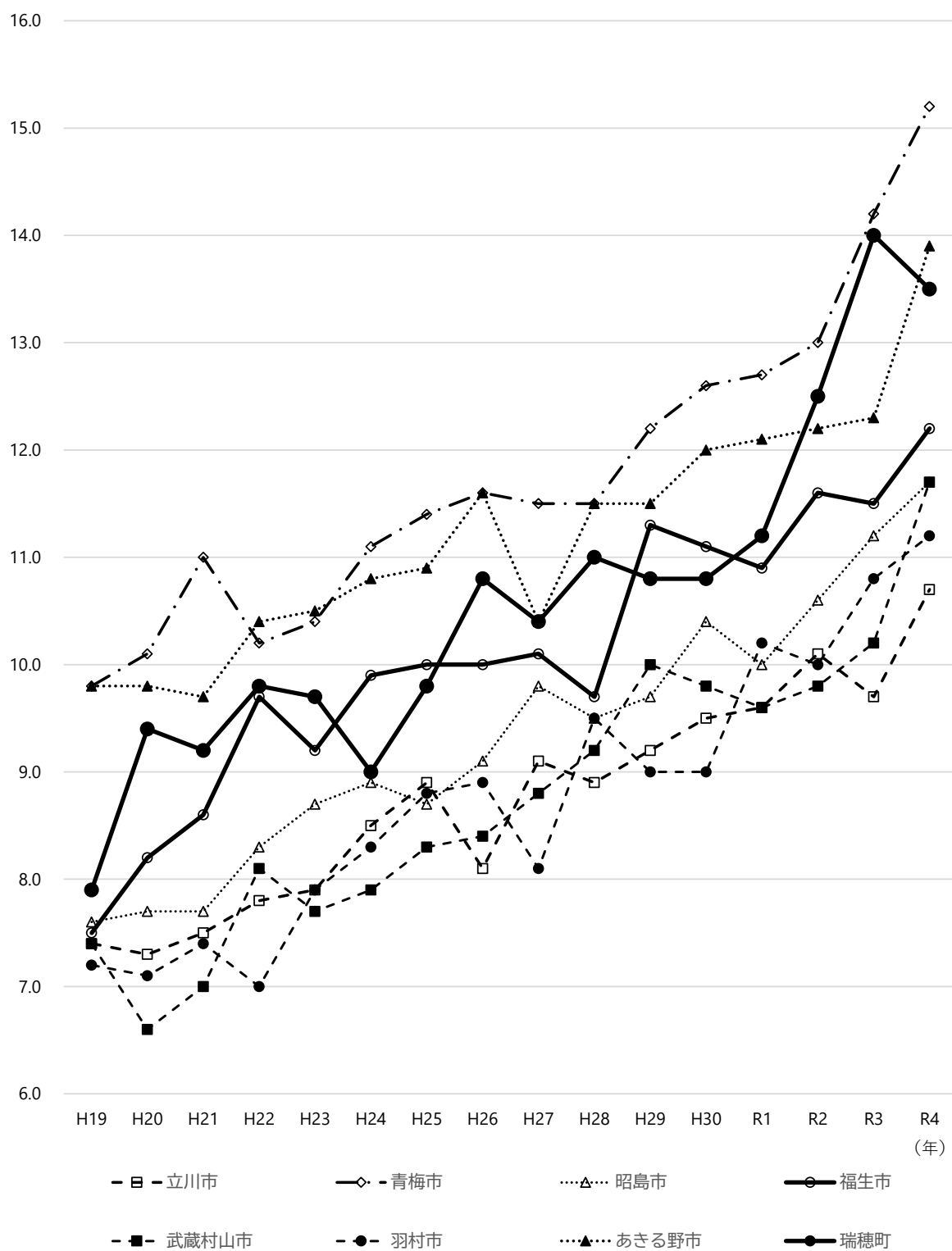
死亡率（人口千対）の平成 19 年からの平均値を周辺市と比較すると、青梅市、あきる野市に次いで高い値であり、要因としては高齢化の傾向と健康寿命の低さが考えられる。

■死亡数と死亡率

自治体名	死 亡 数 (人)															
	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
立川市	1,296	1,295	1,329	1,383	1,429	1,519	1,602	1,467	1,576	1,581	1,656	1,706	1,732	1,808	1,789	1,976
青梅市	1,388	1,435	1,550	1,405	1,453	1,534	1,568	1,581	1,569	1,574	1,663	1,705	1,694	1,712	1,879	2,001
昭島市	853	859	864	914	974	990	970	1,015	1,070	1,064	1,087	1,159	1,124	1,176	1,274	1,336
福生市	455	495	517	557	546	584	588	582	562	566	658	643	625	613	642	681
武蔵村山市	500	454	489	560	543	557	587	591	616	654	714	705	690	675	723	823
羽村市	408	403	419	390	451	470	493	495	446	529	497	494	560	528	583	608
あきる野市	787	785	784	837	852	877	881	941	832	929	930	961	971	958	975	1,099
瑞穂町	265	315	307	325	323	297	324	358	343	366	357	356	363	389	441	423
自治体名	死 亡 率 (人 口 千 対)															
	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
立川市	7.4	7.3	7.5	7.8	7.9	8.5	8.9	8.1	9.1	8.9	9.2	9.5	9.6	10.1	9.7	10.7
青梅市	9.8	10.1	11.0	10.2	10.4	11.1	11.4	11.6	11.5	11.5	12.2	12.6	12.7	13.0	14.2	15.2
昭島市	7.6	7.7	7.7	8.3	8.7	8.9	8.7	9.1	9.8	9.5	9.7	10.4	10.0	10.6	11.2	11.7
福生市	7.5	8.2	8.6	9.7	9.2	9.9	10.0	10.0	10.1	9.7	11.3	11.1	10.9	11.6	11.5	12.2
武蔵村山市	7.4	6.6	7.0	8.1	7.7	7.9	8.3	8.4	8.8	9.2	10.0	9.8	9.6	9.8	10.2	11.7
羽村市	7.2	7.1	7.4	7.0	7.9	8.3	8.8	8.9	8.1	9.5	9.0	9.0	10.2	10.0	10.8	11.2
あきる野市	9.8	9.8	9.7	10.4	10.5	10.8	10.9	11.6	10.4	11.5	11.5	12.0	12.1	12.2	12.3	13.9
瑞穂町	7.9	9.4	9.2	9.8	9.7	9.0	9.8	10.8	10.4	11.0	10.8	10.8	11.2	12.5	14.0	13.5

出典：人口動態統計（年次推移（区市町村別）（東京都保健医療局）

■死亡率（人口千対）



出典：人口動態統計（年次推移（区市町村別））（東京都保健医療局）

6) 瑞穂町を取り巻く広域医療圏（西多摩圏域）の状況

(1) 病院施設

西多摩保健医療圏（以下『西多摩圏域』という）には、令和4年10月現在、病院が28施設あり、人口10万人当たりで見ると7.5施設で、東京都の4.5施設を上回っている。内訳では、精神科病床のみを有する精神科病院が7病院あり、人口10万人当たり1.9施設と、東京都の0.3施設を大きく上回っている。

■病院数（令和4年10月1日現在）

（上段：病院数、下段：人口10万対）

区分	病院	病院	
		一般病院	精神科病院
東京都	629	581	48
	4.5	4.1	0.3
西多摩圏域	28	21	7
	7.5	5.6	1.9

出典：東京都の医療施設-令和4年医療施設（動態）調査・病院報告結果報告書-（東京都福祉保健局）

病院機能連携の中核を担う地域医療支援病院については、平成29年8月に青梅市立総合病院が都知事の承認を受けた。これにより、救急告示病院は7病院、災害拠点病院は青梅市立総合病院、公立阿伎留医療センター、公立福生病院の3病院が都知事の認定・指定を受けることとなった※1。

※1 東京都西多摩保健医療圏地域保健医療推進プラン（平成30年12月）（西多摩地域保健医療協議会）P20より。

■西多摩圏域の病院設置状況（令和4年10月1日現在）

（単位：ヶ所）

区分	西多摩圏域	東京都
一般病院	21	581
精神科病院	7	48
地域医療支援病院	1	50
救急告示病院	7	306
療養病床を有する病院	13	230

出典：東京都の医療施設-令和4年医療施設（動態）調査・病院報告結果報告書-（東京都福祉保健局）

■医療施設の状況（令和4年10月1日現在）

（単位：ヶ所）

二次保健医療圏名	保健所名	自治体名	病院			一般診療所	歯科診療所	左のうち一般病院の病床規模別病院数						
			計	精神科病院	一般病院			～20	～50	100～	200～	300～	400～	500～
西多摩	西多摩保健所	青梅市	14	6	8	90	62	0	0	5	0	1	0	2
		福生市	4	0	0	44	28	0	1	2	0	1	0	0
		羽村市	2	0	2	37	31	0	0	2	0	0	0	0
		あきる野市	4	1	3	45	38	0	1	1	0	1	0	0
		瑞穂町	1	0	1	15	11	0	0	1	0	0	0	0
		日の出町	2	0	2	15	6	0	0	2	0	0	0	0
		檜原村	0	0	0	3	0							
		奥多摩町	1	0	1	8	2	1	0	0	0	0	0	0
北多摩西部	多摩立川保健所	立川市	8	0	8	182	126	1	2	2	1	0	2	0
		昭島市	8	0	8	61	60	1	1	4	0	0	1	1
		国分寺市	2	0	2	114	79	0	1	1	0	0	0	0
		国立市	2	0	2	85	71	2	0	0	0	0	0	0
		東大和市	2	0	2	51	44	0	0	1	1	0	0	0
		武蔵村山市	4	0	4	27	26	0	1	1	0	2	0	0
多摩地域計			212	36	176	3,235	2,342	19	29	68	18	19	9	14
東京都計			629	48	581	14,689	10,696	83	146	189	42	45	32	44

出典：東京都の医療施設-令和4年医療施設（動態）調査・病院報告結果報告書-（東京都福祉保健局）

令和4年10月現在、西多摩圏域の一般診療所は257ヶ所、歯科診療所は178ヶ所と、5年前と比較して大きな変化は見られなかった。ただし、人口10万人対で比較するといずれも東京都全体の数値を大きく下回っている。

東京都の薬局数は増加傾向が続いている。令和5年3月末現在で、7,065施設（人口10万人対で50.3施設）、西多摩圏域では微増で、同年度末において172施設となっている。

瑞穂町内では、内科が12ヶ所で最も多く、次いで消化器内科及び歯科が3ヶ所となっている。

■一般診療所数・歯科診療所数・薬局数

(単位：上段：ヶ所、下段：人口10万対)

区分	一般診療所 総数	(再掲) 小児科	(再掲) 有床診療所	歯科診療所	薬局数
東京都	14,689	2,529	314	10,696	7,065
	104.6	18.0	2.2	76.2	50.3
西多摩	257	53	10	178	172
	68.5	14.1	2.7	47.5	47.9

令和4年10月1日現在

令和5年3月31日現在

出典：東京都の医療施設－令和4年医療施設（動態）動態調査・病院報告結果報告書（東京都福祉保健局）
福祉・衛生 統計年報（令和4年度）（東京都福祉局総務部総務課・保健医療局総務部総務課）
住民基本台帳による東京都の世帯と人口（令和5年1月）（東京都総務局）

■瑞穂町内の医療機関にかかる診療科内訳

(単位：ヶ所)

	一般診療所数	内科	呼吸器内科	循環器内科	(胃腸内科) 消化器内科	腎臓内科	脳神経内科	(糖尿病内科) 代謝内科	血液内科	皮膚科	アレルギー科	リウマチ科	感染症内科	小児科	精神科
医療機関診療科数	15	12	0	0	3	0	1	1	0	1	1	0	0	5	1

	心療内科	外科	呼吸器外科	心臓血管外科	乳腺外科	気管食道外科	(胃腸外科) 消化器外科	泌尿器科	肛門外科	脳神経外科	整形外科	形成外科	美容外科	眼科	耳鼻いんこう科
医療機関診療科数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	2

	小児外科	産婦人科	産科	婦人科	テリハビリ リハビリ科	放射線科	麻酔科	病理診断科	臨床検査科	救急科	歯科	矯正歯科	小児歯科	歯科口腔外科
医療機関診療科数	0	0	0	1	2	0	0	0	0	0	3	0	0	0

出典：東京都の医療施設－令和4年医療施設（動態）調査・病院報告結果報告書－（東京都福祉保健局）

(2) 訪問看護ステーション

西多摩圏域で訪問看護ステーション事業を行っている事業所は 26 事業所（令和 6 年現在）となっている。

■西多摩圏域に立地する訪問看護ステーション

（単位：事業所）

	青梅市	福生市	羽村市	あきる野市	瑞穂町	日の出町	計
事業所数	10	3	3	6	2	2	26

注：東京都訪問看護ステーション協会に加盟している事業所数

出典：訪問看護ステーション一覧（東京都訪問看護ステーション協会）

(3) 多摩地域の保健所

平成 16 年度、多摩地域における東京都保健所の再編整備により、多摩川保健所と秋川保健所が統合され、現西多摩保健所が誕生した。これを機に、西多摩保健所は、地域保健の広域的・専門的かつ技術的拠点としての機能が強化された。

また、市町村が設置している保健センターは、西多摩保健所との連携をしつつ、健康相談、保健指導と健康診査、その他の地域保健に関し、地域住民に身近な対人保健サービスを総合的に行う拠点として活動し、西多摩圏域には、現在、保健センター・相談所等が 9 ケ所（青梅市健康センター、福生市保健センター、羽村市保健センター、あきる野市あきる野保健相談所、あきる野市五日市保健センター、瑞穂町保健センター、日の出町保健センター、檜原村やすらぎの里、奥多摩町保健福祉センター）設置されている。

4. 福祉

1) 社会福祉施設の状況

西多摩地域には高齢者を対象とした福祉施設が多い。令和5年10月現在の住民基本台帳における65歳以上の人口10万人当たりの介護老人福祉施設数は、東京都の18.6ヶ所に対し西多摩地域は54.9ヶ所と約3.0倍、介護老人保健施設については、東京都の6.5ヶ所に対し西多摩地域は13.1ヶ所と約2倍となっている。

■高齢者福祉施設数（令和5年10月1日現在）

（単位：ヶ所）

区分	介護老人福祉施設		介護老人保健施設	
	施設数	65歳以上人口10万人当たり施設数	施設数	65歳以上人口10万人当たり施設数
東京都	583	18.6	203	6.5
西多摩	63	54.9	15	13.1

出典：東京都保健医療計画第七次改定（令和6年3月改定）（東京都保健医療局）
住民基本台帳による東京都の世帯と人口（令和5年1月1日現在）（東京都総務局）

瑞穂町での老人福祉施設は1施設と、周辺市に比べて少ない状況であるが、障がい者支援施設等は、人口規模に対して高い設置率となっている。

5年前と比較して、瑞穂町の施設数に大きな変化はないが、立川市は児童福祉施設等を中心に約20施設減少、青梅市は児童福祉施設等を中心に10施設増加している。

また、平成18年の改正介護保険法の施行により、65歳以上やその家族等を総合的に支援する地域包括支援センターが創設され、瑞穂町には令和6年7月現在2ヶ所が設置されている。

■社会福祉施設の状況（令和3年10月1日現在）

（単位：ヶ所）

自治体名	総数	老人福祉施設				障害者支援施設等	身体障害者社会参加支援施設	児童福祉施設等	その他	介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）
		計	養護老人ホーム	経費老人ホーム	老人福祉センター					
立川市	105	8	0	3	5	3	0	60	34	9
青梅市	98	2	2	0	0	5	0	77	14	28
昭島市	53	4	2	0	2	1	0	32	16	5
福生市	49	1	0	0	1	3	0	36	9	4
武蔵村山市	39	8	0	1	7	4	1	18	8	3
羽村市	31	2	0	0	2	2	0	22	5	3
あきる野市	42	3	1	2	0	4	0	29	6	13
瑞穂町	17	1	0	0	1	4	0	11	1	4

出典：多摩・島しょ地域データブック～多摩・島しょ地域主要統計表～2023（令和5）年版（公益財団法人 東京市町村自治調査会）

■社会福祉施設の人口に対する設置率

自治体名	令和3年 人口 (1月)	人口に対する設置率	
		障害者支援 施設等	児童福祉施 設等
立川市	184,577	0.002%	0.033%
青梅市	132,145	0.004%	0.058%
昭島市	113,552	0.001%	0.028%
福生市	57,024	0.005%	0.063%
武蔵村山市	72,023	0.006%	0.025%
羽村市	54,725	0.004%	0.040%
あきる野市	80,221	0.005%	0.036%
瑞穂町	32,568	0.012%	0.034%

注：上記「社会福祉施設の状況」表の「障がい者支援施設等」及び「児童福祉施設等」の各施設数を令和3年住民基本台帳（東京都人口統計課）の1月人口で割って算出した。

■地域包括支援センター設置数

(単位：ヶ所)

自治体名	地域包括支援 センター数
青梅市	3
福生市	3
羽村市	3
あきる野市	3
瑞穂町	2
日の出町	1
奥多摩町	1
檜原村	1

出典：各市町村ホームページより

2) 年少人口・老年人口の割合

瑞穂町の年少人口の割合は令和2年には10.84%とその値は小さくなっている。

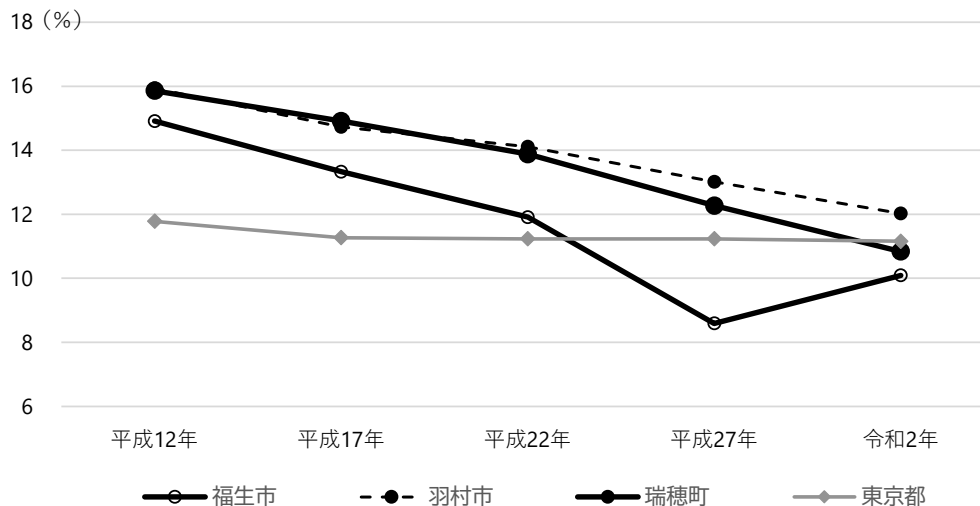
年少人口が小さくなる速度は近年早まっているが、これは合計特殊出生率の減少が起因していると思われる。一方で、老年人口の割合が年々高まり、老年化指数の数値は急速に高くなっている。

■年少・老年人口割合、老年化指数の推移（各年10月1日現在）

自治体名	年少（0～14歳以下）人口割合（％）					老年（65歳以上）人口割合（％）					老年化指数				
	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	令和2年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	令和2年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	令和2年
立川市	13.27	12.96	11.84	10.64	11.89	14.33	17.92	21.24	22.90	24.80	108	138	179	215	209
青梅市	15.11	13.90	12.91	11.58	10.31	15.53	18.84	23.14	28.14	31.82	103	135	179	243	309
昭島市	14.14	13.47	12.94	12.56	12.09	14.80	17.86	20.67	24.61	26.33	105	133	160	196	218
福生市	14.91	13.33	11.91	8.59	10.09	13.31	16.85	20.41	23.25	26.86	89	126	171	271	266
武蔵村山市	15.29	14.88	15.53	14.55	13.24	12.90	17.25	20.83	24.66	26.61	84	116	134	170	201
羽村市	15.93	14.73	14.11	13.01	12.02	11.70	15.77	19.52	24.00	27.11	73	107	138	184	226
あきる野市	15.18	14.63	14.05	13.27	11.65	15.79	19.23	23.74	27.87	30.01	104	131	169	210	258
瑞穂町	15.86	14.91	13.88	12.27	10.84	13.18	16.98	21.10	26.02	29.96	83	114	152	212	276
多摩地域	13.25	12.81	12.61	12.16	11.75	14.55	17.72	20.60	23.70	24.96	110	138	163	195	212
東京都	11.78	11.27	11.23	11.23	11.15	15.84	19.19	20.08	22.24	22.12	134	170	179	198	198

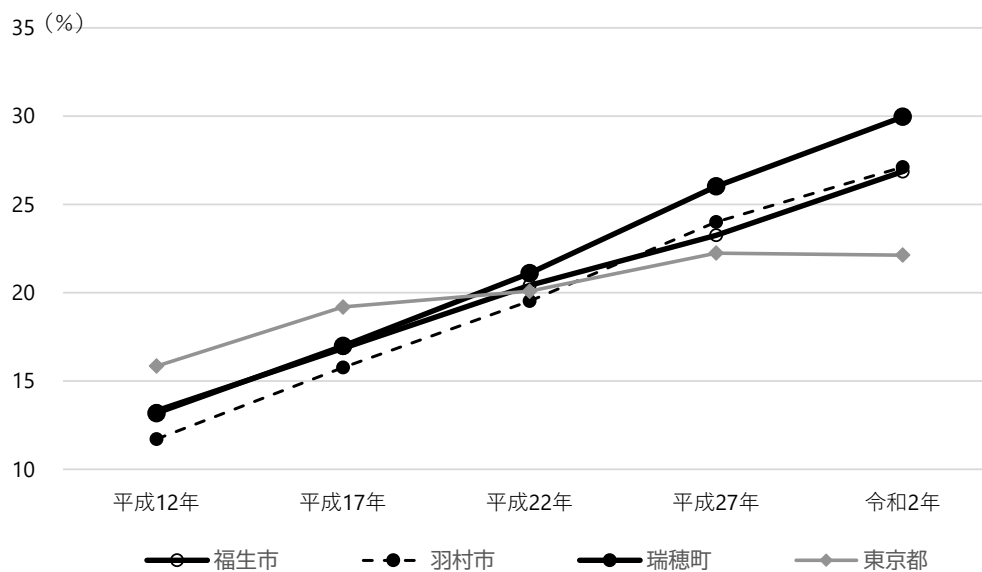
■年少人口割合

（単位：％）

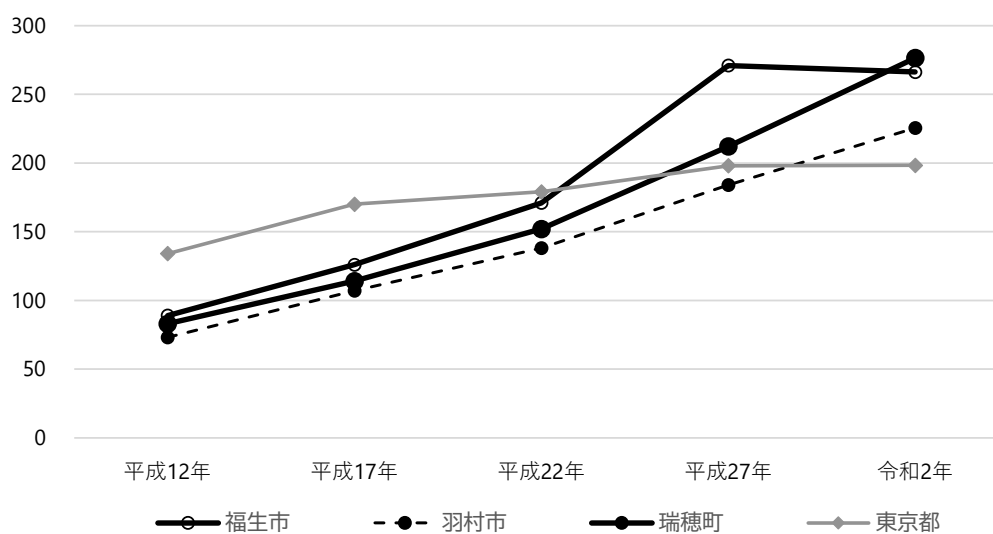


■老年人口割合

(単位：％)



■老年化指数



注：年少人口割合＝年少人口÷総人口×100 老年人口割合＝老年人口÷総人口×100
 老年化指数＝老年人口÷年少人口×100 により算出

注：年少人口・老年人口・総人口の数値は各調査年「国勢調査報告」による。

出典：「国勢調査東京都区市町村町丁別報告（東京都総務局統計部）」

3) 介護保険被保険者、認定者、受給者の状況

令和5年1月1日の瑞穂町の住民基本台帳による人口は32,161人であり、要介護（要支援）認定者数（第1号）は1,540人であるため、人口の4.79%を占めている。多摩地域では4.93%であることから、多摩地域に比べて若干低い傾向にある。

今後、老年化指数が次第に高まることを考えると、要介護者の発生率も高くなっていくことが予測される。

■介護保険被保険者、認定者、受給者の状況（令和5年1月末現在）

（単位：人）

自治体名	第1号 被保険者数	要介護（要支援） 認定者数		居宅介護（支援） サービス受給者数		地域密着型 サービス受給者数		施設介護 サービス受給者数	
		第1号	第2号	第1号	第2号	第1号	第2号	第1号	第2号
立川市	45,156	8,855	215	5,226	138	1,043	17	1,225	11
青梅市	39,805	6,214	158	3,049	94	520	5	1,337	13
昭島市	30,040	5,635	126	3,253	80	658	9	971	12
福生市	15,357	2,615	56	1,511	38	224	5	529	6
武蔵村山市	19,143	3,200	86	1,920	58	319	5	564	5
羽村市	14,533	2,445	63	1,325	39	177	3	441	3
あきる野市	23,638	3,876	83	2,048	56	394	4	858	14
瑞穂町	9,415	1,540	36	824	28	106	3	321	3
多摩地域計	1,080,182	209,501	4,643	123,638	3,161	21,776	348	28,214	284
東京都計	3,149,648	636,060	13,919	393,974	9,577	72,079	1,171	74,971	808

出典：福祉・衛生統計年報（令和4年度）（東京都福祉保健局）

4) 心身障がい者（児）居宅介護（ホームヘルプ）実施状況

瑞穂町の心身障がい者（児）居宅介護（ホームヘルプ）実施状況は、わずかな増減を繰り返している。多摩地域および東京都全体における実施状況は、年々増加している。

■心身障がい者（児）居宅介護（ホームヘルプ）実施状況

(単位：人)

自治体名	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
	支給決定者数	支給決定者数	支給決定者数	支給決定者数
立川市	503	490	472	460
青梅市	288	294	293	299
昭島市	329	317	322	342
福生市	157	156	148	138
武蔵村山市	366	342	351	364
羽村市	122	127	132	125
あきる野市	169	149	172	172
瑞穂町	101	90	95	103
多摩地域計	9,613	9,697	9,870	9,970
東京都計	29,556	29,796	30,633	31,001

出典：福祉・衛生統計年報（令和4年度）（東京都福祉保健局）

5) 保育所

平成 29 年時点の瑞穂町の認可保育所数は 7 園、定員 600 人に対して入所児童数は 634 人と定員を上回る状況であったが、令和 5 年 4 月現在、定員 669 人に対して入所児童数が 630 人となり供給が上回る状況となった。また、それに伴い平成 30 年 4 月 1 日時点で 14 人いた待機児童も令和 4 年 4 月 1 日現在では 0 人になった。

■認可保育所の状況（令和 5 年 4 月 1 日現在）

自治体名	施設数 (か所)			定員 (人)			入所児童数 (人)		
	計	公立	私立	計	公立	私立	計	公立	私立
立川市	35	6	29	3,805	663	3,142	3,502	582	2,920
青梅市	31	-	31	3,321	-	3,321	2,625	2	2,623
昭島市	20	-	20	2,484	-	2,484	2,474	1	2,473
福生市	14	-	14	1,359	-	1,359	1,230	-	1,230
武蔵村山市	13	-	13	1,943	-	1,943	1,741	2	1,739
羽村市	12	-	12	1,116	-	1,116	1,148	2	1,146
あきる野市	15	3	12	1,779	200	1,579	1,576	122	1,454
瑞穂町	9	2	7	669	209	460	630	182	448
多摩地域計	906	134	772	87,379	13,201	74,178	82,876	12,558	70,318
東京都計	3,611	800	2,811	320,870	83,898	236,972	288,070	75,647	212,423

注：休止中の施設は除く。

注：入所児童数は、管外の施設に委託している児童数を含む。

出典：福祉・衛生統計年報（令和 4 年度）（東京都福祉保健局）

■待機児童数

（単位：人）

自治体名	令和4年4月1日現在				令和5年4月1日現在				増減		
	就学前 児童人口	保育サービス利用 児童数		待機 児童数	就学前 児童人口	保育サービス利用 児童数		待機 児童数	就学前 児童人口	保育サー ビス利用 児童数	待機 児童数
		就学前児童 人口比率				就学前児童 人口比率					
立川市	8,085	4,082	50.5%	13	7,801	4,008	51.4%	26	-284	-74	13
青梅市	4,251	2,910	68.5%	3	4,008	2,784	69.5%	7	-243	-126	4
昭島市	5,063	2,907	57.4%	13	5,039	2,975	59.0%	6	-24	68	-7
福生市	1,926	1,277	66.3%		1,868	1,272	68.1%		-58	-5	
武蔵村山市	3,110	1,816	58.4%		2,991	1,776	59.4%		-119	-40	
羽村市	2,120	1,373	64.8%	3	1,995	1,369	68.6%		-125	-4	-3
あきる野市	3,130	1,888	60.3%	5	3,014	1,851	61.4%	12	-116	-37	7
瑞穂町	1,093	676	61.8%		1,029	693	67.3%		-64	17	
多摩地域計	180,831	96,027	53.1%	263	174,135	96,312	55.3%	258	-6,696	285	-5
東京都計	595,119	323,879	54.4%	300	570,344	323,749	56.8%	286	-24,775	-130	-14

注：就学前児童人口は、東京都総務局発行「住民基本台帳による東京都の世帯と人口（各年 1 月 1 日現在）」による。（外国人人口を含まない。）

注：保育サービス利用児童数は、認可保育所、認証保育所、認定こども園、小規模保育事業、家庭的保育事業、事業所内保育事業、居宅訪問型保育事業、定期利用保育事業、企業主導型保育事業、区市町村単独保育施策等の合計

注：認定こども園の利用児童数は、幼保連携型及び幼稚園型を利用する保育を必要とする子の合計。ただし、幼稚園型を構成する認可外保育施設が認証保育所の場合は、その分の利用児童除く。

出典：都内の保育サービスの状況について（東京都福祉保健局）

6) 児童館、学童クラブ及び職員の状況

瑞穂町は児童館施設が公立の1施設、学童クラブが6施設あり、児童の遊びを指導する常勤の職員は7人、非常勤が13人の計20人が配置されている。瑞穂町の定員1人当たりの職員数0.058人は、立川市の0.076、あきる野市の0.071、福生市の0.059に次ぐ値であり、多摩地域計の0.028人、東京都計の0.043よりも多い。

■児童館、学童クラブ及び職員の状況（令和4年3月現在）

（単位：所、人）

自治体名	児童館			学童クラブ			児童の遊びを指導するもの						
	総数	公立	私立	施設数	定員	登録児数	合計	常勤					非常勤
								計	保育士 資格	教員資格	関連学科 卒	その他	
立川市	9	8	1	38	1,853	1,853	140	46	15	25	-	6	94
青梅市	-	-	-	40	1,430	1,430	-	-	-	-	-	-	-
昭島市	1	1	-	22	1,258	1,258	13	2	1	1	-	-	11
福生市	3	3	-	12	614	614	36	11	5	4	1	1	25
武蔵村山市	3	3	-	13	710	710	13	7	1	1	1	4	6
羽村市	3	3	-	12	585	585	34	-	-	-	-	-	34
あきる野市	6	6	-	16	983	983	70	-	-	-	-	-	70
瑞穂町	1	1	-	6	342	342	20	7	3	4	-	-	13
多摩地域計	148	147	1	830	44,206	44,206	1,221	436	139	168	21	108	785
東京都計	588	583	5	1,950	119,640	119,640	5,200	2,804	1,382	761	137	524	2,396

注：休止中の施設は除く。

出典：福祉・衛生統計年報（令和4年度）（東京都福祉保健局）

7) 生活保護

瑞穂町の生活保護の被保護者は、534 世帯、726 人、保護率は 23.3%と、多摩地域の平均 17.5%、東京都の平均 19.6%より高い水準である。

■生活保護の状況（令和5年度平均値）

（単位：世帯、人、%）

自治体名	被保護者			扶助の種類別被保護世帯数							
	世帯	人員	保護率	生活扶助	住宅扶助	教育扶助	介護扶助	医療扶助	出産扶助	生業扶助	葬祭扶助
立川市	3,886	4,762	25.8	4,250	4,307	161	906	4,355	-	86	11
青梅市	2,227	2,882	22.0	2,345	2,409	159	369	1,926	-	56	5
昭島市	1,815	2,264	19.7	1,922	1,969	116	484	1,849	-	43	8
福生市	959	1,150	20.6	967	1,023	34	250	1,041	-	16	2
武蔵村山市	1,273	1,687	24.2	1,456	1,509	94	288	1,458	-	16	3
羽村市	677	850	15.7	693	738	35	145	738	-	14	2
あきる野市	764	997	12.7	889	778	64	158	792	0	22	2
瑞穂町	534	726	23.3	595	612	42	136	640	-	12	3
多摩地域計	60,741	75,102	17.5	64,554	66,706	2,978	13,242	61,387	0	1,329	174
東京都計	231,299	276,179	19.6	239,074	248,061	8,887	53,515	236,714	4	4,164	751

注：保護停止中の世帯、人員含む。

注：総数と内訳の計が一致しないのは、端数処理のためである。

注：保護率算定の基礎人口は、東京都総務局「東京都の人口（推計）」（令和5年10月1日）による。

注：多摩地域計及び東京都計については、「その他」の地域を加算している。

注：0は小数点第1位を四捨五入して整数値にならないもの。

出典：福祉・衛生統計年報（令和5年度）（東京都福祉保健局）

5. 産業

1) 産業分類別従業者及び事業所数

瑞穂町は、産業分類別従業者数（瑞穂町において実際に働いている人口）及び事業所数ともに、周辺市に比べて第二次産業の占める比率が高い一方、第三次産業の占める比率は低くなっている。業種では製造業の比率が高いことが特徴である。

■産業分類別従業者数（令和3年6月1日現在）

（単位：人）

自治体名	第一次産業	第二次産業	第三次産業	総数	自治体名	第一次産業	第二次産業			
						農業、林業	自治体名	鉱業、採石業、砂利採取業	建設業	製造業
立川市	84	11,123	56,586	67,793	立川市	84	立川市	12	4,440	6,671
	0.1%	16.4%	83.5%	100.0%		0.0%		6.5%	9.8%	
青梅市	38	10,119	17,276	27,433	青梅市	38	青梅市	23	1,971	8,125
	0.1%	36.9%	63.0%	100.0%		0.1%		7.2%	29.6%	
昭島市	46	11,975	17,782	29,803	昭島市	46	昭島市	-	1,927	10,048
	0.2%	40.2%	59.7%	100.0%		-		6.5%	33.7%	
福生市	31	1,887	7,632	9,550	福生市	31	福生市	-	725	1,162
	0.3%	19.8%	79.9%	100.0%		-		7.6%	12.2%	
武蔵村山市	10	6,097	5,531	11,638	武蔵村山市	10	武蔵村山市	-	1,927	4,170
	0.1%	52.4%	47.5%	100.0%		-		16.6%	35.8%	
羽村市	11	3,664	5,050	8,725	羽村市	11	羽村市	-	728	2,936
	0.1%	42.0%	57.9%	100.0%		-		8.3%	33.7%	
あきる野市	35	4,147	4,864	9,046	あきる野市	35	あきる野市	-	1,549	2,598
	0.4%	45.8%	53.8%	100.0%		-		17.1%	28.7%	
瑞穂町	49	5,796	5,090	10,935	瑞穂町	49	瑞穂町	-	832	4,964
	0.4%	53.0%	46.5%	100.0%		-		7.6%	45.4%	

自治体名	第三次産業													
	電気・ガス・熱供給・水道業	情報通信業	運輸業、郵便業	卸売業、小売業	金融業、保険業	不動産業、物品賃貸業	学術研究、専門・技術サービス業	宿泊業、飲食サービス業	生活関連サービス業、娯楽業	教育、学習支援業	医療、福祉	複合サービス事業	サービス業（他に分類されないもの）	
立川市	63	4,692	3,672	26,192	993	2,160	1,662	4,959	2,644	673	1,364	-	7,512	
	0.1%	6.9%	5.4%	38.6%	1.5%	3.2%	2.5%	7.3%	3.9%	1.0%	2.0%	-	11.1%	
青梅市	70	268	1,986	6,690	45	635	307	577	1,381	131	1,049	-	4,137	
	0.3%	1.0%	7.2%	24.4%	0.2%	2.3%	1.1%	2.1%	5.0%	0.5%	3.8%	-	15.1%	
昭島市	81	215	2,234	8,351	59	785	557	980	1,047	135	749	-	2,589	
	0.3%	0.7%	7.5%	28.0%	0.2%	2.6%	1.9%	3.3%	3.5%	0.5%	2.5%	-	8.7%	
福生市	111	96	287	2,746	26	745	134	1,398	351	156	515	-	1,067	
	1.2%	1.0%	3.0%	28.8%	0.3%	7.8%	1.4%	14.6%	3.7%	1.6%	5.4%	-	11.2%	
武蔵村山市	-	29	1,426	2,084	40	349	84	377	369	150	79	-	544	
	-	0.2%	12.3%	17.9%	0.3%	3.0%	0.7%	3.2%	3.2%	1.3%	0.7%	-	4.7%	
羽村市	-	131	527	1,688	43	401	121	557	97	107	274	-	1,104	
	-	1.5%	6.0%	19.3%	0.5%	4.6%	1.4%	6.4%	1.1%	1.2%	3.1%	-	12.7%	
あきる野市	-	48	388	1,695	36	328	122	560	798	61	243	-	585	
	-	0.5%	4.3%	18.7%	0.4%	3.6%	1.3%	6.2%	8.8%	0.7%	2.7%	-	6.5%	
瑞穂町	2	10	1,024	2,298	3	190	28	162	440	18	170	-	745	
	0.0%	0.1%	9.4%	21.0%	0.0%	1.7%	0.3%	1.5%	4.0%	0.2%	1.6%	-	6.8%	

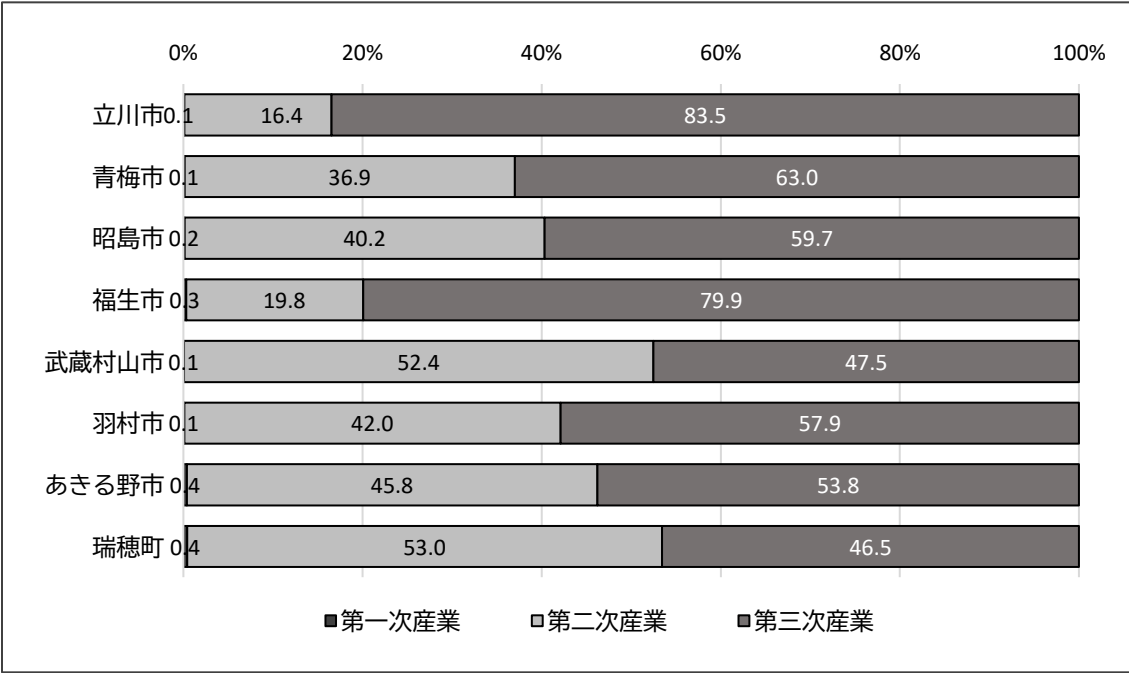
注：国及び地方公共団体の事業所及び従業者も含む。

注：第一次産業、第二次産業、第三次産業の割合は、それぞれ小数第二位以下を四捨五入しているため、各割合の合計が必ずしも100%とはならない。

出典：令和3年経済センサス-活動調査（総務省統計局）

■産業分類別従業者数（割合）（令和3年6月1日現在）

（単位：％）



注：国及び地方公共団体の事業所及び従業者も含む。

出典：令和3年経済センサス - 活動調査（総務省統計局）

■産業分類別事業所数（令和3年6月1日現在）

（単位：事業所）

自治体名	第一次産業	第二次産業	第三次産業	総数
立川市	11	589	1,914	2,514
	0.4%	23.4%	76.1%	100.0%
青梅市	10	570	912	1,492
	0.7%	38.2%	61.1%	100.0%
昭島市	4	414	787	1,205
	0.3%	34.4%	65.3%	100.0%
福生市	5	160	407	572
	0.9%	28.0%	71.2%	100.0%
武蔵村山市	2	517	505	1,024
	0.2%	50.5%	49.3%	100.0%
羽村市	2	193	426	621
	0.3%	31.1%	68.6%	100.0%
あきる野市	4	371	443	818
	0.5%	45.4%	54.2%	100.0%
瑞穂町	6	442	320	768
	0.8%	57.6%	41.7%	100.0%

自治体名	農業、林業	鉱業、採石業、砂利採取業	建設業	製造業	電気・ガス・熱供給・水道業	情報通信業	運輸業、郵便業	卸売業、小売業	金融業、保険業	不動産業、物品賃貸業	学術研究、専門・技術サービス業	宿泊業、飲食サービス業	生活関連サービス業、娯楽業	教育、学習支援業	医療、福祉	複合サービス事業	サービス業（他に分類されないもの）
立川市	11	2	404	183	4	147	43	465	40	476	190	178	113	33	80	-	145
	0.4%	0.1%	16.1%	7.3%	0.2%	5.8%	1.7%	18.5%	1.6%	18.9%	7.6%	7.1%	4.5%	1.3%	3.2%	-	5.8%
青梅市	10	1	279	290	1	24	35	335	16	170	72	55	57	17	55	-	75
	0.7%	0.1%	18.7%	19.4%	0.1%	1.6%	2.3%	22.5%	1.1%	11.4%	4.8%	3.7%	3.8%	1.1%	3.7%	-	5.0%
昭島市	4	-	238	176	1	31	22	249	15	182	61	50	52	19	35	-	70
	0.3%	-	19.8%	14.6%	0.1%	2.6%	1.8%	20.7%	1.2%	15.1%	5.1%	4.1%	4.3%	1.6%	2.9%	-	5.8%
福生市	5	-	104	56	1	6	8	152	7	95	28	21	26	7	25	-	31
	0.9%	-	18.2%	9.8%	0.2%	1.0%	1.4%	26.6%	1.2%	16.6%	4.9%	3.7%	4.5%	1.2%	4.4%	-	5.4%
武蔵村山市	2	-	317	200	-	9	43	201	6	104	34	23	31	4	9	-	41
	0.2%	-	31.0%	19.5%	-	0.9%	4.2%	19.6%	0.6%	10.2%	3.3%	2.2%	3.0%	0.4%	0.9%	-	4.0%
羽村市	2	-	106	87	-	17	18	124	6	111	22	42	22	8	19	-	37
	0.3%	-	17.1%	14.0%	-	2.7%	2.9%	20.0%	1.0%	17.9%	3.5%	6.8%	3.5%	1.3%	3.1%	-	6.0%
あきる野市	4	-	230	141	-	12	19	169	12	79	34	30	23	5	25	-	35
	0.5%	-	28.1%	17.2%	-	1.5%	2.3%	20.7%	1.5%	9.7%	4.2%	3.7%	2.8%	0.6%	3.1%	-	4.3%
瑞穂町	6	-	129	313	2	2	30	132	1	59	10	16	12	1	11	-	44
	0.8%	-	16.8%	40.8%	0.3%	0.3%	3.9%	17.2%	0.1%	7.7%	1.3%	2.1%	1.6%	0.1%	1.4%	-	5.7%

出典：令和3年経済センサス - 活動調査（総務省統計局）

瑞穂町の産業別就業人口（瑞穂町における居住者のうち、働いている人口）は、平成22年から5年ごとの推移を見ると、第一次・二次・三次産業いずれも減少傾向にあるが、人口割合では第一次及び二次産業が概ね横ばいであるのに対し、第三次産業は平成27年から令和2年にかけて3.3%増加した。業種では減少傾向にあるものが多い中、医療、福祉の就業人口が増加傾向にあるのが特徴である。

■瑞穂町産業別就業人口及び人口割合の推移

（単位：人）

	産業	平成22年	平成27年	令和2年
第一次産業	農業，林業	322	297	276
	うち農業	316	289	267
	漁業	0	3	1
第二次産業	鉱業，採石業，砂利採取業	9	10	3
	建設業	1,439	1,421	1,378
	製造業	3,566	3,238	2,989
第三次産業	電気・ガス・熱供給・水道業	50	33	31
	情報通信業	252	224	227
	運輸業，郵便業	1,327	1,273	1,332
	卸売業，小売業	2,506	2,199	2,060
	金融業，保険業	233	213	171
	不動産業，物品賃貸業	314	297	296
	学術研究，専門・技術サービス業	301	280	265
	宿泊業，飲食サービス業	890	798	788
	生活関連サービス業，娯楽業	626	534	507
	教育，学習支援業	431	424	456
	医療，福祉	1,544	1,622	1,728
	複合サービス事業	69	92	82
	サービス業（他に分類されないもの）	1,072	1,211	1,125
	公務（他に分類されるものを除く）	419	377	355
	分類不能の産業	737	1,253	666
総数		16,107	15,799	14,736
第一次産業		322	300	277
第二次産業		5,014	4,669	4,370
第三次産業		10,034	9,577	9,423

	：平成22、27、令和2年の値のうち最も大きいもの
	：平成22、27、令和2年の値のうち2番目に大きいもの
	：平成22、27、令和2年の値のうち最も小さいもの

(単位：％)

	産業	平成22年	平成27年	令和2年
第一次産業	農業，林業	2.0%	1.9%	1.9%
	うち農業	2.0%	1.8%	1.8%
	漁業	0.0%	0.0%	0.0%
第二次産業	鉱業，採石業，砂利採取業	0.1%	0.1%	0.0%
	建設業	8.9%	9.0%	9.4%
	製造業	22.1%	20.5%	20.3%
第三次産業	電気・ガス・熱供給・水道業	0.3%	0.2%	0.2%
	情報通信業	1.6%	1.4%	1.5%
	運輸業，郵便業	8.2%	8.1%	9.0%
	卸売業，小売業	15.6%	13.9%	14.0%
	金融業，保険業	1.4%	1.3%	1.2%
	不動産業，物品賃貸業	1.9%	1.9%	2.0%
	学術研究，専門・技術サービス業	1.9%	1.8%	1.8%
	宿泊業，飲食サービス業	5.5%	5.1%	5.3%
	生活関連サービス業，娯楽業	3.9%	3.4%	3.4%
	教育，学習支援業	2.7%	2.7%	3.1%
	医療，福祉	9.6%	10.3%	11.7%
	複合サービス事業	0.4%	0.6%	0.6%
	サービス業（他に分類されないもの）	6.7%	7.7%	7.6%
	公務（他に分類されるものを除く）	2.6%	2.4%	2.4%
-	分類不能の産業	4.6%	7.9%	4.5%
総数		100.0%	100.0%	100.0%
第一次産業		2.0%	1.9%	1.9%
第二次産業		31.1%	29.6%	29.7%
第三次産業		62.3%	60.6%	63.9%

	：平成22、27、令和2年の値のうち最も大きいもの
	：平成22、27、令和2年の値のうち2番目に大きいもの
	：平成22、27、令和2年の値のうち最も小さいもの

注：同じ値でも凡例の色が異なるものは、表示されていない小数第二位以下を含めた値の大小による。

出典：令和2年国勢調査（総務省統計局）

瑞穂町に住み、瑞穂町を従業・通学地とする就業者・通学者は減少傾向にある。一方、他市区町村の常住者も含めた瑞穂町を従業・通学地とする就業者・通学者は、平成 22 年から平成 27 年にかけて増加が見られたが、令和 2 年にかけては減少に転じている。

■瑞穂町就業者・通学者数（従業・通学地別）の推移

（単位：人）

		平成22年	平成27年	令和2年
15歳以上 就業者・通学者	総数（瑞穂町に常住）	17,833	17,388	15,979
	瑞穂町で従業・通学	6,723	6,493	6,052
	他市区町村で従業・通学	10,701	9,930	9,317
15歳以上就業者	総数（瑞穂町に常住）	16,107	15,799	14,736
	瑞穂町で従業	6,494	6,248	5,850
	他市区町村で従業	9,239	8,665	8,322
15歳以上通学者	総数（瑞穂町に常住）	1,726	1,589	1,243
	瑞穂町で通学	229	245	202
	他市区町村で通学	1,462	1,265	995
15歳未満通学者 を含む通学者	総数（瑞穂町に常住）	4,601	4,080	3,360
	瑞穂町で通学	2,983	2,251	1,807
	他市区町村で通学	1,582	1,348	1,063

	：平成22、27、令和2年の値のうち最も大きいもの
	：平成22、27、令和2年の値のうち2番目に大きいもの
	：平成22、27、令和2年の値のうち最も小さいもの

出典：令和2年国勢調査（総務省統計局）

■瑞穂町就業者・通学者数（常住地別）の推移

（単位：人）

		平成22年	平成27年	令和2年
15歳以上 就業者・通学者	総数（瑞穂町で従業・通学）	20,694	20,770	19,594
	瑞穂町に常住	6,723	6,493	6,052
	他市区町村に常住	13,137	13,084	12,601
15歳以上就業者	総数（瑞穂町で従業）	19,995	20,119	19,043
	瑞穂町に常住	6,494	6,248	5,850
	他市区町村に常住	12,823	12,770	12,328
15歳以上通学者	総数（瑞穂町で通学）	699	651	551
	瑞穂町に常住	229	245	202
	他市区町村に常住	314	314	273
15歳未満通学者 を含む通学者	総数（瑞穂町で通学）	3,488	3,082	2,605
	瑞穂町に常住	2,983	2,251	1,807
	他市区町村に常住	328	334	277

	：平成22、27、令和2年の値のうち最も大きいもの
	：平成22、27、令和2年の値のうち2番目に大きいもの
	：平成22、27、令和2年の値のうち最も小さいもの

出典：令和2年国勢調査（総務省統計局）

2) 労働力状態

瑞穂町の「15歳以上人口」は28,126人で、このうち「労働力人口（15歳以上）」は15,446人（54.9%）である。労働力人口のうち、就業者は14,736人（95.4%）、「完全失業者」は710人（4.6%）であった。

年齢別の就業者数は、男女ともに45～54歳の町内で働いている人数が多い。割合で見ると、全体では20～24歳の町内従業割合が30%弱と低いが、男性はいずれの年代（65歳以上を除く）も町内従業割合が30%前後であり、年代による差はあまり見られない。一方、女性は特に20～24歳の割合が低く、その年代の多くが他市町村で働いていることがわかる。

■労働力状態（令和2年10月1日現在）

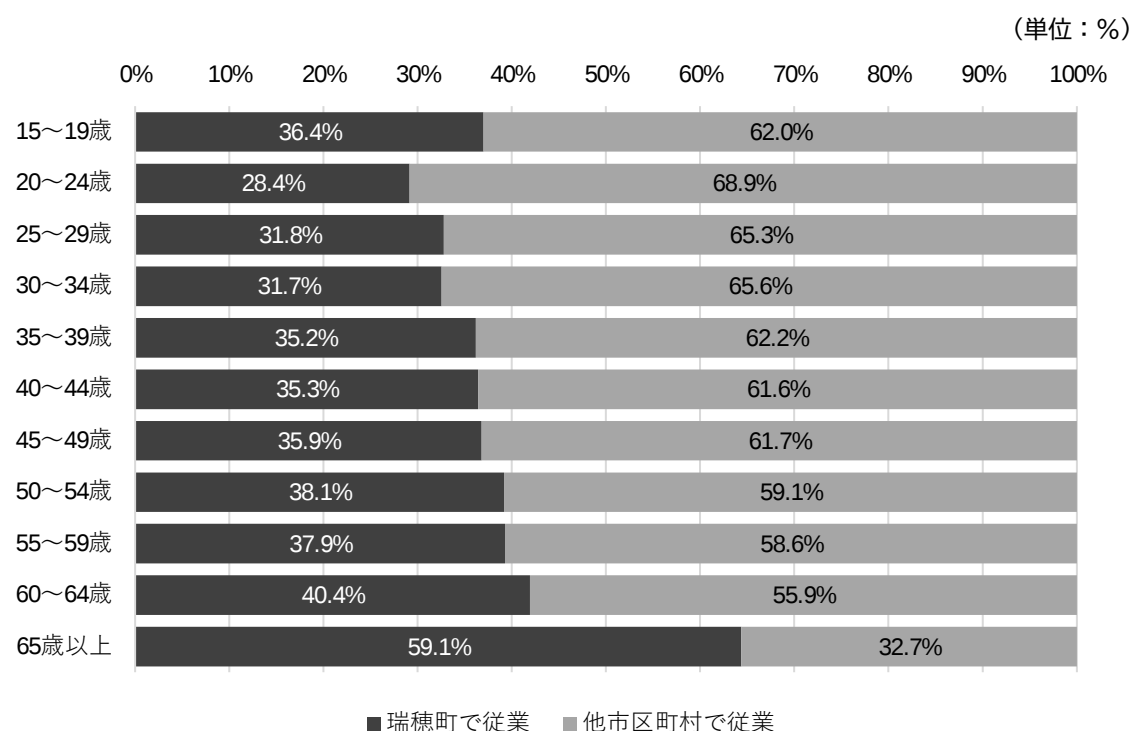
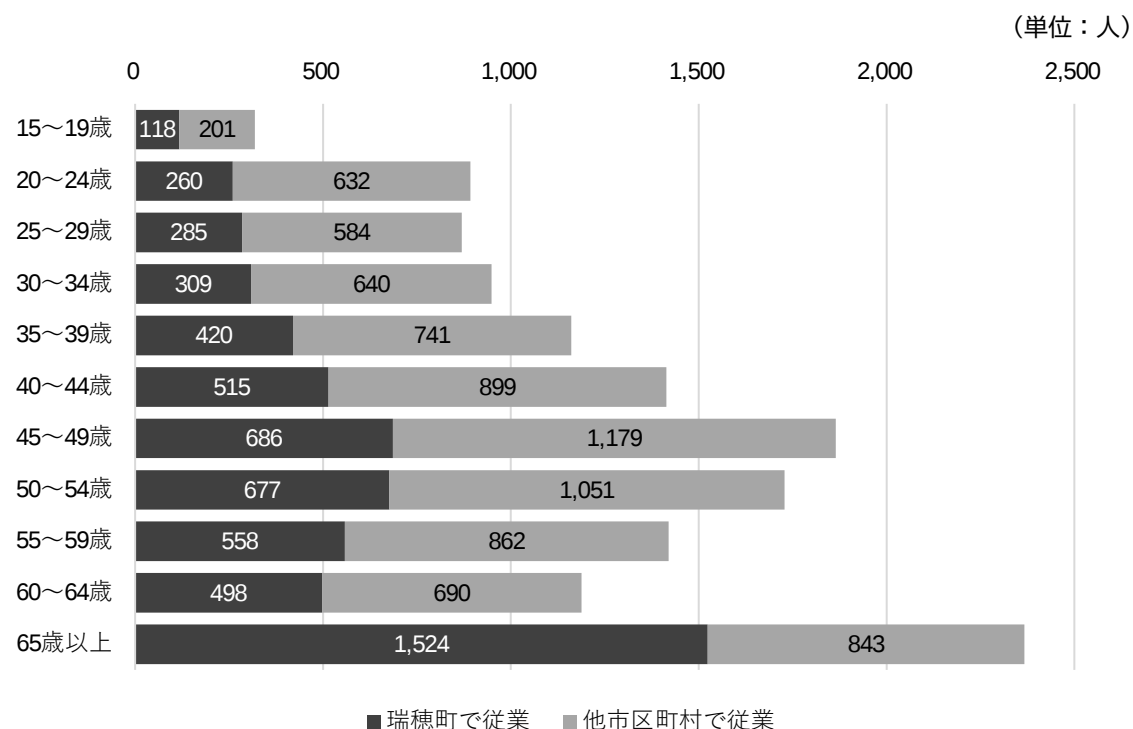
（単位：人）

自治体名	15歳以上人口	労働力人口 (15歳以上)	就業者	完全失業者	非労働力人口 (15歳以上)
立川市	161,495	78,991	75,750	3,241	46,189
青梅市	119,196	59,156	56,528	2,628	41,728
昭島市	98,950	53,914	51,700	2,214	30,476
福生市	49,953	24,271	23,186	1,085	13,553
武蔵村山市	60,510	27,959	26,787	1,172	17,621
羽村市	47,577	25,120	24,077	1,043	15,654
あきる野市	66,941	36,656	35,245	1,411	24,423
瑞穂町	28,126	15,446	14,736	710	8,916
多摩地域計	3,675,824	1,891,978	1,818,087	73,891	1,155,968

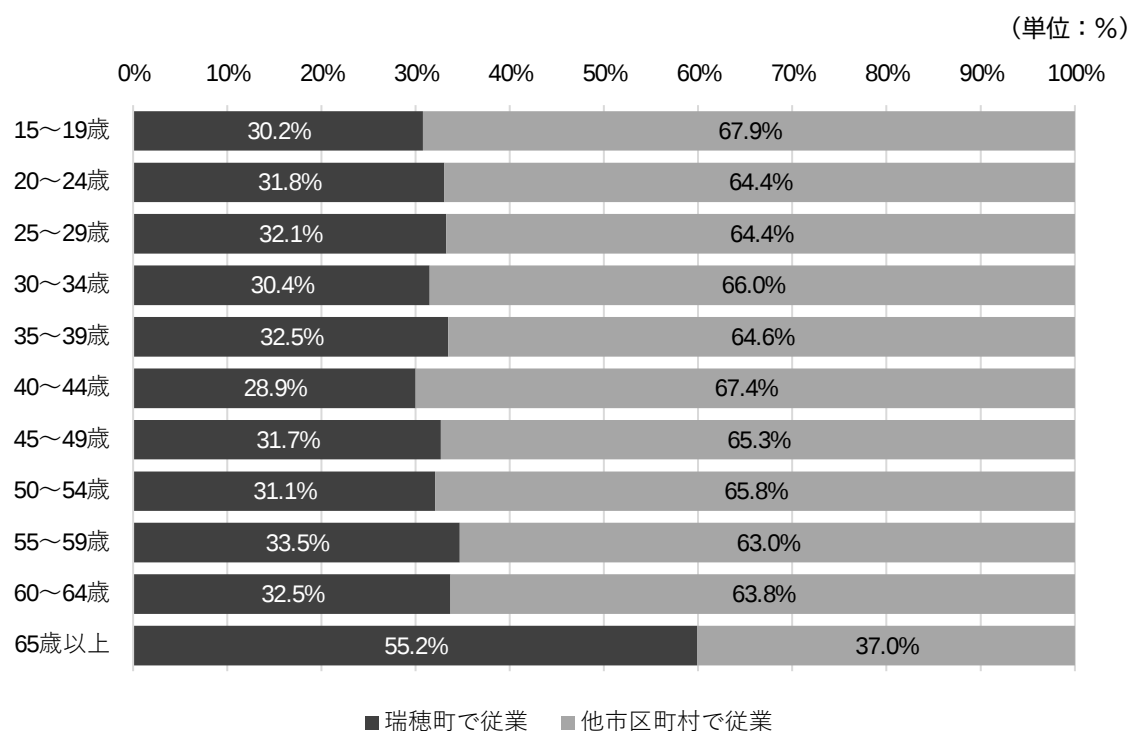
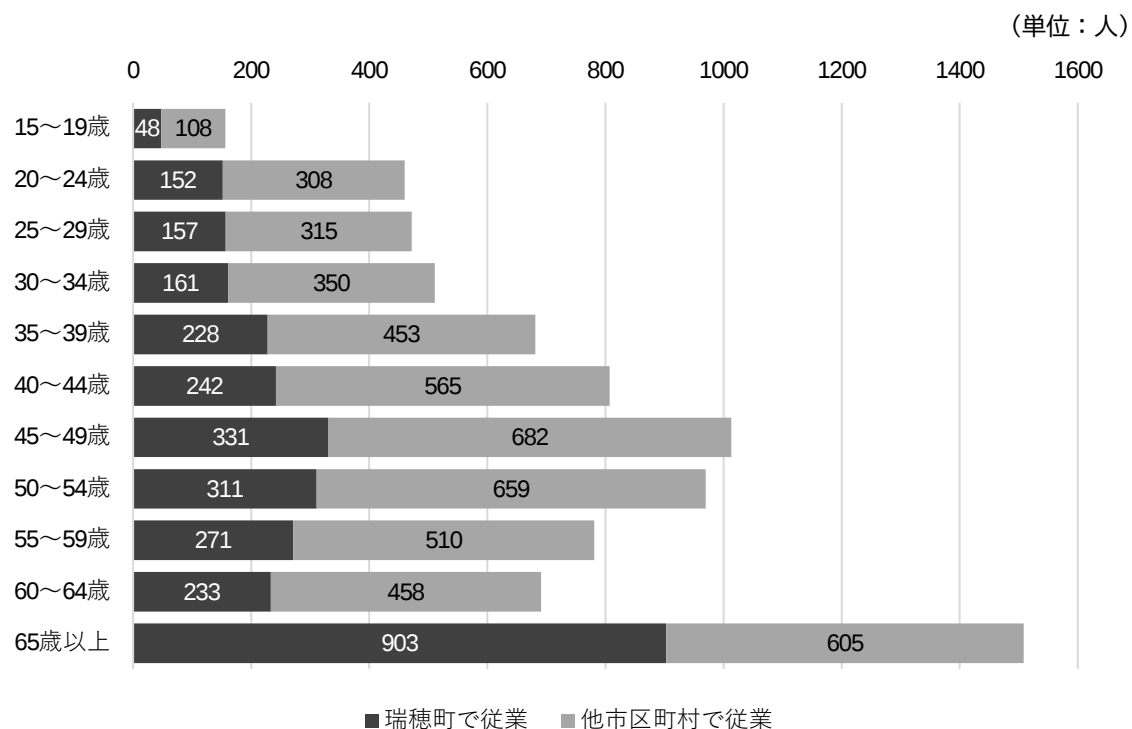
出典：令和2年国勢調査（総務省統計局）

■瑞穂町年齢別就業者数及び町内従業員割合

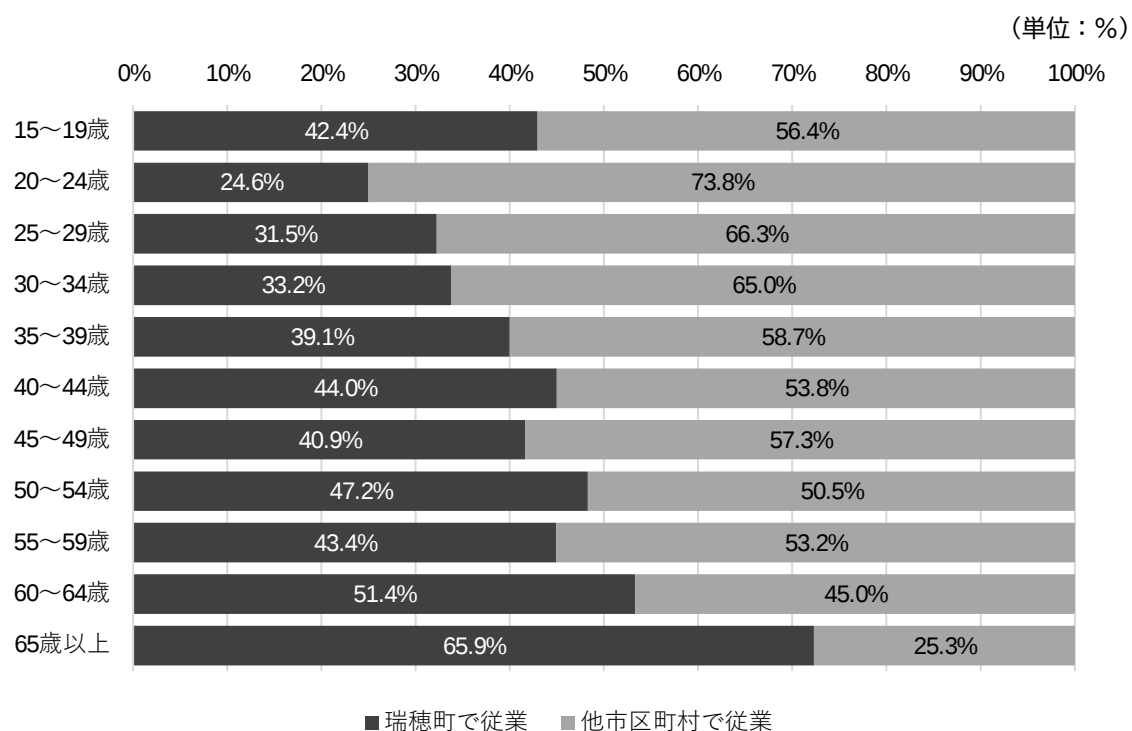
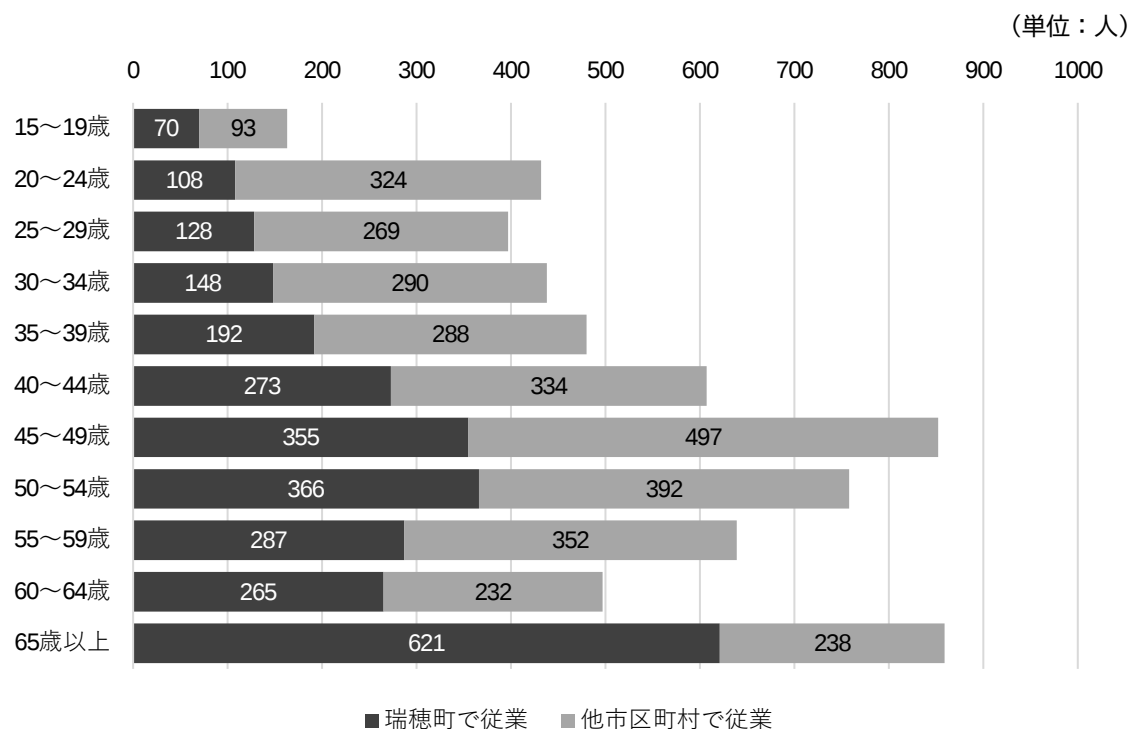
<男女計>



<男>



<女>



注：いずれのグラフも、従業地「不詳」は除いているため、割合の値の合計値が必ずしも100%とはなっていない。

出典：令和2年国勢調査（総務省統計局）

3) 事業所数、従業者数、製造品出荷額等（製造業）

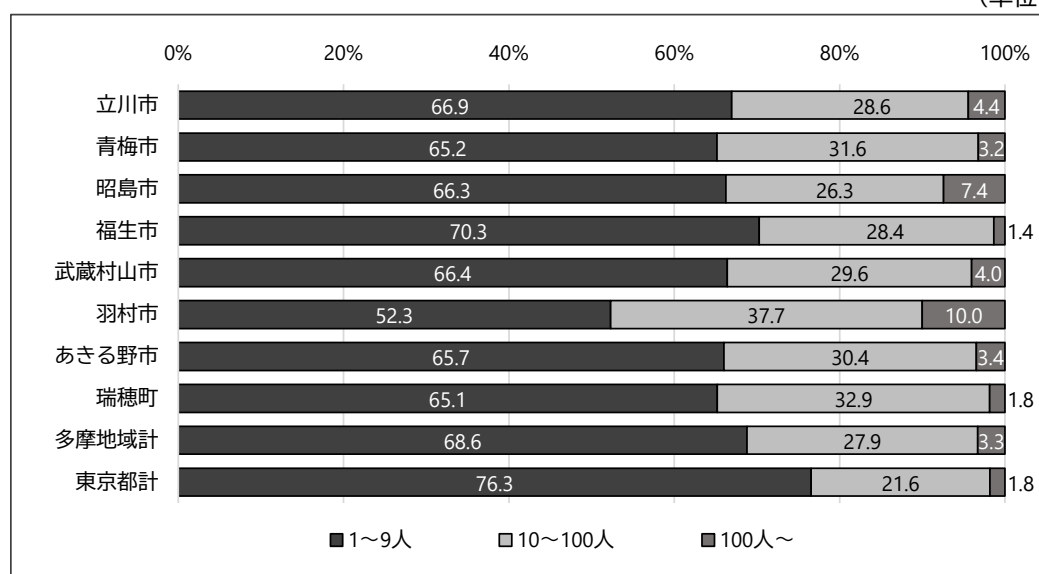
瑞穂町の事業所 438 事業所のうち、従業者数 100 人未満の事業所が 429 事業所と小規模なものが多いが、1 事業所当たりの製造品出荷額（万円）や従業者当たりの製造品出荷額（万円）は多摩地域計、東京都計に比べて高い水準である。特に、1 人当たりの製造品出荷額（万円）については周辺市に比べても高く、多摩地域計の 2.1 倍、東京都計の 2.6 倍であり、極めて高い水準である。（次ページ図表参照）

また、純付加価値額は武蔵村山市と同程度で、周辺自治体の中では立川市が突出している。1 従業者当たりの純付加価値額は、総数では周辺自治体の中では中位の水準であるが、個人（個人業主）に限ると最も高い。（次々ページ図表参照）

■事業所数、従業者数、製造品出荷額等（製造業）（令和 3 年現在）

自治体名	従業者規模別事業所数				従業者数（人）			製造品出荷額等 （万円）	事業所当たりの 製造品出荷額 （万円）	従業者当たりの製造品 出荷額 （万円）
	計	1～9人	10～99人	100人～	計	常用労働者	個人事業主 及び無給家族従業者			
立川市	248	166	71	11	5,267	4,827	46	8,662,011	111,051	2,205
青梅市	494	322	156	16	9,196	8,355	145	15,860,097	79,699	2,162
昭島市	243	161	64	18	10,957	10,557	39	41,490,457	402,820	4,454
福生市	74	52	21	1	1,212	1,084	11	1,983,209	60,097	1,911
武蔵村山市	274	182	81	11	5,513	4,806	39	10,904,160	95,651	2,399
羽村市	130	68	49	13	7,413	7,215	19	59,016,712	819,677	7,732
あきる野市	204	134	62	7	3,003	2,605	56	3,316,611	47,380	1,821
瑞穂町	438	285	144	8	7,653	6,786	63	50,519,214	241,719	7,799
多摩地域計	6,397	4,390	1,782	209	141,713	130,429	1,161	408,014,918	180,458	3,780
東京都計	38,766	29,576	8,357	695	561,902	493,325	7,967	708,047,420	72,710	2,965

（単位：％）



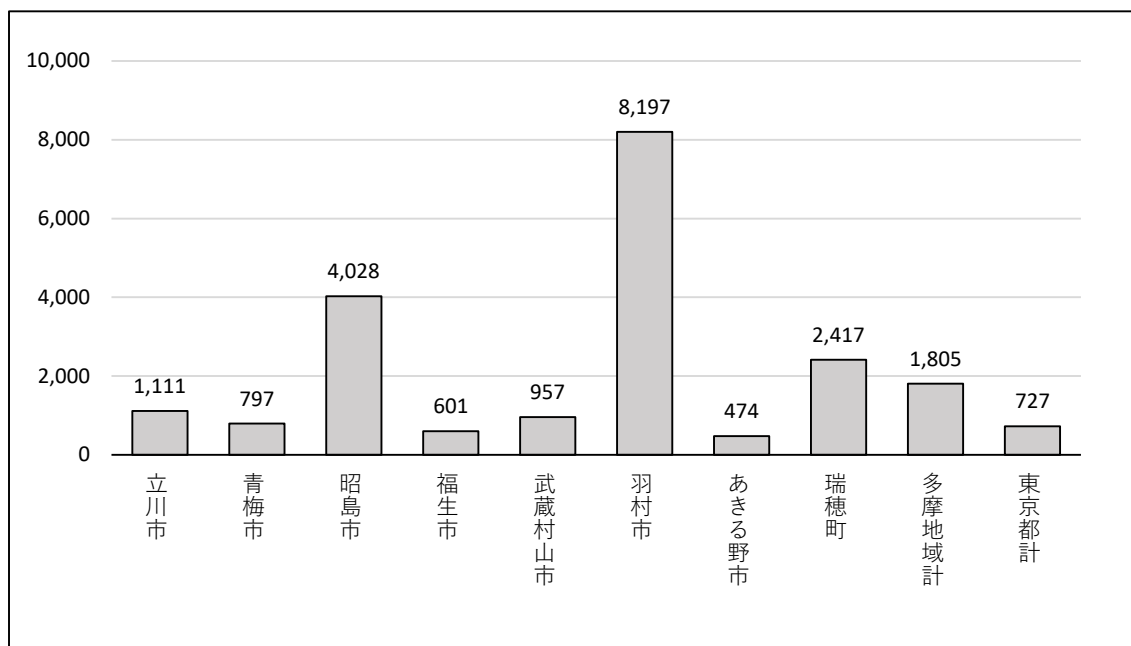
注：「製造品出荷額等」は、令和 2 年 1 年間における製造品出荷額、加工賃収入額、修理料収入額、くず・廃物出荷額及びその他の収入額の合計で、消費税等内国消費税額を含む。

注：上記瑞穂町の事業所数は、令和 3 年経済センサス-活動調査-「9-3 表」よりデータを抽出したが、規模別の値の合値と「計」の値との間にずれが生じている。その理由までは把握できなかったため、値はそのまま使用している。

出典：令和 3 年経済センサス-活動調査-（総務省統計局）

■ 1 事業所当たりの製造品出荷額 （令和3年現在）

（単位：百万円）

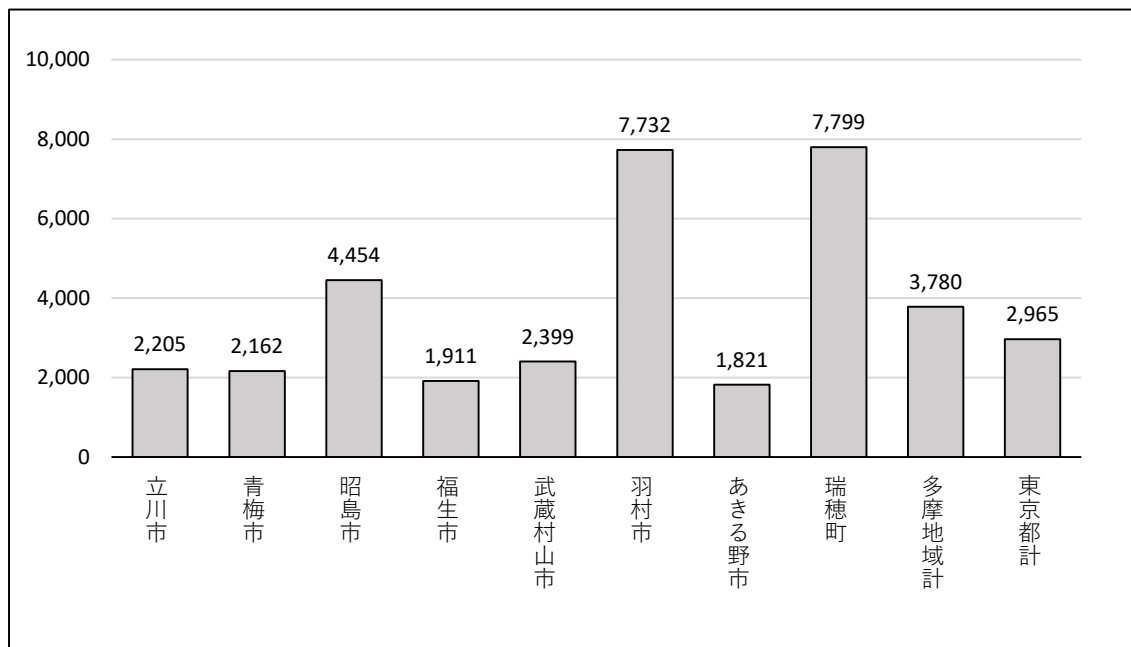


注：「製造品出荷額等」は、令和2年1年間における製造品出荷額、加工賃収入額、修理料収入額、< ず・廃物出荷額及びその他の収入額の合計で、消費税等内国消費税額を含む。

出典：令和3年経済センサス-活動調査-（総務省統計局）

■ 1 従業者当たりの製造品出荷額 （令和3年現在）

（単位：万円）

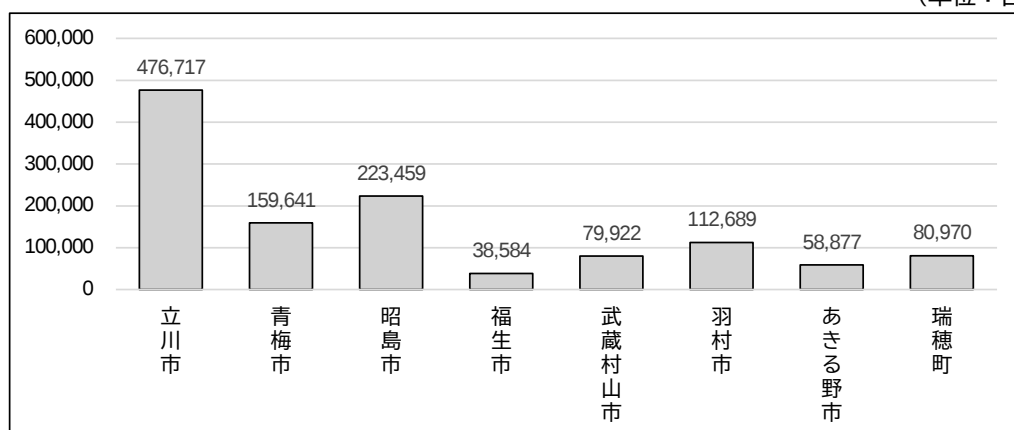


注：「製造品出荷額等」は、令和2年1年間における製造品出荷額、加工賃収入額、修理料収入額、< ず・廃物出荷額及びその他の収入額の合計で、消費税等内国消費税額を含む。

出典：令和3年経済センサス-活動調査-（総務省統計局）

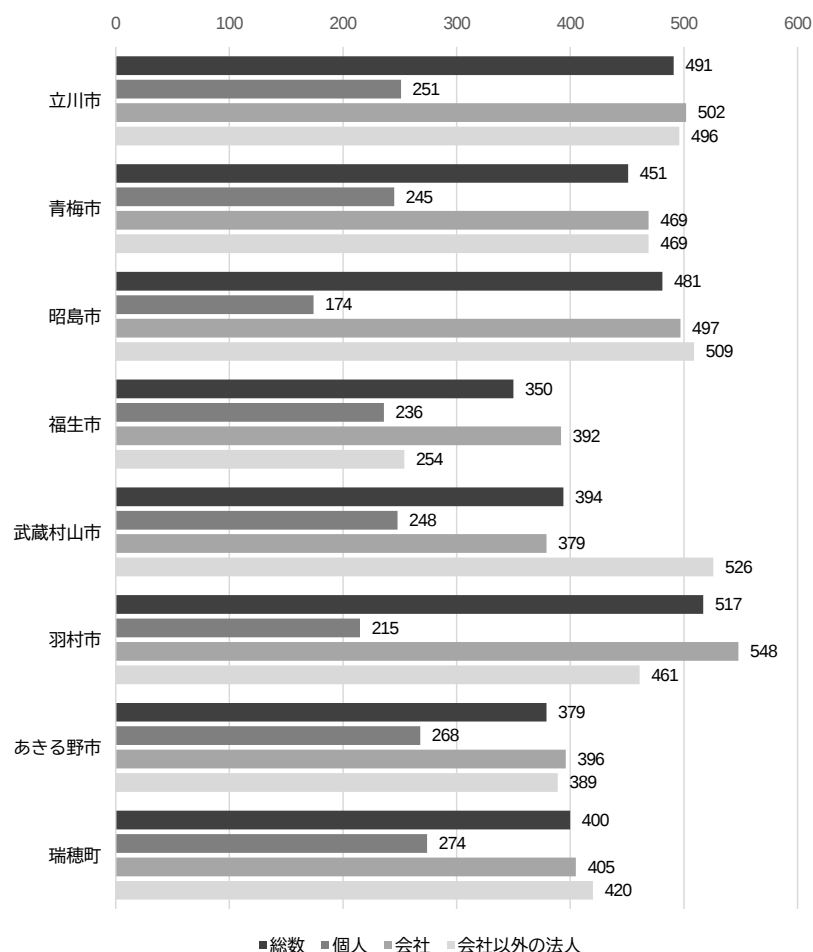
■純付加価値額 （令和3年現在）

（単位：百万円）



■1 従業者当たりの純付加価値額 （令和3年現在）

（単位：万円）



注：付加価値とは、企業等の生産活動によって新たに生み出された価値のことで、生産額から原材料等の中間投入額を差し引くことによって算出できる。本調査においては、企業等の付加価値額を、以下の計算式を用いて算出している。

「純付加価値額」＝売上（収入）金額－費用総額＋給与総額＋租税公課

注：グラフ中「個人」は個人経営の事業主で、実際にその事業所を経営している人をいう。

出典：令和3年経済センサス-活動調査-（総務省統計局）

4) 事業所数、従業者数、年間販売額（商業）

瑞穂町の商業は、周辺市と比べると卸売業の比率が高く、小売業の比率が低いことが特徴となっている。

また、下表の年間商品販売額／従業者数から従業者 1 人当たりの年間商品販売額を求めると、瑞穂町は 33.9 百万円となり、同販売額の多摩地域計の 31.3 百万円より高い値となっている。

■事業所数、従業者数、年間販売額（商業）

自治体名	事業所数	分類別事業所数		従業者数 (人)	年間商品 販売額 (百万円)
		卸売業	小売業		
立川市	1,475	378	1,097	18,569	810,035
	100.0%	25.6%	74.4%		
青梅市	764	140	624	7,799	347,722
	100.0%	18.3%	81.7%		
昭島市	617	153	464	7,935	269,321
	100.0%	24.8%	75.2%		
福生市	305	46	259	2,774	86,159
	100.0%	15.1%	84.9%		
武蔵村山市	479	94	385	5,170	121,315
	100.0%	19.6%	80.4%		
羽村市	296	65	231	2,916	101,247
	100.0%	22.0%	78.0%		
あきる野市	418	46	372	3,385	57,209
	100.0%	11.0%	89.0%		
瑞穂町	309	94	215	3,164	107,289
	100.0%	30.4%	69.6%		
多摩地域計	21,281	4,156	17,125	242,751	7,609,939
	100.0%	19.5%	80.5%		

出典：令和 3 年経済センサス - 活動調査 - （総務省統計局）

注：商業統計調査は平成 26 年調査を最後に廃止されたため、今回より経済センサス - 活動調査の値を用いている。

5) 農業経営体数

瑞穂町の農業経営体数は 117 戸で、このうち、個人経営体は 116 戸 (99.1%) とその比率は高い。また、個人経営体の中で農業を主業としている経営体数が 22 戸 (19.0%) と周辺市の中で最も高くなっている。

■農業経営体数（令和 2 年 2 月 1 日現在）

(単位：戸)

自治体名	農業経営体					主副業別経営体数（個人経営体）					
		法人化 している	地方公共団 体・財産区	法人化 していない	個人経営体		主業	65歳未満の 農業専従者 が いる	準主業	65歳未満の 農業専従者 が いる	副業的
立川市	244	5	-	239	239	239	35	34	116	98	88
青梅市	138	3	-	135	135	135	17	17	23	12	95
昭島市	55	1	-	54	54	54	2	2	24	22	28
福生市	12	-	-	12	11	11	-	-	5	4	6
武蔵村山市	142	1	-	141	141	141	11	9	52	41	78
羽村市	58	-	-	58	58	58	4	4	25	17	29
あきる野市	175	-	-	175	175	175	23	23	22	12	130
瑞穂町	117	1	-	116	116	116	22	22	25	21	69
多摩地域計	3,801	35	1	3,765	3,763	3,763	396	369	1,667	1,353	1,700
東京都計	5,117	71	2	5,044	5,041	5,041	554	516	2,176	1,773	2,311

注：「主業」とは、農業所得が主（世帯所得の 50%以上が農業所得）で、調査期日前 1 年間に自営農業に 60 日以上従事している 65 歳未満の世帯員がいる個人経営体をいう。

注：「準主業」とは、農外所得が主（世帯所得の 50%未満が農業所得）で、調査期日前 1 年間に自営農業に 60 日以上従事している 65 歳未満の世帯員がいる個人経営体をいう。

注：「副業的」とは、調査期日前 1 年間に自営農業に 60 日以上従事している 65 歳未満の世帯員がいない個人経営体をいう。

注：「農業専従者」とは、調査期日前 1 年間に自営農業に 150 日以上従事した世帯員をいう。

注：「x」は、秘匿された数値（該当する調査客体の数が少ないため、そのまま計上すると個々の調査客体情報が漏れるおそれのある場合に用いる。）

出典：2020 年農林業センサス（東京都総務局統計部）

6) 経営耕地面積

瑞穂町の農業は、経営耕地面積 10,210a のうち、大半は畑の 7,593a (74.4%) と樹園地の 2,617a (25.6%) である。そして、農業経営体 117 戸のうち、経営耕地面積規模が 1.0ha 以上の農家が 30 戸 (25.6%) を占め、多摩地域の平均 17.8% を上回っている。

■経営耕地面積

自治体名	経営耕地総面積 (a)				経営耕地面積規模別経営体数 (農業経営体)									
	計	田	畑	樹園地	計	0.3ha未満	0.3～0.5ha未満	0.5～1.0ha未満	1.0～1.5ha未満	1.5～2.0ha未満	2.0～3.0ha未満	3.0～5.0ha未満	5.0～10.0ha未満	10.0ha以上
立川市	22,108	207	18,332	3,569	244	41	51	74	33	23	14	4	3	
	100.0%	0.9%	82.9%	16.1%	100.0%	16.8%	20.9%	30.3%	13.5%	9.4%	5.7%	1.6%	1.2%	0.0%
青梅市	10,110	448	7,603	2,059	138	15	48	44	14	8	3	4		
	100.0%	4.4%	75.2%	20.4%	100.0%	10.9%	34.8%	31.9%	10.1%	5.8%	2.2%	2.9%	0.0%	0.0%
昭島市	2,730	436	1,743	551	55	12	18	21	1	2				
	100.0%	16.0%	63.8%	20.2%	100.0%	21.8%	32.7%	38.2%	1.8%	3.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
福生市	495	10	431	54	12	3	7	2						
	100.0%	2.0%	87.1%	10.9%	100.0%	25.0%	58.3%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
武蔵村山市	10,449	2	7,640	2,807	142	17	42	52	24	4	2			1
	100.0%	0.0%	73.1%	26.9%	100.0%	12.0%	29.6%	36.6%	16.9%	2.8%	1.4%	0.0%	0.0%	0.7%
羽村市	3,027	183	2,710	134	58	12	23	19	2	2				
	100.0%	6.0%	89.5%	4.4%	100.0%	20.7%	39.7%	32.8%	3.4%	3.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
あきる野市	11,458	964	8,485	2,009	175	10	67	68	21	5	2	1		
	100.0%	8.4%	74.1%	17.5%	100.0%	5.7%	38.3%	38.9%	12.0%	2.9%	1.1%	0.6%	0.0%	0.0%
瑞穂町	10,210		7,593	2,617	117	4	26	57	18	2	6	4		
	100.0%	0.0%	74.4%	25.6%	100.0%	3.4%	22.2%	48.7%	15.4%	1.7%	5.1%	3.4%	0.0%	0.0%
多摩地域計	251,893	8,434	193,195	50,264	3,801	638	1,146	1,322	430	140	67	28	12	1
	100.0%	3.3%	76.7%	20.0%	100.0%	16.8%	30.1%	34.8%	11.3%	3.7%	1.8%	0.7%	0.3%	0.0%
東京都計	354,205	13,427	256,513	84,265	5,117	1,067	1,490	1,661	520	168	86	65	30	9
	100.0%	3.8%	72.4%	23.8%	100.0%	20.9%	29.1%	32.5%	10.2%	3.3%	1.7%	1.3%	0.6%	0.2%

注 : 「経営耕地」とは、調査期日現在で農林業経営体が経営している耕地をいい、自ら所有し耕作している耕地 (自作地) と、他から借りて耕作している耕地 (借入耕地) の合計

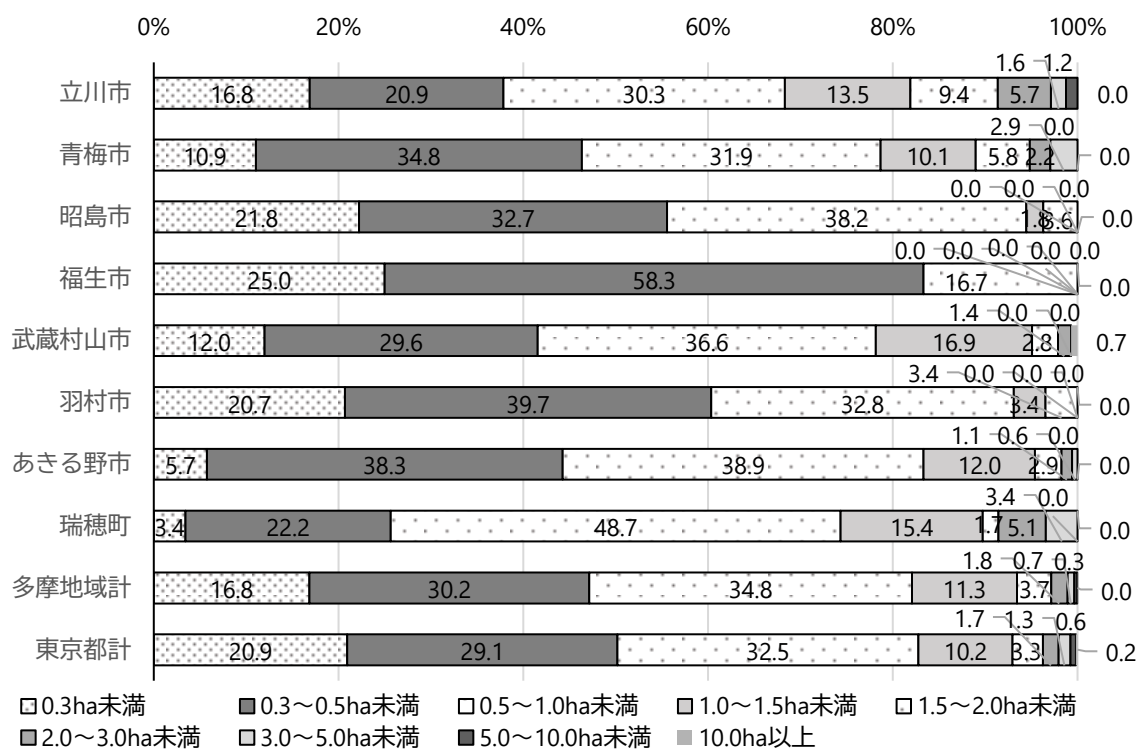
注 : 都内に住所地がある農業経営体及び林業経営体を調査対象としているため、調査結果の農地あるいは山林の全てが都内に所在するとは限らない。

注 : 「x」は、秘匿された数値 (該当する調査客体の数が少ないため、そのまま計上すると個々の調査客体情報が漏れるおそれのある場合に用いる。)

出典 : 2020 年農林業センサス (東京都総務局統計部)

■規模別農業経営体数の割合

(単位：％)



出典：2020 年農林業センサス（東京都総務局統計部）

7) 森林面積、林野率

瑞穂町の森林面積は 274ha であり、町全体の面積に占める割合は 16.0%、人口 1 人あたりにすると 87 m²となる。

■森林面積、林野率

自治体名	総土地面積 (km ²)	森林面積 (ha)	林野率 (%)	人口 (人)	1人当たり森林 面積 (m ²)
立川市	24.36	-	-	187,311	-
青梅市	103.31	6,462	63	132,957	486
昭島市	17.34	-	-	114,006	-
福生市	10.16	-	-	56,262	-
武蔵村山市	15.32	59	4	70,875	8
羽村市	9.90	5	1	54,180	1
あきる野市	73.47	4,395	60	79,251	555
瑞穂町	16.85	274	16	31,632	87
多摩地域計	1,159.82	52,853	46	4,297,983	123
東京都計	2,194.05	78,551	36	14,050,766	56

注：総土地面積は、令和3年10月1日現在「全国都道府県市区町村別面積調」（国土地理院）による。

注：森林面積は、令和3年4月1日現在で、地域森林計画対象森林と林野庁所管国有林を加えたもの。
四捨五入により総数と市町村別の数値は一致しない。

注：人口は、令和3年4月1日現在「東京都の人口（推計）」（東京都総務局）による。

出典：東京の森林・林業（令和3年版）（東京都産業労働局）

6. 都市基盤

1) 都市計画の状況

瑞穂町とその周辺の都市計画の状況は、以下のとおりである。

瑞穂町の都市計画は、福生市・羽村市・瑞穂町で1つの区域となっている福生都市計画区域に属している。

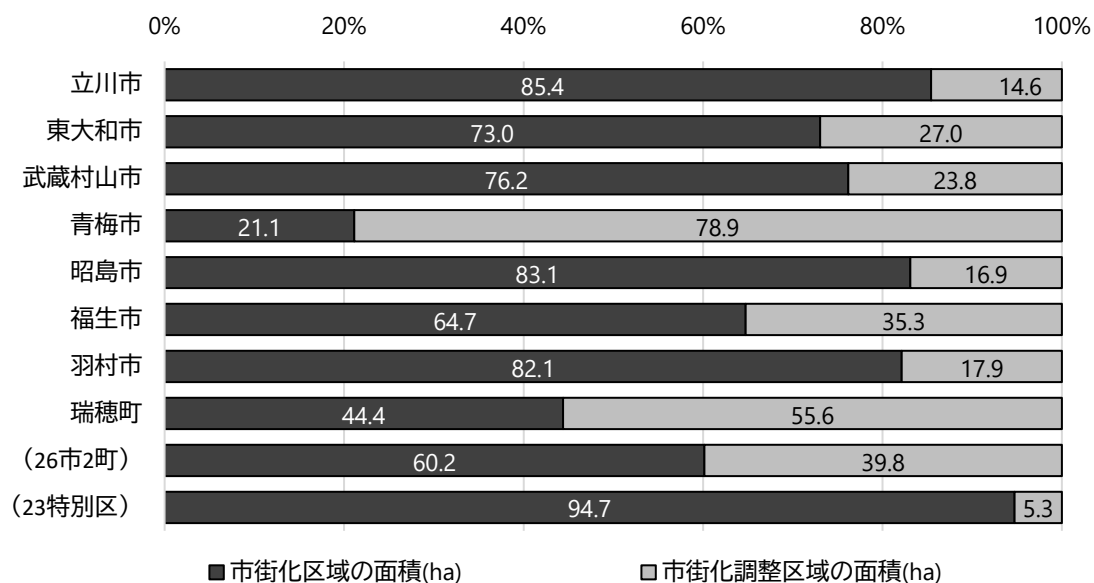
瑞穂町の面積 1,685ha のうち、都市計画区域は 1,683ha が指定され、市街化区域は 747ha (44.4%)、市街化調整区域は 936ha (55.6%) となっている。

■西多摩地域周辺の都市計画の状況

都市計画区域 の名称	区域指定の 年月日	最終区域決 定年月日	都市計画 区域の面積 (ha)	市街化区域 の面積(ha)	自治体名	市町村別都 市計画区域 の面積(ha)	市町村別市 街化区域の 面積(ha)	市町村別市 街化調整区 域の面積 (ha)
立川	昭14. 12. 23	昭48. 11. 20	5, 329	4, 243	立川市	2, 438	2, 083	355
					東大和市	1, 354	989	365
					武蔵村山市	1, 537	1, 171	366
青梅	昭14. 12. 23	昭31. 12. 24	10, 326	2, 183	青梅市	10, 326	2, 183	8, 143
昭島	昭29. 5. 1	平27. 12. 1	1, 733	1, 440	昭島市	1, 733	1, 440	293
福生	昭32. 12. 28	平27. 12. 1	3, 698	2, 224	福生市	1, 024	663	361
					羽村市	991	814	177
					瑞穂町	1, 683	747	936
多摩地域計			82, 887	49, 873	(26市2町)	82, 887	49, 873	33, 014
東京	大11. 4. 24	大11. 4. 24	61, 465	58, 214	(23特別区)	61, 465	58, 214	3, 251
東京都計			174, 520	108, 087		174, 520	108, 087	36, 265

■自治体別市街化区域と市街化調整区域の面積割合

(単位：％)



注：端数処理のため合計と内訳が一致しない場合がある。

注：都市計画区域の面積は令和5年1月1日現在。

注：市街化区域及び市街化調整区域の面積は令和5年4月1日現在。なお各都市計画区域における市町別の面積は参考数値

注：市街化区域内農地は、宅地化農地と生産緑地の合計の面積である。
宅地化農地は令和4年度分、生産緑地は令和4年4月1日現在。

出典：令和5年版事業概要（令和5年9月）（東京都都市整備局）

出典：東京の土地 2022（土地関係資料集）（令和5年11月）（東京都都市整備局）

出典：地域地区面積一覧表（多摩部）（東京都都市整備局）

市街化区域内の用途別面積を見ると、住居系用途指定が 58.9%、商業系用途指定が 2.5%、工業系用途指定が 38.5%となっている。

市街化調整区域を見ると、第一種低層住居専用地域が 43.4%、無指定が 56.6%となっている。

■瑞穂町用途の種類別面積（令和6年4月26日現在の指定状況）

都市計画区域 (行政区域全域)		用途の種類	面積(ha)	各区域における割合(%)
区 域 区 分	市街化区域	第一種低層住居専用地域	326.1	44.0
		第二種低層住居専用地域	11.2	1.5
		第一種中高層住居専用地域	22.6	3.1
		第二種中高層住居専用地域	指定なし	—
		第一種住居地域	26.7	3.6
		第二種住居地域	指定なし	—
		準住居地域	50.1	6.8
		近隣商業地域	14.9	2.0
		商業地域	3.7	0.5
		準工業地域	30.7	4.1
		工業地域	215.0	29.0
		工業専用地域	39.8	5.4
		計	740.8	100.0
	市街化調整区域	第一種低層住居専用地域	409.0	43.4
		無指定	534.0	56.6
		計	943.0	100.0
合計		1683.8	—	

注：各区域における割合(%)は、それぞれ小数第二位以下を四捨五入しているため、各割合を足し上げた値と本文中の値は異なる場合がある。

出典：瑞穂町都市整備部都市計画課（令和6年11月）

2) 道路状況

瑞穂町の公道の総延長は、令和5年4月1日現在 243,947mで、このうち町道は220,189mで公道の90.3%を占めている。

平均幅員を見ると、公道全体では6.12mと比較的広い幅員を有しているが、町道の平均幅員は4.87mであり、約1割を占める国道や都道の幅員が広いため、公道の平均幅員が広がっていることがうかがえる。

■道路状況（令和5年4月1日現在）

自治体名	全公道合計（実延長面積）			左のうち区市町村道			道路率(%)
	延長(m)	面積(m ²)	平均幅員(m)	延長(m)	面積(m ²)	平均幅員(m)	
立川市	297,249	2,627,137	8.84	260,381	1,910,412	7.34	10.8
青梅市	936,449	4,772,748	5.10	816,515	3,171,093	3.88	4.6
昭島市	257,520	1,872,303	7.27	228,608	1,368,262	5.99	10.8
福生市	152,342	1,150,828	7.55	131,497	804,601	6.12	11.3
武蔵村山市	272,328	1,563,618	5.74	253,357	1,284,515	5.07	10.2
羽村市	164,676	1,332,485	8.09	147,610	1,041,622	7.06	13.5
あきる野市	742,340	3,501,205	4.72	673,425	2,348,910	3.49	4.8
瑞穂町	243,947	1,492,153	6.12	220,189	1,071,905	4.87	8.9
多摩地域計	11,262,690	78,819,260	7.00	10,025,485	56,166,346	5.60	6.8
東京都計	24,758,110	190,615,848	7.70	21,988,279	131,558,140	5.98	8.7

注：平均幅員＝面積÷延長で計算

注：道路率＝行政面積中に占める道路面積の割合

出典：全国都道府県市区町村別面積調（令和5年10月1日時点）

出典：東京都統計年鑑 令和4年「地域、種類別道路の延長及び面積（令和5年）」

■管理区分別道路状況

自治体名	総数		一般国道（指定区間）		東京都管理道路		区市町村道	
	延長(m)	面積(m ²)	延長(m)	面積(m ²)	延長(m)	面積(m ²)	延長(m)	面積(m ²)
立川市	297,249	2,627,137	-	-	36,868	716,725	260,381	1,910,412
青梅市	936,449	4,772,748	-	-	114,219	1,461,514	816,515	3,171,093
昭島市	257,520	1,872,303	3,810	72,004	25,102	432,037	228,608	1,368,262
福生市	152,342	1,150,828	3,575	90,763	17,270	255,464	131,497	804,601
武蔵村山市	272,328	1,563,618	-	-	18,971	279,103	253,357	1,284,515
羽村市	164,676	1,332,485	430	10,556	16,461	275,872	147,610	1,041,622
あきる野市	742,340	3,501,205	-	-	64,553	976,457	673,425	2,348,910
瑞穂町	243,947	1,492,153	5,820	162,871	17,938	257,377	220,189	1,071,905
多摩地域計	11,262,690	73,768,214	78,561	1,915,390	1,095,668	17,266,991	10,025,485	56,166,346
東京都計	24,758,110	190,615,848	248,924	7,528,379	2,240,791	42,048,455	21,988,279	131,558,140

出典：東京都統計年鑑 令和4年「地域、種類別道路の延長及び面積（令和5年）」

3) 都市公園

瑞穂町の都市計画公園面積は 1,224,498.49 m²で、狭山丘陵に広がる都立公園が 1,051,651.96 m²を占めている。

人口1人当たりの公園面積は 39.12 m²であり、都立公園の面積が大きいことから周辺市や多摩地域と比較し広い面積を有している。

■都市公園（令和5年4月1日現在）

自治体名	都市公園(イ)								都市公園以外の都区市町村立公園(ロ)		1人当たり面積(㎡) (イ+ロ)/人口
	総数		区市町村立公園		都立公園		国営公園				
	数	面積(㎡)	数	面積(㎡)	数	面積(㎡)	数	面積(㎡)	数	面積(㎡)	
立川市	101	1,696,555.11	100	585,780.30	0	32,774.81	1	1,078,000.00	155	57,192.99	9.50
青梅市	104	615,911.57	104	615,911.57	0	0.00			59	253,871.46	6.63
昭島市	42	1,112,421.64	42	483,297.97	0	13,123.67		616,000.00	49	32,758.34	9.99
福生市	55	402,600.13	55	402,101.99	0	498.14			14	5,742.83	7.36
武蔵村山市	19	1,263,473.03	18	220,235.75	1	1,043,237.28			48	28,810.86	18.44
羽村市	72	351,915.37	72	351,915.37	0	0.00			20	15,797.57	6.82
あきる野市	33	299,486.81	32	181,039.74	1	118,447.07			41	146,299.50	5.67
瑞穂町	58	1,224,498.49	57	172,846.53	1	1,051,651.96			0	0.00	39.12
多摩地域計	4,038	31,291,076	4,004	19,509,031	33	10,088,045	1	1,694,000	1,742	2,252,669	7.82
東京都計	8,671	60,462,769.36	8,586	38,134,941.13	83	20,566,828.22	2	1,761,000.00	3,210	15,817,189.85	5.42

注：原則として、1つの公園が複数の市にまたがる場合、公園の数は面積の占める割合の大きい方の市に計上し、面積は市ごとに計上している。ただし、面積割合を区分できないものについては、主たる所在地の市に計上している。

注：人口は、東京都の人口（推計）（令和5年4月1日現在）（東京都総務局統計部）を使用している。

出典：公園調書（令和5年4月1日現在）（東京都建設局）

4) 下水道

瑞穂町の下水道普及率は、平成 28 年度末で 98%であり、多摩地域計の 99%と同程度を維持している。

■下水道普及率

自治体名	全体人口 (人)	普及人口 (人)	平成29年度 末普及率 (%)	平成30年度 末普及率 (%)	令和元年度 末普及率 (%)	令和2年度末 普及率 (%)	令和3年度末 普及率 (%)	令和4年度末 普及率 (%)
立川市	185,552	185,552	100	100	100	100	100	100
青梅市	129,918	127,591	98	98	98	98	98	98
昭島市	114,279	114,199	※100	※100	※100	※100	※100	※100
福生市	56,055	56,055	100	100	100	100	100	100
武蔵村山市	71,236	71,228	※100	※100	※100	※100	※100	※100
羽村市	54,386	54,246	※100	※100	※100	※100	※100	※100
あきる野市	79,648	75,410	94	94	94	94	94	95
瑞穂町	32,134	31,545	98	98	98	98	98	98
多摩地域計	4,246,687	4,223,694	99	99	99	99	99	99
東京都計	13,846,910	13,814,356	※100	※100	※100	※100	※100	※100

注：全体人口は、住民基本台帳及び外国人登録（令和5年4月1日現在）によります。

注：*印は、普及率 99.5%以上であるため、100%概成とした。

出典：事業概要（令和5年度）（東京都下水道局）

5) 住宅

瑞穂町の住宅総数 12,270 戸のうち、一戸建住宅が 8,750 戸（71.3%）を占め、残りの住宅は共同住宅が大半である。一戸建住宅が 7 割超を占め、戸建住宅地としての街並みを形成している。

所有別住宅数では、持ち家が 70.7%（多摩地域計 57.3%）、借家が 29.3%となっている。借家では、公営が全体の住宅数の 6.0%、民営が 22.6%で、給与住宅は 0.7%と少ない。

公営賃貸住宅は都営住宅が大半であり、町営住宅は 6.7%である。

■建て方別住宅数（令和 5 年 10 月現在）

（単位：戸）

自治体名	総数	建て方別住宅数						
		一戸建	長屋建	共同住宅				その他
				計	1～2階	3～5階	6階以上	
立川市	89,440	28,280	1,710	59,270	10,310	29,660	19,300	170
青梅市	56,220	32,760	350	23,060	5,160	10,490	7,410	40
昭島市	53,360	21,940	650	30,540	5,770	12,020	12,750	230
福生市	27,760	10,050	440	17,230	4,520	9,040	3,660	50
武蔵村山市	29,980	18,680	460	10,790	3,330	4,130	3,340	40
羽村市	24,250	12,100	360	11,740	2,740	5,900	3,100	50
あきる野市	32,060	25,330	940	5,760	3,460	2,210	80	30
瑞穂町	12,270	8,750	40	3,460	1,680	1,780	-	20
多摩地域計	18,420	14,140	350	3,900	288,570	487,900	372,610	4,040
東京都計	7,235,400	1,900,500	128,800	5,180,700	623,700	1,458,300	1,946,200	25,300

（単位：%）

自治体名	総数	建て方別住宅数						
		一戸建	長屋建	共同住宅				その他
				計	1～2階	3～5階	6階以上	
立川市	100.0	31.6	1.9	66.3	11.5	33.2	21.6	0.2
青梅市	100.0	58.3	0.6	41.0	9.2	18.7	13.2	0.1
昭島市	100.0	41.1	1.2	57.2	10.8	22.5	23.9	0.4
福生市	100.0	36.2	1.6	62.1	16.3	32.6	13.2	0.2
武蔵村山市	100.0	62.3	1.5	36.0	11.1	13.8	11.1	0.1
羽村市	100.0	49.9	1.5	48.4	11.3	24.3	12.8	0.2
あきる野市	100.0	79.0	2.9	18.0	10.8	6.9	0.2	0.1
瑞穂町	100.0	71.3	0.3	28.2	13.7	14.5	－	0.2
多摩地域計	100.0	76.8	1.9	21.2	1,566.6	2,648.8	2,022.9	21.9
東京都計	100.0	26.3	1.8	71.6	8.6	20.2	26.9	0.3

注：調査結果は市町村については、人口 1 万 5 千人以上を掲載している。

出典：令和 5 年住宅・土地統計調査（総務省）

■所有別住宅数（令和5年10月現在）

（単位：戸、％）

自治体名	総数	持ち家 総数	借家				
			総数	公営	都市再生機構 ・公社	民営	給与住宅
立川市	85,120	40,970	44,150	4,850	5,530	30,660	3,110.0
青梅市	54,740	38,870	15,870	670	1,090	12,700	1,420.0
昭島市	50,960	28,560	22,400	3,680	2,170	15,080	1,470.0
福生市	25,720	12,220	13,500	990	2,150	9,920	440.0
武蔵村山市	28,670	18,440	10,230	3,420	110	6,320	380.0
羽村市	23,780	14,630	9,150	340	820	7,280	710.0
あきる野市	30,720	24,550	6,170	130	－	5,930	110.0
瑞穂町	12,080	8,540	3,540	730	－	2,730	80.0
多摩地域計	1,892,270	1,074,620	817,650	87,700	86,100	603,260	40,610.0
東京都計	6,716,500	3,183,700	3,532,800	241,300	202,700	2,864,100	224,700.0

（単位：％）

自治体名	総数	持ち家 総数	借家				
			総数	公営	都市再生機構 ・公社	民営	給与住宅
立川市	100.0	48.1	51.9	5.7	6.5	36.0	3.7
青梅市	100.0	71.0	29.0	1.2	2.0	23.2	2.6
昭島市	100.0	56.0	44.0	7.2	4.3	29.6	2.9
福生市	100.0	47.5	52.5	3.8	8.4	38.6	1.7
武蔵村山市	100.0	64.3	35.7	11.9	0.4	22.0	1.3
羽村市	100.0	61.5	38.5	1.4	3.4	30.6	3.0
あきる野市	100.0	79.9	20.1	0.4	－	19.3	0.4
瑞穂町	100.0	70.7	29.3	6.0	－	22.6	0.7
多摩地域計	100.0	57.3	43.6	4.7	4.6	32.0	2.2
東京都計	100.0	47.4	52.6	3.6	3.0	42.6	3.3

注：標本調査による推定結果であるため、1位を四捨五入して10位を有効数字としたので、表中の個々の数値の合計が必ずしも総数とは一致しない。

注：調査結果は市町村については、人口1万5千人以上を掲載している。

出典：令和5年住宅・土地統計調査（総務省）

■公営賃貸住宅（令和4年3月31日現在）

（単位：戸）

自治体名	住宅数	区市町村住宅			都営住宅	福祉住宅等	高優賃	都民住宅	賃貸住宅 公社一般	賃貸住宅 都市機構
		計	公営住宅	その他						
立川市	12,342	550	545	5	5,027	0	0	58	1,750	4,957
青梅市	2,128	699	699	0	405	0	0	16	1,008	0
昭島市	6,435	31	20	11	3,897	0	0	16	991	1,500
福生市	3,576	319	314	5	757	0	0	2	1,634	864
武蔵村山市	4,372	22	22	0	4,136	0	0	1	0	213
羽村市	1,321	131	131	0	349	0	0	1	0	840
あきる野市	211	211	211	0	0	0	0	0	0	0
瑞穂町	1,067	72	72	0	978	0	0	17	0	0
多摩地域計	196,175	7,086	6,692	394	90,263	0	76	1,968	33,668	63,114
東京都計	515,197	28,610	22,026	6,584	250,606	410	1,159	4,148	71,084	159,188

（単位：％）

自治体名	住宅数	区市町村住宅			都営住宅	福祉住宅等	高優賃	都民住宅	賃貸住宅 公社一般	賃貸住宅 都市機構
		計	公営住宅	その他						
立川市	100.0	4.5	4.4	0.0	40.7	0.0	0.0	0.5	14.2	40.2
青梅市	100.0	32.8	32.8	0.0	19.0	0.0	0.0	0.8	47.4	0.0
昭島市	100.0	0.5	0.3	0.2	60.6	0.0	0.0	0.2	15.4	23.3
福生市	100.0	8.9	8.8	0.1	21.2	0.0	0.0	0.1	45.7	24.2
武蔵村山市	100.0	0.5	0.5	0.0	94.6	0.0	0.0	0.0	0.0	4.9
羽村市	100.0	9.9	9.9	0.0	26.4	0.0	0.0	0.1	0.0	63.6
あきる野市	100.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
瑞穂町	100.0	6.7	6.7	0.0	91.7	0.0	0.0	1.6	0.0	0.0
多摩地域計	100.0	3.6	3.4	0.2	46.0	0.0	0.0	1.0	17.2	32.2
東京都計	100.0	5.6	4.3	1.3	48.6	0.1	0.2	0.8	13.8	30.9

出典：都営・区市町村・公社・都市機構等賃貸住宅管理戸数（令和4年）「東京都総務局」

6) 自動車保有台数

瑞穂町の自動車保有台数は、31,894 台であり、このうち乗用車が 19,252 台で、乗用車の保有は人口当たり約 2 人に 1 台となる。

また、総数に占める貨物車及び特種用途車の割合がそれぞれ 24.1%、3.3%と、周辺自治体と比較して高くなっている。

■車種別自動車保有台数（令和 4 年 3 月 31 日現在）

（単位：台）

自治体名	総数	乗合車	乗用車	貨物車	特種用途車	特殊車	自動二輪	原付自転車	ミニカー
立 川 市	84,193	235	59,776	12,158	1,929	525	7,134	2,247	189
青 梅 市	87,557	167	63,542	11,149	1,263	675	8,211	2,429	121
昭 島 市	53,711	91	39,466	6,902	915	328	4,387	1,517	105
福 生 市	33,099	201	24,604	4,021	492	139	2,802	775	65
武 蔵 村 山 市	51,023	84	34,082	8,852	1,328	363	4,661	1,531	122
羽 村 市	32,785	37	24,549	4,128	408	321	2,524	770	48
あ き る 野 市	58,187	119	41,128	8,501	793	759	5,222	1,523	142
瑞 穂 町	31,894	169	19,252	7,701	1,066	585	2,363	697	61
多 摩 地 域 計	1,864,224	5,658	1,329,187	229,219	31,527	12,091	188,912	63,367	4,263
東 京 都 計	4,641,638	15,720	3,142,357	668,002	90,578	37,495	494,688	178,818	13,980

（単位：％）

自治体名	総数	乗合車	乗用車	貨物車	特種用途車	特殊車	自動二輪	原付自転車	ミニカー
立 川 市	100.0	0.3	71.0	14.4	2.3	0.6	8.5	2.7	0.2
青 梅 市	100.0	0.2	72.6	12.7	1.4	0.8	9.4	2.8	0.1
昭 島 市	100.0	0.2	73.5	12.9	1.7	0.6	8.2	2.8	0.2
福 生 市	100.0	0.6	74.3	12.1	1.5	0.4	8.5	2.3	0.2
武 蔵 村 山 市	100.0	0.2	66.8	17.3	2.6	0.7	9.1	3.0	0.2
羽 村 市	100.0	0.1	74.9	12.6	1.2	1.0	7.7	2.3	0.1
あ き る 野 市	100.0	0.2	70.7	14.6	1.4	1.3	9.0	2.6	0.2
瑞 穂 町	100.0	0.5	60.4	24.1	3.3	1.8	7.4	2.2	0.2
多 摩 地 域 計	100.0	0.3	71.3	12.3	1.7	0.6	10.1	3.4	0.2
東 京 都 計	100.0	0.3	67.7	14.4	2.0	0.8	10.7	3.9	0.3

注：車種分類は、道路運送車両法による。

注：特殊車は大型・小型の合算値

注：東京都計には、「不明、その他」を含む。

注：原付二種・原付、ミニカー、小型特殊車は、令和 4 年 4 月 1 日現在

出典：警視庁交通年鑑 令和 4 年版（令和 5 年 8 月）（警視庁交通部交通総務課）

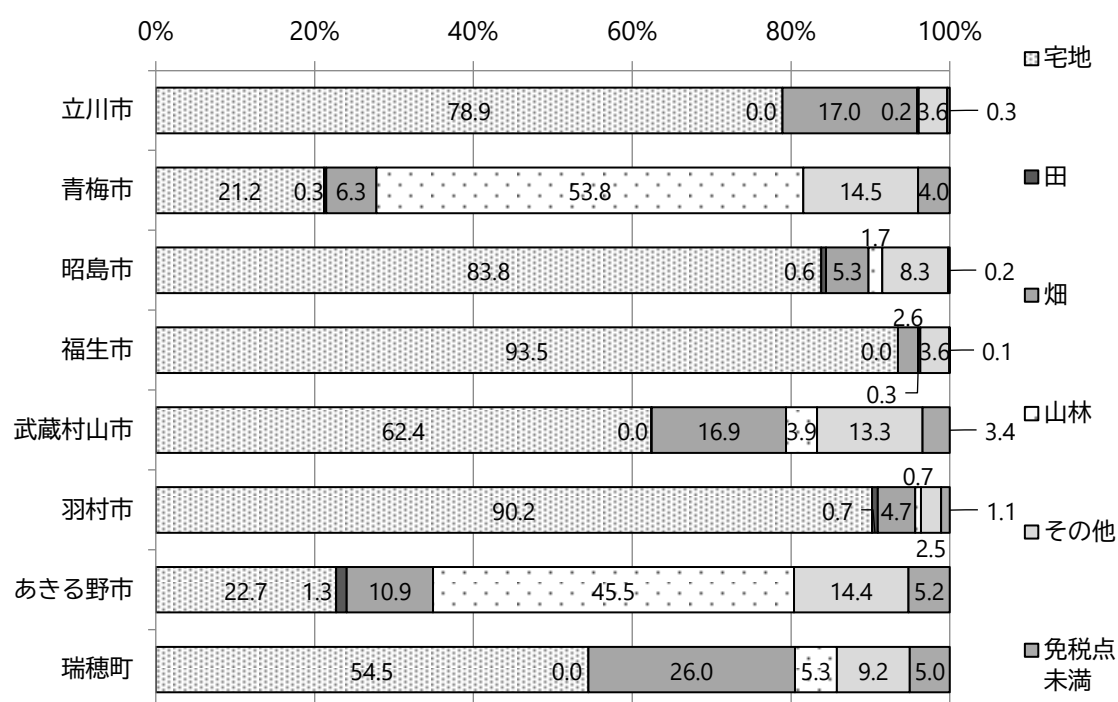
7) 土地

瑞穂町の地目別土地面積は、宅地が最も多く 508.51ha (54.5%) を占め、次いで、畑が 242.88ha (26.0%)、その他（基地関連が主）が 85.52ha (9.2%)、山林が 49.46ha (5.3%) と続き、田はほとんど存在しない。

瑞穂町の宅地 508.51ha の内訳を見ると、最も多いのが住宅地区の 241.63ha (宅地に占める割合の 47.5%) で、次いで、工業地区の 174.51ha (同 34.3%) となっている。住宅地区、工業地区の両者が瑞穂町の宅地の大半を占め、周辺市に比べても工業地区の面積及び占める割合が極めて高いのが特徴であり、西多摩地域の工業の一大集積地となっている。

■地目別土地面積（令和5年1月1日現在）

(単位：%)



出典：東京都統計年鑑 令和4年（東京都総務局）

■地目別土地面積（令和5年1月1日現在）

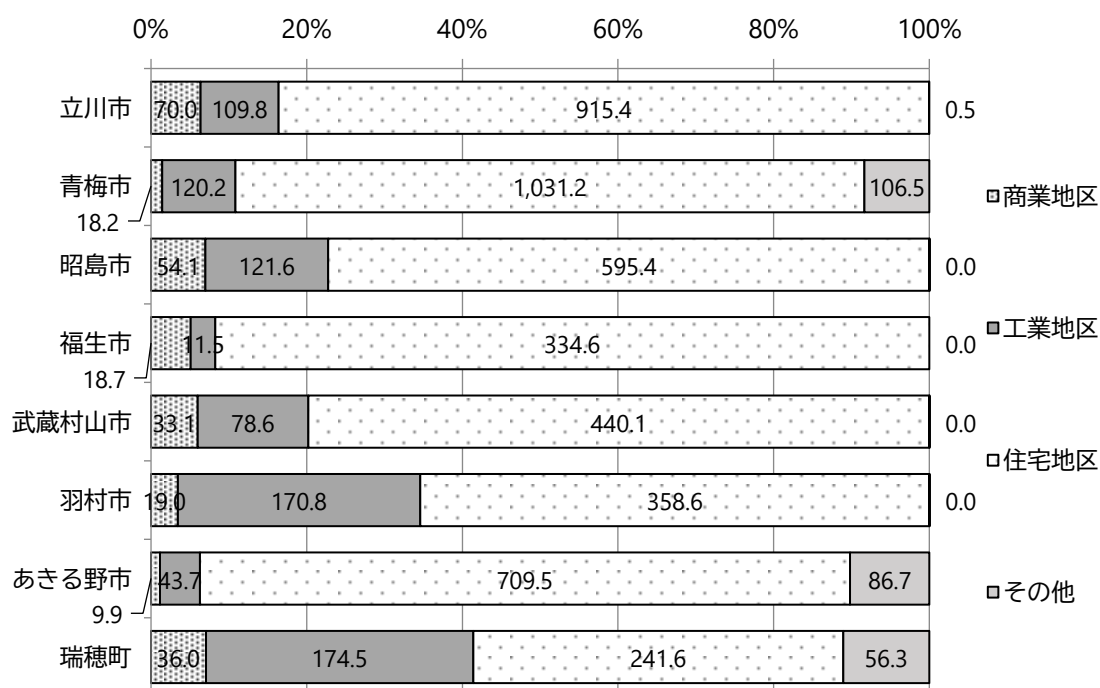
（単位：ha）

自治体名	総数	宅地					田	畑	山林	原野	池沼	雑種地	免税点 未済
		計	商業地区	工業地区	住宅地区	その他							
立川市	1,388.14	1,095.70	70.03	109.75	915.42	0.51	-	235.43	2.44	-	-	50.08	4.48
青梅市	6,028.81	1,276.12	18.24	120.21	1,031.18	106.49	18.58	379.10	3,242.82	508.84	0.52	362.44	240.38
昭島市	920.21	771.02	54.05	121.58	595.37	0.01	5.89	49.17	15.73	0.02	0.07	76.59	1.72
福生市	390.33	364.81	18.67	11.50	334.64	-	-	9.98	1.08	-	-	14.22	0.25
武蔵村山市	884.11	551.74	33.11	78.55	440.05	0.03	0.32	149.66	34.68	0.98	-	116.49	30.24
羽村市	607.89	548.37	18.96	170.82	358.55	0.04	4.40	28.71	4.30	-	0.36	15.07	6.67
あきる野市	3,741.98	849.68	9.87	43.67	709.48	86.66	49.43	407.20	1,701.43	214.79	0.02	325.09	194.34
瑞穂町	933.43	508.51	36.03	174.51	241.63	56.34	-	242.88	49.46	0.12	-	85.40	47.07

出典：東京都統計年鑑 令和4年（東京都総務局）

■宅地面積の内訳（令和5年1月1日現在）

（ラベル単位：ha）



出典：東京都統計年鑑 令和4年（東京都総務局）

7. 環境

1) 公害

瑞穂町の公害苦情件数は、36 件で、全て典型 7 公害であった。典型 7 公害 36 件のうち、大気汚染が 12 件、騒音が 11 件であった。

総数に占める典型 7 公害の割合は 100%であり、その他の苦情はなかった。

■公害苦情受付状況（令和 4 年度）

（単位：件）

自治体名	総数	典型 7 公害								その他
		総数	大気汚染	水質汚濁	土壌汚染	騒音	振動	地盤沈下	悪臭	
立川市	52	45	14	0	0	21	2	0	8	7
青梅市	109	104	57	1	0	39	1	0	6	5
昭島市	104	31	5	0	0	21	0	0	5	73
福生市	96	29	6	0	0	18	1	0	4	67
武蔵村山市	85	29	2	0	0	15	0	0	12	56
羽村市	52	52	2	0	0	18	0	0	32	0
あきる野市	174	57	28	2	0	23	0	0	4	117
瑞穂町	36	36	12	2	3	11	3	0	5	0
多摩地域計	2,897	2,225	535	79	5	1,125	128	1	352	672
東京都計	7,838	6,679	996	84	14	4,028	635	1	921	1,159

（単位：％）

自治体名	総数	典型 7 公害								その他
		総数	大気汚染	水質汚濁	土壌汚染	騒音	振動	地盤沈下	悪臭	
立川市	100.0	86.5	26.9	0.0	0.0	40.4	3.8	0.0	15.4	13.5
青梅市	100.0	95.4	52.3	0.9	0.0	35.8	0.9	0.0	5.5	4.6
昭島市	100.0	29.8	4.8	0.0	0.0	20.2	0.0	0.0	4.8	70.2
福生市	100.0	30.2	6.3	0.0	0.0	18.8	1.0	0.0	4.2	69.8
武蔵村山市	100.0	34.1	2.4	0.0	0.0	17.6	0.0	0.0	14.1	65.9
羽村市	100.0	100.0	3.8	0.0	0.0	34.6	0.0	0.0	61.5	0.0
あきる野市	100.0	32.8	16.1	1.1	0.0	13.2	0.0	0.0	2.3	67.2
瑞穂町	100.0	100.0	33.3	5.6	8.3	30.6	8.3	0.0	13.9	0.0
多摩地域計	100.0	76.8	18.5	2.7	0.2	38.8	4.4	0.0	12.2	23.2
東京都計	100.0	85.2	12.7	1.1	0.2	51.4	8.1	0.0	11.8	14.8

出典：公害苦情統計調査（令和 4 年度）（東京都環境局）

2) ごみ

瑞穂町は、総ごみ量 10,601 t のうち、持込量が 2,537 t (23.9%) と 2 割以上を占め、また、人口 1 人 1 日当たりのごみの量が 902.5 g と多摩地域計の 666.6 g の 1.4 倍となっている。その要因としては、事業所が多数立地していることが考えられる。

■ごみ量（令和 4 年度）

自治体名	総ごみ量 (t)	収集量 (t)						持込量 (t)						1人1日当 たりのごみの 量 (g)
		計	可燃	不燃	資源	粗大	有害	計	可燃	不燃	資源	粗大	有害	
立川市	42,393	35,603	21,462	1,668	11,404	1,007	62	6,790	5,337	614	529	310	0	625.9
青梅市	36,216	29,042	20,979	962	6,697	313	91	7,174	5,546	23	506	1,096	3	760.4
昭島市	29,545	23,425	15,489	1,221	6,362	315	38	6,120	5,092	41	75	912	0	708.6
福生市	14,802	12,804	8,481	411	3,538	354	20	1,998	1,740	48	0	210	0	720.4
武蔵村山市	18,992	16,789	11,069	895	4,359	439	27	2,203	2,199	1	0	3	0	728.4
羽村市	15,397	12,407	8,001	382	3,821	184	19	2,990	2,566	2	0	422	0	773.8
あきる野市	22,415	21,611	17,077	337	3,821	342	34	804	180	1	0	623	0	768.6
瑞穂町	10,601	8,064	5,333	322	2,316	79	14	2,537	2,184	0	0	353	0	902.5
多摩地域計	1,034,339	875,948	561,381	45,534	244,798	22,537	1,698	158,391	144,926	1,667	2,840	8,955	3	666.6

(単位：%)

自治体名	総ごみ量 (t)	収集量 (t)						持込量 (t)					
		計	可燃	不燃	資源	粗大	有害	計	可燃	不燃	資源	粗大	有害
立川市	100.0	84.0	50.6	3.9	26.9	2.4	0.1	16.0	12.6	1.4	1.2	0.7	0.0
青梅市	100.0	80.2	57.9	2.7	18.5	0.9	0.3	19.8	15.3	0.1	1.4	3.0	0.0
昭島市	100.0	79.3	52.4	4.1	21.5	1.1	0.1	20.7	17.2	0.1	0.3	3.1	0.0
福生市	100.0	86.5	57.3	2.8	23.9	2.4	0.1	13.5	11.8	0.3	0.0	1.4	0.0
武蔵村山市	100.0	88.4	58.3	4.7	23.0	2.3	0.1	11.6	11.6	0.0	0.0	0.0	0.0
羽村市	100.0	80.6	52.0	2.5	24.8	1.2	0.1	19.4	16.7	0.0	0.0	2.7	0.0
あきる野市	100.0	96.4	76.2	1.5	17.0	1.5	0.2	3.6	0.8	0.0	0.0	2.8	0.0
瑞穂町	100.0	76.1	50.3	3.0	21.8	0.7	0.1	23.9	20.6	0.0	0.0	3.3	0.0
多摩地域計	100.0	84.7	54.3	4.4	23.7	2.2	0.2	15.3	14.0	0.2	0.3	0.9	0.0

注：1 人 1 日当たりを算出した人口は、東京都総務局統計部「住民基本台帳による世帯と人口」（令和 4 年 10 月 1 日現在）による。

出典：多摩地域ごみ実態調査（令和 4 年度統計）（公益財団法人東京市町村自治調査会）

3) 資源化・最終処分

瑞穂町の令和4年度現在の総資源化量は 3,317t で、このうち、集団回収量 174t (5.2%)、資源ごみ量は 2,218t (66.9%)、収集後資源化量は 925t (27.9%) となっている。

瑞穂町の総資源化率は 30.8%と多摩地域計の 37.2%と比較して少ない。

総資源化量に対する割合を多摩地域の平均と比較すると、集団回収量の割合が平均より低く、資源ごみ量が平均より高くなっている。

■総資源化率及び最終処分率

自治体名	総資源化量 (t)				総資源化率 (%)	最終処分量 (t)	最終処分率 (%)
	集団回収量 (t)	資源ごみ量 (t)	収集後資源化量 (t)				
立川市	19,821	2,506	11,209	6,106	44.1	0	0.0
青梅市	12,896	2,566	6,679	3,651	33.3	0	0.0
昭島市	10,893	1,015	5,992	3,886	35.6	0	0.0
福生市	5,318	625	3,538	1,155	34.5	0	0.0
武蔵村山市	6,835	294	4,118	2,423	35.4	0	0.0
羽村市	5,573	635	3,552	1,386	34.8	0	0.0
あきる野市	7,681	1,749	3,673	2,259	31.8	1,039	4.6
瑞穂町	3,317	174	2,218	925	30.8	0	0.0
多摩地域計	405,535	57,179	235,988	112,368	37.2	1,384	0.1

注：資源ごみ量は、資源ごみからの資源化量で、拠点回収による資源化量を含む。

注：収集後資源化量とは、中間処理施設において不燃ごみや粗大ごみ等から人手や機械等によって選別された資源物の量である。

注：総資源化率＝(資源ごみからの資源化量+集団回収量+収集後資源化量)÷(総ごみ量+集団回収量)

注：最終処分率＝最終処分量÷総ごみ量

注：最終処分量について、端数処理のため多摩地域の合計と各市町村の合計は一致しない場合がある。

出典：多摩地域ごみ実態調査（令和4年度統計）（公益財団法人東京市町村自治調査会）

8. 教育・文化

1) 学校数

瑞穂町には、小学校5校、児童数1,461人、中学校2校、生徒数744人、高等学校1校、生徒数532人が在学している。

教員1人当たりの児童・生徒数は、小学校・中学校ともに13.8人となっている。

■学校数・生徒数・教員数（令和5年5月1日現在）

自治体名	小学校（国・公・私立）			中学校（国・公・私立）			高等学校（公立）			高等学校（私立）		
	学校数	児童数	教員数 (本務者)	学校数	生徒数	教員数 (本務者)	学校数	生徒数	教員数 (本務者)	学校数	生徒数	教員数 (本務者)
立川市	20	8,725	536	9	3,783	247	2	1,546	119	2	2,387	147
青梅市	17	5,367	388	11	2,975	256	2	1,311	116	0	0	0
昭島市	14	5,879	372	7	2,814	194	2	1,702	94	1	350	30
福生市	7	2,220	167	3	1,104	90	2	1,316	99	0	0	0
武蔵村山市	9	3,760	244	5	2,005	135	2	1,422	93	1	1,476	69
羽村市	7	2,583	169	3	1,398	94	1	596	48	0	0	0
あきる野市	11	3,961	252	7	2,318	175	2	925	91	1	1,160	59
瑞穂町	5	1,461	106	2	744	54	1	532	59	0	0	0
多摩地域計	458	211,182	12,766	268	108,726	7,231	64	46,917	3,155	51	38,611	2,232
東京都計	1,323	623,631	36,462	800	314,459	20,415	186	123,957	9,106	237	172,725	9,896

出典：令和5年度学校基本統計（学校基本調査報告書）（東京都総務局統計部）

2) 公立学校の学校給食

瑞穂町の学校給食は、羽村市とともに羽村・瑞穂地区学校給食組合を組織し、小・中学校ともに完全給食の共同調理方式で行われている。

東京都では、令和6年11月に日野市および小金井市において、令和7年1月以降に提供される給食の給食費を無償化する方針が発表された。これにより、都内全ての市区町村で公立学校の給食費が無償化される。なお、瑞穂町では、令和6年4月より先駆けて町立小・中学校に通う児童生徒の給食費無償化が実施された。

■学校給食の状況（令和4年5月1日現在）

（単位：校、回）

自治体名	小学校									中学校						
	学校数	完全給食	左のうち		給食ミルク	未実施	年間予定給食回数			学校数	完全給食	左のうち		給食ミルク	未実施	年間予定給食回数
			共同調理場方式	親子方式			低学年	中学年	高学年			共同調理場方式	親子方式			
立川市	19	19	11				194	194	194	9	9	9				182
青梅市	17	16	15			1	185	185	185	11	10	10			1	180
昭島市	13	13	8				185	185	185	6	6		6			180
福生市	7	7	7				192	192	192	3	3	3				190
武蔵村山市	9	9	9				186	186	186	5	5	5				183
羽村市	7	7	7				185	185	185	3	3	3				180
あきる野市	10	10	10				185	185	185	6	6	6				180
瑞穂町	5	5	5				185	185	185	2	2	2				180
多摩地域計	435	434	156	36		1	189	189	189	220	218	162	30		2	183
東京都計	1,265	1,262	166	64	2	1	191	191	191	604	600	179	60	2	2	185

注：年間予定給食回数の多摩地域計及び東京都計は、それぞれ該当団体の平均値

注：共同調理場方式には、外部調理委託方式を含む。

出典：令和4年度東京都における学校給食の実態（東京都教育庁）

■学校給食費無償化の状況

自治体名	学校給食費無償化	
	実施	実施開始時期
立川市	○	令和6年4月
青梅市	○	令和6年4月
昭島市	○	令和6年4月
福生市	○	令和6年4月
武蔵村山市	○	令和6年4月
羽村市	○	令和7年1月
あきる野市	○	令和7年1月
瑞穂町	○	令和6年4月

出典：各自治体プレスリリース等

3) 社会教育施設の状況

瑞穂町の社会教育施設は図書館が5館、博物館1館（郷土資料館）、生涯学習センター1館、その他施設が2館である。他の周辺市に比べて、人口規模に対して図書館の設置件数が多く、地域に密着した設置となっていることが特徴である。

■社会教育施設（令和4年5月1日現在）

（単位：館、図書館蔵書数：冊）

市町村名	公民館	社会教育 会館	図書館	図書館		博物館	青少年 施設	生涯学習 センター	その他の 施設
				うち分館数 (直営)	蔵書数				
立川市			9		987,331	2			17
青梅市			10		600,051	3		1	1
昭島市	1		4		419,124	1	1		11
福生市	3		4	3	465,129	1			5
武蔵村山市	3		2	1	104,835	2			
羽村市			5	4	424,097	1		1	
あきる野市	1		4	2	664,842	2			2
瑞穂町			5	4	215,434	1		1	2
多摩地区計	72		171	98	19,651,785	44	10	12	65
特別区		47	233	34	29,298,981	48	22	11	39
東京都計	81	47	409	132	49,059,446	100	32	24	109

注：博物館には博物館相当施設・博物館類似施設を含む。

出典：令和4年度区市町村生涯学習・社会教育行政 データブック（東京都教育庁）

4) 社会体育施設の状況

瑞穂町の社会体育施設は、下記のとおりになっている。

■社会体育施設（令和4年10月1日現在）

（単位：ヶ所）

設置者名	計	陸上競技場	球技場	多目的動運広場	硬式野球場	軟式野球場	少年野球場	テニス（クレイ）	テニス（砂入り人工芝）	テニス（ハード）	テニス（屋内）	ゲートボール場	屋内水泳場	屋外水泳場	体育館	トレーニング場
立川市	40	1		3	1	5	3	2	2			3	3		4	2
青梅市	28	1	2		1	3	2	2	3	1				7	3	2
昭島市	25	1	4		1	2		2	1				1	3	5	1
福生市	30	1	1			3	4		2	2				4	5	2
武蔵村山市	21	1		4		3	1	2	1					2	2	1
羽村市	26	1	3	1		2			2				2	1	2	2
あきる野市	31		2	1	1	2	2	1	3				3	4	4	3
瑞穂町	14		1	2		2			2			1		2	1	1
多摩地域計	772	16	46	65	10	61	28	26	88	9		37	36	59	103	43
特別区	1,011	10	64	53	4	79	45	7	83	20		8	130	49	125	82
東京都計	1,991	42	129	137	15	167	81	34	202	34	1	54	175	113	247	133

設置者名	柔道場	剣道場	武道場	相撲場	弓道場	アーチェリー場	ランニングコース	サイクリングコース	健康体力相談室	アイススケート場	スケート場	射撃場	ゴルフ場	卓球場	クライミングウォール	その他
立川市	1	2		1	1		2		1		1				1	1
青梅市					1											
昭島市	1	1			1										1	
福生市	1	1			1									1		2
武蔵村山市	1						2									1
羽村市	1				1									1		7
あきる野市	1	1	1		1											1
瑞穂町	1	1														
多摩地域計	16	13	13	3	17	1	12	1	3		3	1		8	2	52
特別区	29	25	17	7	28	13	13	1	2	1	6	9	4	13	3	81
東京都計	45	38	33	10	50	17	27	6	6	1	9	10	5	23	6	141

出典：令和4年度区市町村生涯学習・社会教育行政データブック（東京都教育庁）

5) NP0 活動等

瑞穂町のNP0法人は8団体となっている。活動分野で最も多いのが社会教育、学術・文化・芸術・スポーツ、子どもの健全育成でそれぞれ4団体、続いて保健・医療・福祉、環境保全がそれぞれ3団体、まちづくり、情報化社会、NP0団体への助言・援助がそれぞれ2団体となっている。比較的幅広い分野で活動が行われている。

■NP0 法人数（令和7年2月末現在）

（単位：団体数）

自治体名	NPO 法人数	活動分野																		
		保健・医療・福祉	社会教育	まちづくり	観光	農山漁村・中山間地域	学術・文化・芸術・スポーツ	環境保全	災害救援	地域安全	人権擁護・平和推進	国際協力	男女共同参画	子どもの健全育成	情報化社会	科学技術	経済活動活性化	職業能力開発・雇用機会拡充	消費者保護	NPO 団体への助言・援助
立川市	86	57	48	36	0	1	29	19	8	12	18	20	8	37	7	5	9	19	3	64
青梅市	43	25	27	19	3	2	15	11	0	4	5	3	2	24	6	1	7	8	2	31
昭島市	23	16	10	6	0	0	6	2	1	2	4	2	1	14	3	3	1	6	1	16
福生市	20	12	8	6	1	1	8	4	3	2	4	5	1	11	2	0	2	2	1	9
武蔵村山市	22	17	11	7	1	0	7	4	1	3	7	1	5	9	1	0	1	5	0	15
羽村市	11	8	5	7	0	0	4	2	1	2	1	2	0	7	1	0	1	2	0	7
あきる野市	29	15	17	13	2	2	10	7	3	2	5	4	1	14	2	1	3	5	0	19
瑞穂町	8	3	4	2	0	0	4	3	1	1	1	0	0	4	2	0	0	0	0	2
東京都計	8,741	4,435	5,094	2,866	410	252	3,645	1,984	689	956	1,701	2,684	866	4,091	1,491	690	1,521	2,021	553	5,762

出典：東京都生活文化スポーツ局資料「認証NP0法人一覧（令和7年2月末現在）」より
瑞穂町企画部企画政策課作成

■瑞穂町に主たる事務所があるNP0法人一覧（令和7年2月末現在）

法人名	目的
自立支援センターすだち	知的障害者に対して、生活の場を提供し自立するための援助を行なう。また、地域に住んでいる知的障害者及び家族のゆとりある生活に寄与することを目的とする。
日本鷹匠協会	児童及び青少年をはじめとする一般市民に対して、我が国に伝承される鷹匠及び鷹狩りに関する調査研究及びその普及啓発や情報提供等を行うとともに、鷹狩りの実施及び鷹匠の後継者育成、絶滅の危機に瀕している猛禽類の保護等の活動を実施し、以って伝統文化の保護及び振興、自然環境の保護及び児童・青少年の健全育成に資することを目的とする。
護民官	万人の生活環境の維持改善に関する事業を行い、生活向上に寄与することを目的とする。
みずほまち精神保健福祉会	精神障害者及び広く一般市民に対して、生活支援や就労援助、グループホーム等の支援・運営事業や、障害者福祉に関する普及・啓発事業等を行い、広く福祉の増進に貢献することを目的とする。
瑞穂町スポーツ協会	広く一般町民を対象として、体育スポーツの振興、健康体力づくり、競技力の向上及びスポーツ文化に関する事業を行い、健全なスポーツ精神の涵養を図り、町民の明るく健康的な社会の建設に寄与することを目的とする。
わかば	会員の協働による運営の下、学校から帰宅しても就労等で保護者が家におらず適切な監護が受けられない小学校就学児童を一時的に預かり、集団生活の中で基本的な生活習慣及び健全な遊びを身に付けるとともに、保護者が安心して働き子育てできる地域社会の確立に寄与することを目的とする。
犬猫友愛会	広く一般市民に対して、動物の愛護、避妊、去勢及び適正な飼養の普及・啓発に関する事業、動物の保護及び里親募集の支援に関する事業等を行い、人と動物が共生できる地域社会の形成と環境の保全を図り、広く公益に寄与することを目的とする。
ブラウグラーナ総合スポーツクラブ	瑞穂町周辺地域において、サッカーをはじめとしたスポーツ活動を通じ、人づくり、街づくり、地域づくりの推進を図り、地域住民の健康増進、青少年の健全育成、地域社会の活性及び公益の増進に寄与する事を目的とする。

出典：東京都生活文化スポーツ局資料「認証NP0法人一覧（令和7年2月末現在）」より
瑞穂町企画部企画政策課作成

9. 防犯・防災

1) 犯罪件数

瑞穂町内の犯罪件数は、「非侵入窃盗」（自転車盗、万引きなど）が最も多く全体の71.9%となっている。次いで、「その他」（詐欺、賭博など）が20.1%、「粗暴犯」3.5%の順となっている。

周辺自治体と比較すると、「粗暴犯」の割合が低くなっている。

■刑法犯認知件数（令和5年）

（単位：件）

自治体名	総数	凶悪犯			粗暴犯	侵入窃盗	非侵入窃盗	その他
			強盗	その他				
立川市	1615	21	8	13	80	44	1171	299
青梅市	620	5	2	3	44	43	375	153
昭島市	771	4	0	4	38	12	545	172
福生市	440	5	1	4	28	6	314	87
武蔵村山市	409	1	0	1	13	5	318	72
羽村市	334	2	0	2	21	10	249	52
あきる野市	422	3	0	3	22	27	266	104
瑞穂町	199	3	0	3	7	6	143	40

（単位：％）

自治体名	総数	凶悪犯			粗暴犯	侵入窃盗	非侵入窃盗	その他
			強盗	その他				
立川市	100.0	1.3	0.5	0.8	5.0	2.7	72.5	18.5
青梅市	100.0	0.8	0.3	0.5	7.1	6.9	60.5	24.7
昭島市	100.0	0.5	0.0	0.5	4.9	1.6	70.7	22.3
福生市	100.0	1.1	0.2	0.9	6.4	1.4	71.4	19.8
武蔵村山市	100.0	0.2	0.0	0.2	3.2	1.2	77.8	17.6
羽村市	100.0	0.6	0.0	0.6	6.3	3.0	74.6	15.6
あきる野市	100.0	0.7	0.0	0.7	5.2	6.4	63.0	24.6
瑞穂町	100.0	1.5	0.0	1.5	3.5	3.0	71.9	20.1

出典：市区町丁別、罪種及び手口別認知件数（2023年）（警視庁生活安全総務課）

2) 火災

令和4年の瑞穂町の火災発生は、12件で、人口1万人当たりの火災件数は3.7件で、多摩地域の平均を上回っている。

■火災の発生状況（令和4年）

自治体名	火災件数						人口1万人 当たりの 火災件数	被災延面 積（㎡）	損害見積額 （千円）	死者 （人）	傷者 （人）
	計	建物	車両	船舶	林野	その他					
立川市	63	50	4	0	0	9	3.4	1,364	156,310	5	7
青梅市	41	24	4	0	1	12	3.1	586	34,103	1	11
昭島市	12	8	0	0	0	4	1.1	23	1,723	0	2
福生市	20	14	0	0	0	6	3.6	18	2,516	0	4
武蔵村山市	18	11	1	0	0	6	2.5	379	36,202	0	1
羽村市	12	8	0	0	0	4	2.2	165	19,654	1	4
あきる野市	32	11	0	0	0	21	4.0	1,123	131,177	0	2
瑞穂町	12	6	2	0	0	4	3.7	1,076	52,005	0	4
多摩地域計	1,065	725	70	0	3	267	2.5	9,935	2,425,803	34	207
特別区	2,897	2,131	119	3	0	644	3.0	12,063	3,058,567	55	536
東京都計	3,970	2,859	189	3	4	915	2.9	22,836	5,484,466	90	743

注：「人口1万人当たりの火災件数」算出のための人口は、令和4年1月1日現在「住民基本台帳による東京都の世帯と人口」（東京都総務局）による。

注：被災延面積は、建物と林野の合計

出典：東京都統計年鑑 令和4年（東京都総務局統計部）

3) 交通事故（人身事故）

令和5年の瑞穂町の交通事故発生件数（人身事故）96件であり、それにより死者が1名、負傷者が106名出ている。

■交通人身事故発生状況（令和5年中）

（単位：件、人）

	発生件数	死者	負傷者
立川市	549		616
青梅市	243	2	285
昭島市	474		550
福生市	136	1	155
武蔵村山市	295	1	331
羽村市	94		108
あきる野市	168	1	190
瑞穂町	96	1	106

出典：過去2年間の交通人身事故発生状況（警視庁 HP）

10. 行財政

1) 市町村民税の課税状況

瑞穂町の課税状況を多摩地域計と比較してみると、課税対象所得は人口1人当たりでは1,569千円（多摩地域計2,028千円）、1世帯当たり3,359千円（多摩地域計4,131千円）となっている。

■市町村民税の課税状況（令和4年7月1日現在）

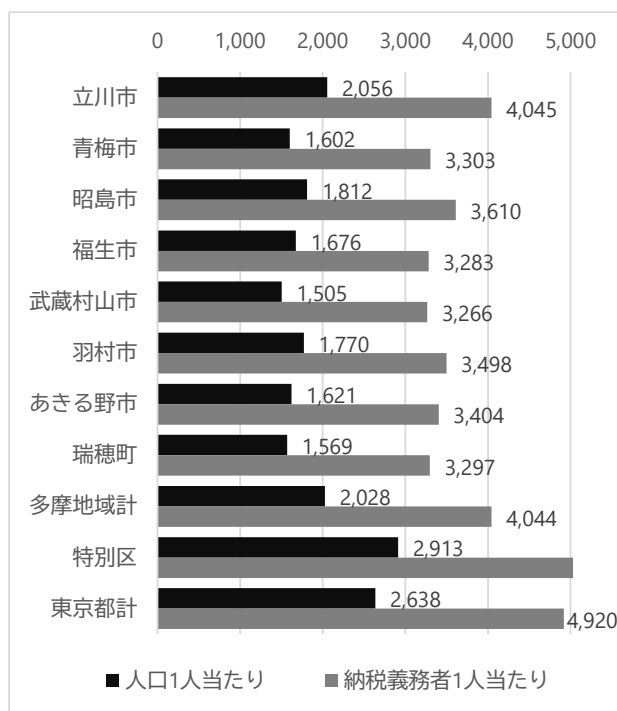
自治体名	課税対象所得 (千円)	所得割額 (千円)	所得割納税 義務者数 (人)	課税対象所得（千円）			所得割額（千円）		
				人口1人当 たり	納税義務者 1人 当たり	1世帯 当たり	人口1人当 たり	納税義務者 1人 当たり	1世帯 当たり
立川市	380,663,590	13,832,284	94,114	2,056	4,045	4,020	75	147	146
青梅市	210,023,953	7,330,291	63,580	1,602	3,303	3,265	56	115	114
昭島市	206,262,227	7,276,977	57,142	1,812	3,610	3,704	64	127	131
福生市	94,293,069	3,353,348	28,724	1,676	3,283	3,134	60	117	111
武蔵村山市	108,135,024	3,688,793	33,111	1,505	3,266	3,340	51	111	114
羽村市	96,682,305	3,424,712	27,643	1,770	3,498	3,716	63	124	132
あきる野市	129,842,585	4,494,891	38,142	1,621	3,404	3,559	56	118	123
瑞穂町	50,707,132	1,768,051	15,380	1,569	3,297	3,359	55	115	117
多摩地域計	8,615,375,492	315,062,103	2,130,333	2,028	4,044	4,131	74	148	151
特別区	27,740,323,761	1,081,912,417	5,255,287	2,913	5,279	5,279	114	206	206
東京都計	36,396,520,851	1,398,473,148	7,397,433	2,638	4,920	4,949	101	189	190

注：人口、世帯数は令和4年1月1日現在の住民基本台帳による。

出典：東京都総務局行政部市町村課「令和4年度市町村税課税状況等の調」（令和5年3月）

■人口一人当たり、納税義務者一人当たりの課税対象所得（令和4年7月1日現在）

（単位：千円）



注：上記表をもとにグラフを作成

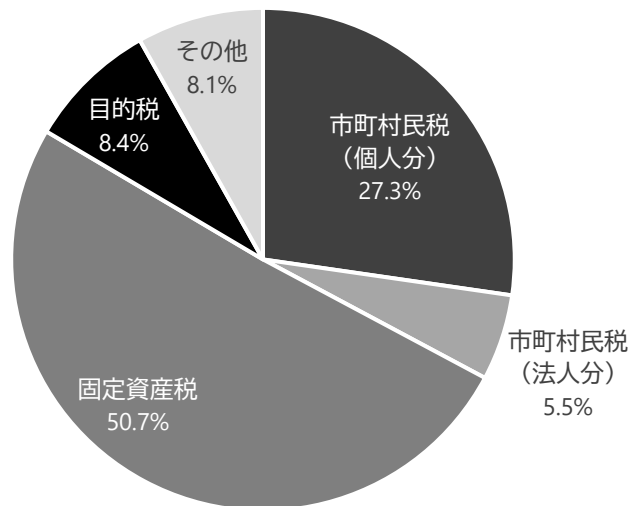
2) 普通会計決算の状況（市町村民税）

瑞穂町の市町村民税の構成比を主な税目で見ると、固定資産税収入が 50.7%を占める。また、市町村民税（法人分）は 5.5%と収入構成に占める割合が周辺市と比べて高いグループに位置している。

■瑞穂町普通会計決算の状況（令和4年度）

（単位：千円、構成比：％）

	市町村民税 （個人分）	市町村民税 （法人分）	固定資産税	目的税	その他
額	1,842,331	372,920	3,422,133	564,478	549,461
構成比	27.3%	5.5%	50.7%	8.4%	8.1%



■各自治体の主な税目の決算状況（令和4年度）

（単位：千円、構成比：％）

自治体名	総額		主な税目							
			市町村民税 （個人分）		市町村民税 （法人分）		固定資産税		目的税	
		構成比		構成比		構成比		構成比		構成比
立川市	41,580,955	100.0	14,303,415	34.4	3,847,968	9.3	18,657,859	44.9	3,187,978	7.7
青梅市	19,994,706	100.0	7,642,268	38.2	1,011,230	5.1	8,586,883	42.9	1,517,961	7.6
昭島市	20,385,688	100.0	7,527,734	36.9	1,466,517	7.2	8,833,347	43.3	1,590,024	7.8
福生市	8,170,806	100.0	3,495,974	42.8	317,350	3.9	3,189,654	39.0	608,695	7.4
武蔵村山市	10,514,254	100.0	3,854,638	36.7	459,859	4.4	4,615,902	43.9	873,289	8.3
羽村市	10,334,299	100.0	3,573,751	34.6	456,255	4.4	4,903,625	47.5	843,934	8.2
あきる野市	11,129,224	100.0	4,682,034	42.1	380,922	3.4	4,499,742	40.4	848,650	7.6
瑞穂町	6,751,323	100.0	1,842,331	27.3	372,920	5.5	3,422,133	50.7	564,478	8.4
多摩地域計	764,691,214	100.0	327,066,564	42.8	43,822,730	5.7	303,175,606	39.6	56,550,503	7.4

出典：令和4年度市町村決算状況調査結果（東京都総務局行政部）

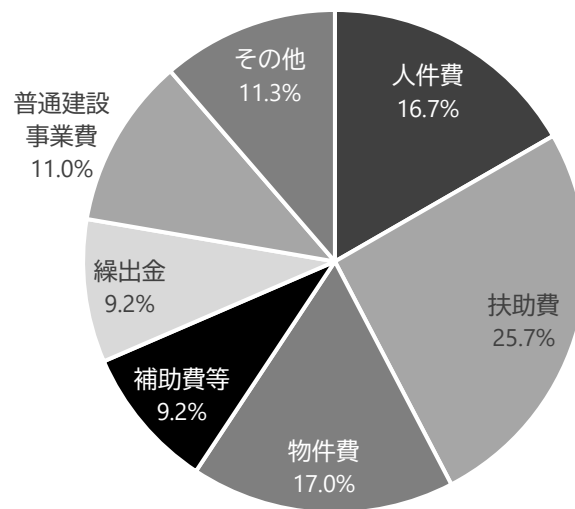
3) 普通会計決算の状況（性質別歳出）

瑞穂町の性質別歳出では、生活保護の事務を行っていないため、周辺市に比較して扶助費の構成比が低い。

■瑞穂町性質別歳出の状況（令和4年度）

（単位：千円、構成比：％）

	人件費	扶助費	物件費	補助費等	繰出金	普通建設事業費	その他
額	2,348,595	3,614,642	2,387,846	1,295,405	1,295,405	1,543,824	1,596,122
構成比	16.7%	25.7%	17.0%	9.2%	9.2%	11.0%	11.3%



■各自治体の主な性質別経費の状況（令和4年度）

（単位：千円、構成比：％）

自治体名	歳出総額		主な性質別経費											
			人件費		扶助費		物件費		補助費等		繰出金		普通建設事業費	
	構成比	構成比	構成比	構成比	構成比	構成比	構成比	構成比	構成比	構成比	構成比	構成比		
立川市	84,370,879	100.0	10,860,443	12.9	28,214,328	33.4	10,470,576	12.4	6,221,643	7.4	6,221,643	7.4	14,482,514	17.2
青梅市	55,006,161	100.0	7,011,871	12.7	19,514,372	35.5	8,607,733	15.6	5,147,650	9.4	5,147,650	9.4	3,675,745	6.7
昭島市	45,743,172	100.0	5,816,884	12.7	16,771,625	36.7	5,969,266	13.0	4,681,488	10.2	4,681,488	10.2	3,025,535	6.6
福生市	25,626,844	100.0	3,873,473	15.1	8,465,945	33.0	3,484,626	13.6	2,568,811	10.0	2568811	10.0	1,925,609	7.5
武蔵村山市	30,792,597	100.0	3,865,247	12.6	11,871,452	38.6	3,796,662	12.3	3,785,007	12.3	3,785,007	12.3	1,505,252	4.9
羽村市	23,931,256	100.0	3,663,503	15.3	8,131,020	34.0	3,809,264	15.9	2,036,601	8.5	2,036,601	8.5	1,315,371	5.5
あきる野市	33,322,570	100.0	4,785,943	14.4	9,991,164	30.0	5,633,749	16.9	3,168,296	9.5	3,168,296	9.5	3,184,296	9.6
瑞穂町	14,081,839	100.0	2,348,595	16.7	3,614,642	25.7	2,387,846	17.0	1,295,405	9.2	1,295,405	9.2	1,543,824	11.0
多摩地域計	1,692,921,851	100.0	237,125,954	14.0	571,834,111	33.8	224,805,219	13.3	159,692,668	9.4	159,692,668	9.4	153,044,027	9.0

出典：令和4年度市町村別決算状況調（総務省）

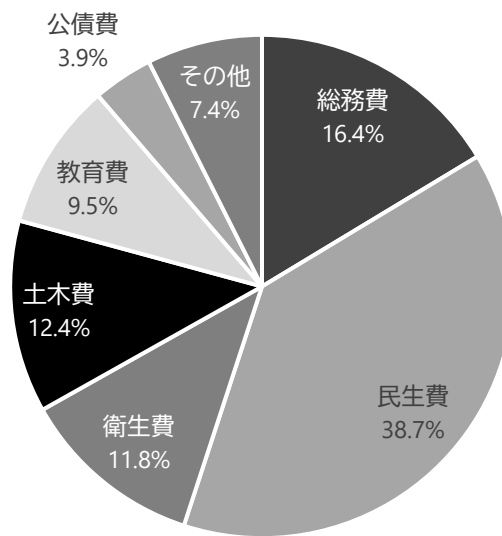
4) 会計決算の状況（目的別歳出）

瑞穂町の目的別歳出では、公債費比率や生活保護に関する経費を含まない民生費の比率が周辺市に比べて低い。一方、総務費及び土木費の比率が周辺市に比べて高い。

■瑞穂町目的別歳出の状況（令和4年度）

（単位：千円、構成比：％）

	総務費	民生費	衛生費	土木費	教育費	公債費	その他
額	2,559,494	6,051,152	1,850,674	1,936,507	1,484,951	604,925	1,160,920
構成比	16.4%	38.7%	11.8%	12.4%	9.5%	3.9%	7.4%



■各自治体の主な目的別経費の状況（令和4年度）

（単位：千円、構成比：％）

自治体名	歳出総額		主な目的別経費											
			総務費		民生費		衛生費		土木費		教育費		公債費	
	額	構成比	額	構成比	額	構成比	額	構成比	額	構成比	額	構成比		
立川市	93,380,930	100.0	8,690,441	9.3	43,281,288	46.3	18,085,156	19.4	5,632,605	6.0	9,758,652	10.5	2,824,613	3.0
青梅市	58,959,941	100.0	7,151,243	12.1	27,807,987	47.2	7,357,397	12.5	3,898,160	6.6	6,481,408	11.0	3,105,845	5.3
昭島市	49,629,263	100.0	5,985,654	12.1	24,759,994	49.9	5,610,915	11.3	2,669,479	5.4	5,669,574	11.4	2,239,460	4.5
福生市	28,414,749	100.0	3,222,887	11.3	13,236,881	46.6	3,210,642	11.3	2,645,136	9.3	3,555,950	12.5	723,982	2.5
武蔵村山市	31,459,490	100.0	3,316,370	10.5	16,615,727	52.8	2,778,464	8.8	2,150,026	6.8	3,220,160	10.2	1,288,024	4.1
羽村市	25,937,048	100.0	3,523,981	13.6	11,697,396	45.1	2,998,681	11.6	2,309,009	8.9	2,784,559	10.7	1,006,709	3.9
あきる野市	35,422,973	100.0	3,425,864	9.7	15,665,018	44.2	4,141,079	11.7	4,202,365	11.9	3,326,825	9.4	2,136,846	6.0
瑞穂町	15,648,623	100.0	2,559,494	16.4	6,051,152	38.7	1,850,674	11.8	1,936,507	12.4	1,484,951	9.5	604,925	3.9
多摩地域計	1,859,571,178	100.0	223,888,548	12.0	906,361,135	48.7	192,594,881	10.4	141,055,104	7.6	216,089,019	11.6	80,206,302	4.3
市町村計	1,898,077,661	100.0	232,350,743	12.2	912,004,586	48.0	199,841,450	10.5	144,927,094	7.6	219,475,308	11.6	83,207,604	4.4

出典：令和4年度市町村別決算状況調（総務省）

5) 主要財政指標

瑞穂町は、財政力指数（過去3年間の平均）が0.988と立川市を除く周辺市町村の中でも比較的高い。また、義務的経費比率が42.0%と周辺市町村に比べてその比率は低く、投資的経費の占める比率が立川市に次いで高い（9.9%）。

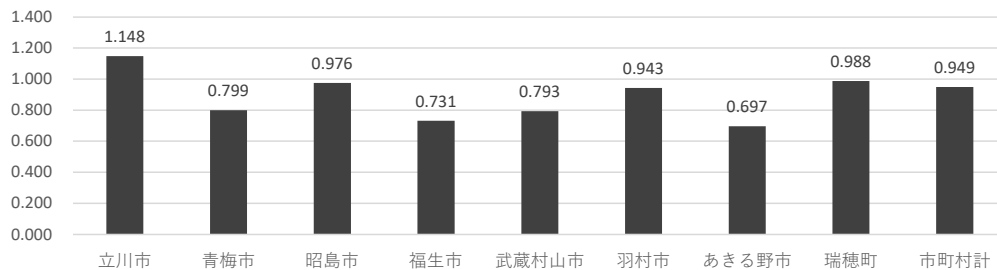
■主要財政指標（令和4年度）

自治体名	標準財政規模 (千円)	財政力指数	公債費負担比率 (%)	経常収支比率 (%)	義務的経費比率 (%)	投資的経費比率 (%)	地方債現在高 (千円)	債務負担行為翌年度以降支出予定額 (千円)	積立金現在高 (千円)
立川市	43,649,799	1.148	4.7	82.2	44.9	15.5	28,472,563	28,825,849	33,476,204
青梅市	27,816,882	0.799	7.9	93.3	50.3	6.2	30,698,842	3,469,871	12,701,932
昭島市	22,984,135	0.976	7.1	93.9	50.0	6.1	16,226,894	2,158,942	16,919,213
福生市	12,207,431	0.731	3.9	84.6	45.9	6.8	6,074,318	5,135,744	10,892,729
武蔵村山市	14,614,916	0.793	6.7	92.6	54.1	4.8	13,887,912	5,781,972	6,729,967
羽村市	11,786,757	0.943	5.9	95.6	49.3	5.1	10,600,986	5,829,475	4,460,818
あきる野市	17,392,504	0.697	9.4	97.1	47.7	9.4	25,526,146	2,760,283	4,137,570
瑞穂町	7,291,640	0.988	5.6	90.1	42.0	9.9	7,917,798	2,412,242	6,221,461
市町村計	914,700,840	0.949	6.8	89.1	47.4	8.5	835,753,871	500,829,603	503,037,584

注：財政力指数は、過去3年間平均

出典：令和4年度市町村決算状況調査結果（東京都総務局行政部）

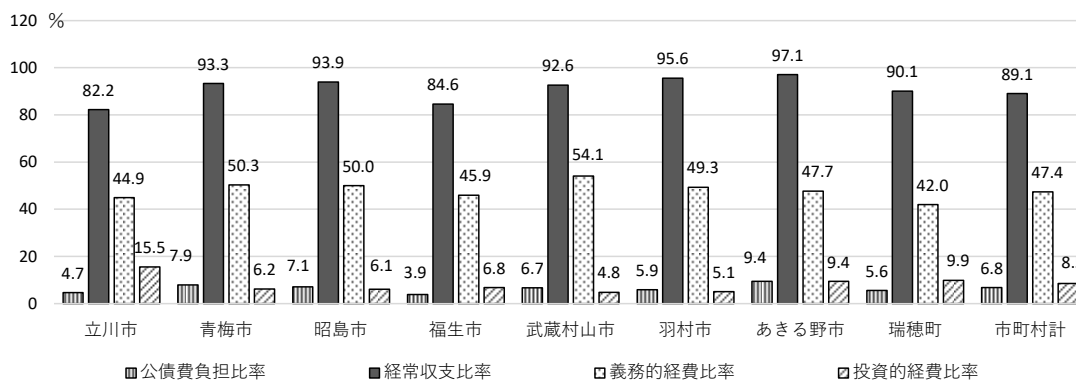
■財政力指数の比較（令和4年度）



注：財政力指数は、過去3年間平均

出典：令和4年度市町村決算状況調査結果（東京都総務局行政部）

■財政の主要指標の比較（令和4年度）



出典：令和4年度市町村決算状況調査結果（東京都総務局行政部）

6) 財政健全化判断比率

借入金（地方債）の返済額及びこれに準じる額の大きさを指標化した資金繰りの程度を示した実質公債費比率では、瑞穂町は0.8%と低く、また、将来負担比率はなく、健全度が高い財政状況である。

一般会計の町債現在高は、令和2年度以降減少傾向にあり、令和5年度末で約32億円となっている。一般会計の基金現在高は、令和2年度以降増加傾向にあり、令和5年度末で約64億円となっている。

■財政健全化判断比率（令和4年度）

自治体名	実質赤字比率 (%)	連結実質赤字比率 (%)	実質公債費比率 (%)	将来負担比率 (%)
立 川 市	-	-	1.9	-
青 梅 市	-	-	2.2	-
昭 島 市	-	-	0.3	-
福 生 市	-	-	-2.8	-
武 蔵 村 山 市	-	-	1.4	-
羽 村 市	-	-	0.3	-
あ き る 野 市	-	-	4.9	22.1
瑞 穂 町	-	-	0.8	-
市町村平均	-	-	1.2	-

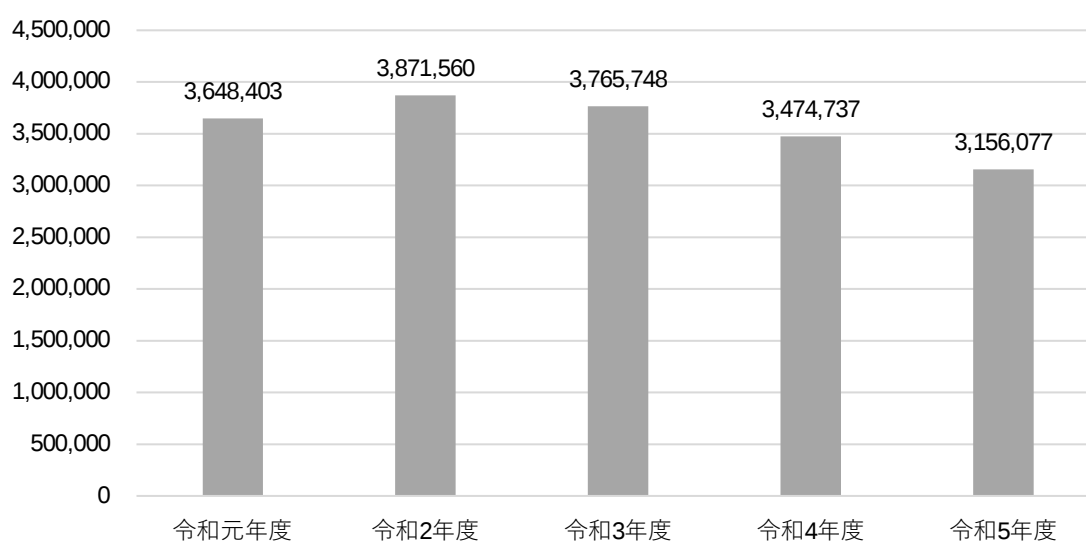
注：実質赤字比率、連結実質赤字比率及び将来負担比率がない場合は、「-」と表記している。

注：平均値は加重平均である。

出典：令和4年度市町村決算状況調査結果（東京都総務局行政部）

■瑞穂町一般会計町債現在高の推移

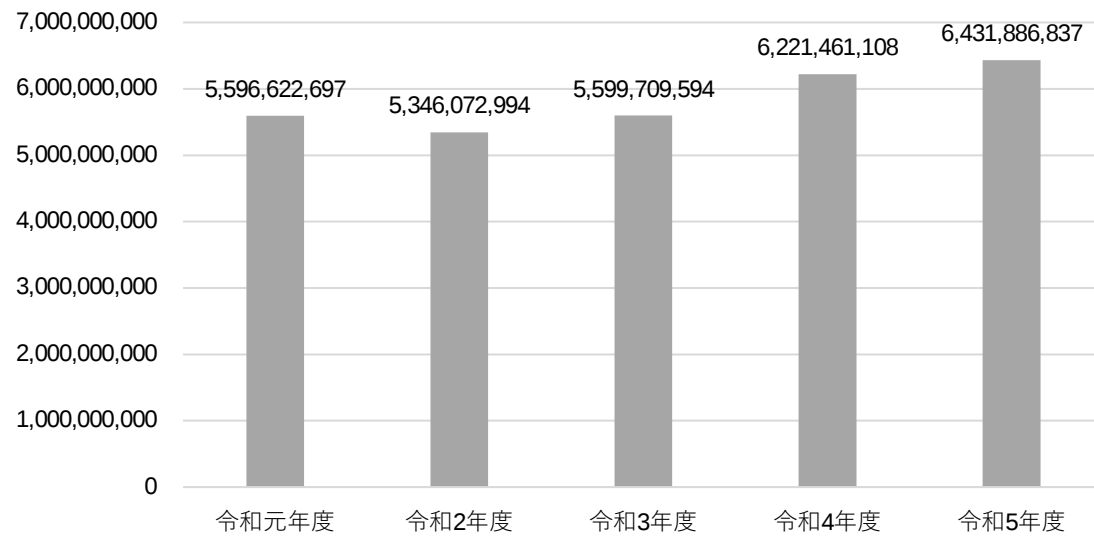
（単位：千円）



出典：瑞穂町事務報告書

■瑞穂町一般会計基金現在高の推移（各年度末）

（単位：円）



出典：瑞穂町決算書

7) 職員数

瑞穂町の職員数は 223 人で、業務経験は 20 年程度の中堅層職員が多い。

■職員数

(単位：人)

自治体名	総数									一般行政 職平均給 料月額 (百円)	一般行政職平 均経験年数
	一般行政 職	税務職	医師・ 歯科医 師職	薬剤 師・医 療技術 職(栄養 士を含 む)	看護保 健職	福祉職	技能労 務職	その他			
立川市	1,072	766	72	0	20	35	97	79	3	3,197	19年11か月
青梅市	1,520	558	61	0	4	25	0	58	814	3,131	20年8か月
昭島市	647	494	48	0	6	19	17	34	29	3,127	20年2か月
福生市	395	336	28	0	0	15	0	13	3	3,025	16年1か月
武蔵村山市	393	323	38	0	2	14	0	14	2	2,949	19年4か月
羽村市	377	304	30	0	2	17	0	7	17	3,139	20年10か月
あきる野市	470	382	36	0	4	14	23	9	2	3,095	18年1か月
瑞穂町	223	192	18	0	0	5	0	0	8	3,248	19年8か月
多摩地域計	25,627	16,785	1,699	70	549	1,044	2,030	1,345	2,105		
特別区	63,443	38,030	2,024	68	604	2,067	13,940	5,663	1,047	2,974	17年7か月
東京都計	89,993	55,319	3,756	151	1,181	3,174	16,061	7,039	3,312		

注：「その他」には、海事職、消防職、企業職、教育職（高等学校（特殊・専修・各種）、小・中学校（幼稚園）、その他）、臨時職員が含まれる。

出典：東京都区市町村年報 2022（第 50 号）（東京都総務局行政部）

8) DX の進捗状況

瑞穂町の DX 推進体制および自治体業務の DX は、未実施項目が前者で2つ、後者で1つと都内区市と概ね同水準、町村比較では極めて高い実施率となっている。

住民サービスの DX では、マイナンバーカードの保有割合が7割と平均的な値である一方で、子育て・介護 26 手続きおよびよく使う 32 手続きのオンライン化状況は、前者が92%、後者が62%であり、都内全市区町村の中でも高い値となっている。

よく使う手続きのオンライン化状況でも、瑞穂町は周辺自治体と比べオンライン化が進んでいる。周辺自治体の中では立川市が高い実施率だが、子育て・介護 26 手続きのオンライン化状況は 19%と低い。昭島市は研修・講習・各種イベント等の申込のオンライン化状況が高い値であるほか、瑞穂町は文化・スポーツ施設等の利用予約等において、立川市に次いでオンライン化が進んでいる。

■自治体 DX の推進体制等

	立川市	青梅市	昭島市	福生市	武蔵村山市	羽村市	あきる野市	瑞穂町
CIOの任命	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施
CIO補佐官等の任命	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施
全体方針策定	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施
全庁的な体制構築	実施	実施	実施	実施	実施	未実施	実施	実施
外部人材活用	未実施	未実施	未実施	実施	実施	実施	実施	未実施
職員育成の取組	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施
全職員対象研修の実施	実施	実施	実施	実施	実施	未実施	実施	実施

■自治体業務の DX

	立川市	青梅市	昭島市	福生市	武蔵村山市	羽村市	あきる野市	瑞穂町
AIの導入状況	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施
RPAの導入状況	実施	実施	実施	実施	実施	実施	未実施	未実施
テレワークの導入状況	未実施	実施	実施	実施	未実施	実施	実施	実施

■住民サービスの DX

	立川市	青梅市	昭島市	福生市	武蔵村山市	羽村市	あきる野市	瑞穂町
マイナンバーカードの保有状況	72%	74%	72%	71%	72%	71%	72%	70%
子育て・介護26手続きのオンライン化状況	19%	23%	85%	100%	100%	8%	50%	92%
よく使う32手続きのオンライン化状況	48%	45%	50%	56%	38%	38%	43%	62%

■よく使う手順のオンライン化状況

	立川市	青梅市	昭島市	福生市	武蔵村山市	羽村市	あきる野市	瑞穂町
図書館の図書貸出予約等	90.0%	81.0%	80.1%	75.9%	70.1%	65.4%	14.5%	62.9%
文化・スポーツ施設等の利用予約等	100.0%	—	21.1%	—	44.3%	26.7%	15.7%	96.5%
研修・講習・各種イベント等の申込	—	—	68.0%	7.7%	—	9.5%	—	3.6%
犬の登録申請、死亡届	37.3%	2.2%	0.0%	5.4%	0.4%	1.0%	0.6%	0.0%
入札参加資格審査申請等	100.0%	100.0%	100.0%	—	100.0%	94.2%	100.0%	100.0%
入札	100.0%	100.0%	100.0%	91.5%	100.0%	90.9%	41.1%	100.0%
転出届	3.3%	3.9%	3.2%	1.8%	0.0%	—	1.8%	0.8%

出典：自治体 DX の取組に関するダッシュボード（最終更新日：2024 年 7 月 12 日）（デジタル庁）

3章 関連計画等

1. 分野別の計画

1) 主な計画の種類と期間

各分野別の計画には、それぞれ計画期間が設定されている。第5次瑞穂町長期総合計画基本計画の計画期間と比較すると次のとおりである。

■次ページからの表の凡例

-  : 第5次長期総合計画の計画期間
-  : 第5次長期総合計画の期間中に改定または新規に策定された計画
-  : 第5次長期総合計画と同時に終了する計画
-  : 上記以外の計画

計画名	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
第5次瑞穂町長期総合計画															
第5次瑞穂町長期総合計画前期基本計画															
第5次瑞穂町長期総合計画後期基本計画															
デジタル田園都市国家構想の実現に向けた瑞穂町まち・ひと・しごと創生総合戦略															
第5次瑞穂町地域保健福祉計画															
第2次瑞穂町スポーツ推進計画（後期計画）															
瑞穂町生涯学習推進計画															
瑞穂町新型インフルエンザ等対策行動計画															
第3期瑞穂町データヘルス計画・第4期特定健康診査等実施計画															
第2期いのち支える瑞穂町自殺予防行動計画															
瑞穂町障害者計画・第7期障害福祉計画・第3期障害児福祉計画															
瑞穂町第9期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画															
第2次瑞穂町子ども・子育て支援事業計画															
瑞穂町子ども計画															
第2次瑞穂町教育基本計画（後期計画）															
町立学校における働き方改革推進プラン															
第四次瑞穂町子ども読書活動推進計画															
瑞穂町学校施設長寿命化計画															
瑞穂町コミュニティ振興計画（改訂版）															
第6次瑞穂町男女共同参画社会推進行動計画															
瑞穂町令和モデルプラン															

計画名	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
第4次瑞穂町国際化推進計画															
瑞穂町農業振興計画															
瑞穂町産業振興ビジョン															
瑞穂町工業振興計画															
みずほまちシティプロモーション 基本方針															
瑞穂町地域防災計画 (令和7年度改定予定)															
瑞穂町業務継続計画(BCP)【地震 編】															
瑞穂町耐震改修促進計画															
瑞穂町国土強靱化地域計画															
瑞穂町国民保護計画															
第2次瑞穂町環境基本計画 (令和6年度一部改訂)															
第三次瑞穂町地球温暖化対策実行 計画															
瑞穂町一般廃棄物処理基本計画															
瑞穂町緑の基本計画															
瑞穂町都市計画マスタープラン															
瑞穂町立地適正化計画															
瑞穂町多摩都市モノレール新駅周 辺まちづくり基本構想															
多摩都市モノレール延伸を契機と した瑞穂町まちづくり基本計画															
瑞穂町町営住宅長寿命化計画															
瑞穂町橋りょう長寿命化修繕計画															
瑞穂町無電柱化推進計画															

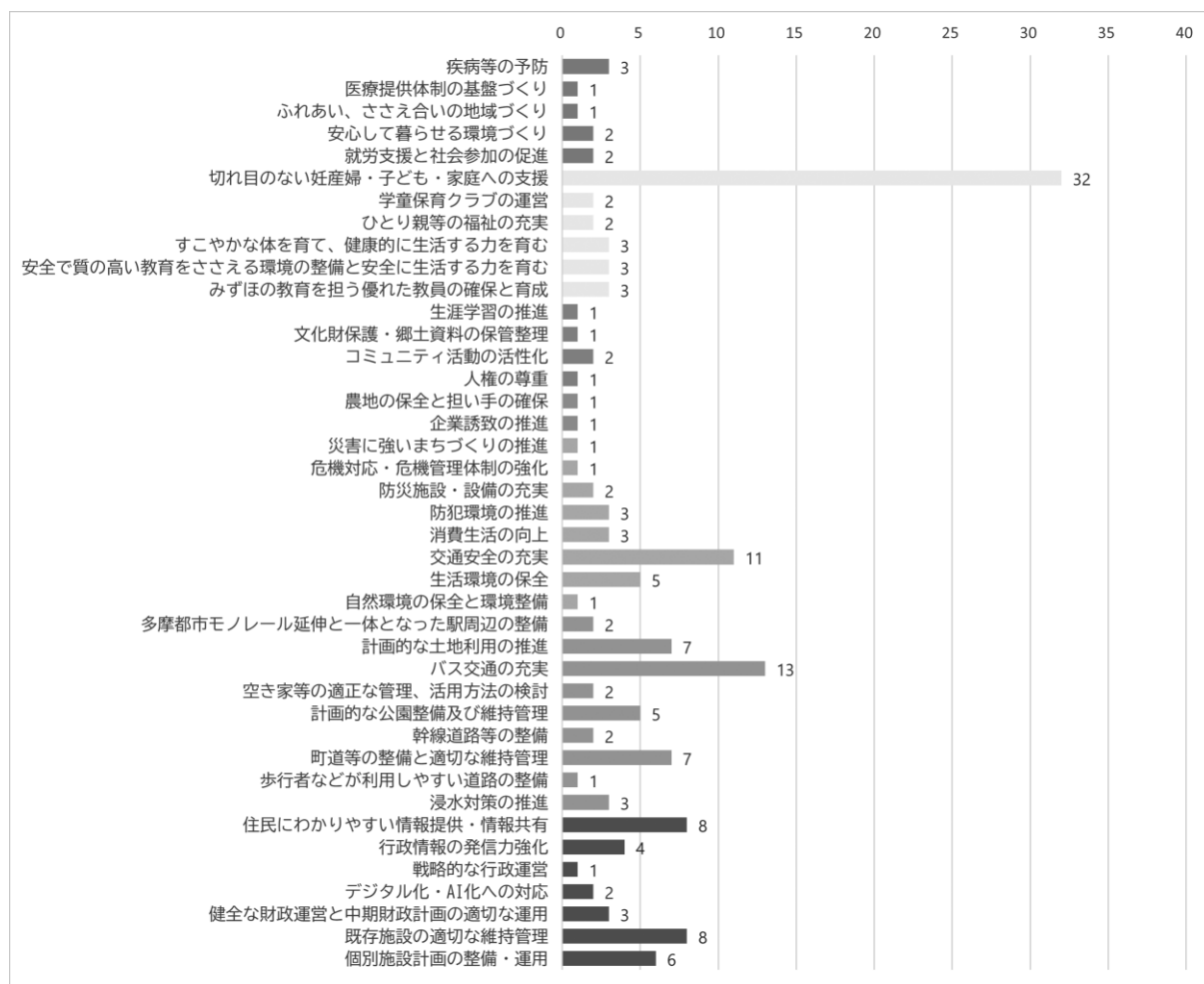
計画名	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
瑞穂町下水道プラン															
瑞穂町公共下水道ストックマネジメント計画															
瑞穂町公共下水道業務継続計画															
瑞穂町下水道総合地震対策計画書															
瑞穂町上下水道耐震化計画（上下水道）															
瑞穂町雨水管理総合計画															
協働事業ガイドライン															
瑞穂町における社会貢献活動団体との協働に関する指針															
第6次瑞穂町行政改革大綱（令和6年度改定予定）															
第6次行政改革大綱実施細目（令和6年度改定予定）															
第4次瑞穂町定員適正化計画															
瑞穂町DX推進方針実施計画															
瑞穂町公共施設等総合管理計画															
瑞穂町公共施設個別施設計画															

4 章 各種意見

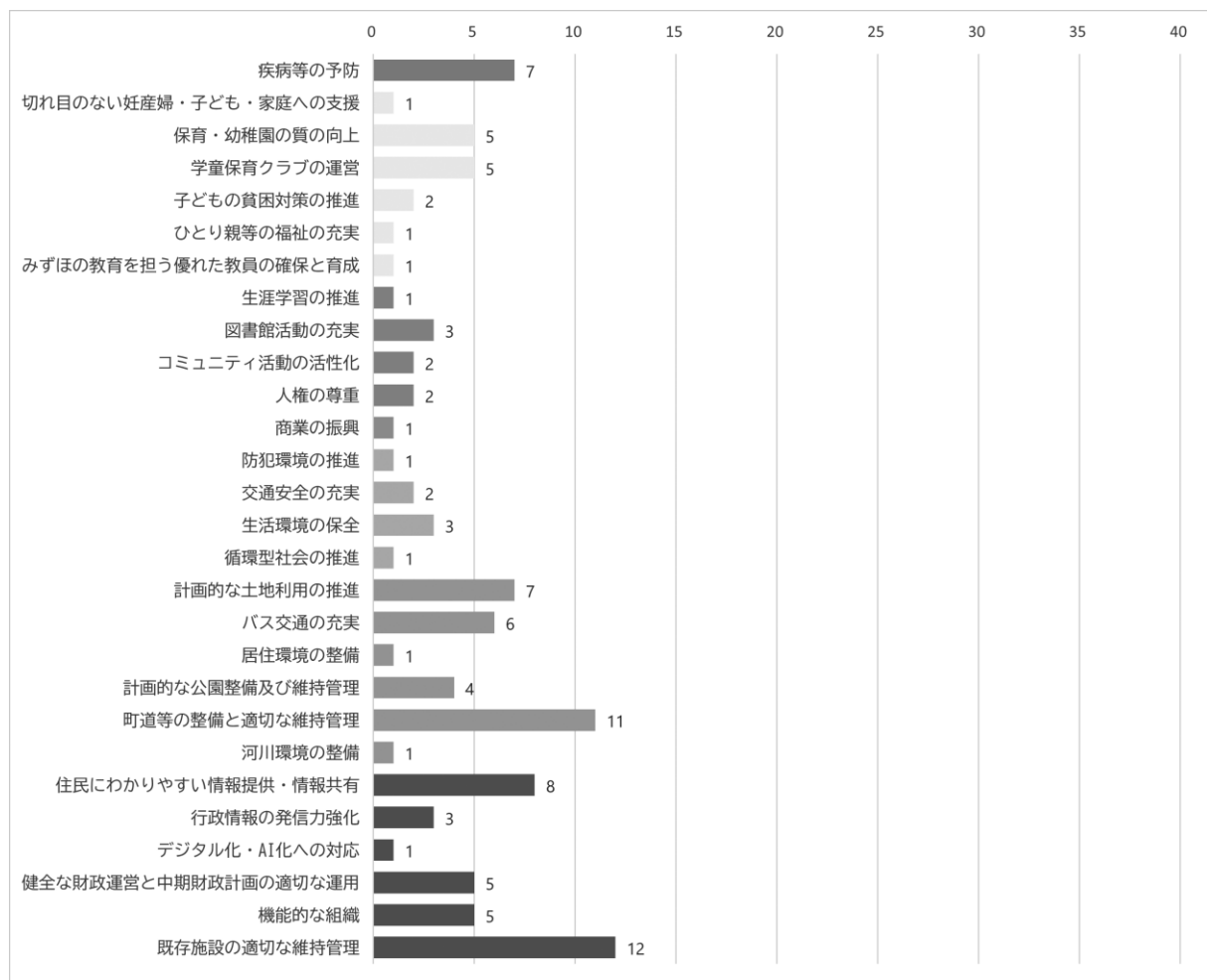
1. 町長への手紙の分析

令和3～5年度の3ヶ年における「町長への手紙」として住民等から寄せられた意見数の実績は、令和3年度が313件、令和4年度が166件、令和5年度が225件であった。これら意見の分析を行い、前期基本計画のどの施策に対し、どの程度意見が寄せられたかを整理した。また、参考として、コロナ禍以前の令和元年度分（134件）についても同様の整理を行った。

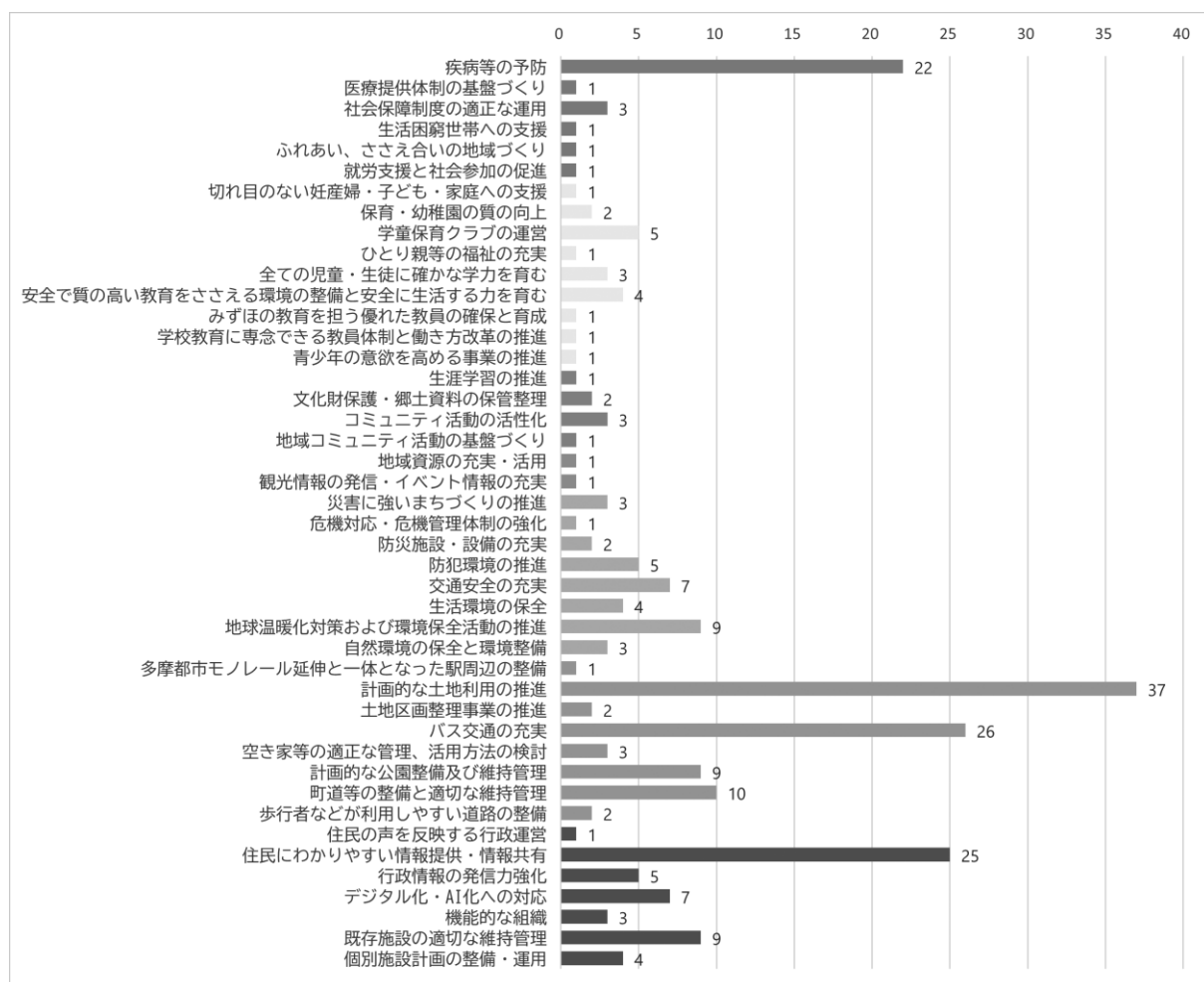
■施策に対する意見数の分布 <令和5年度分>



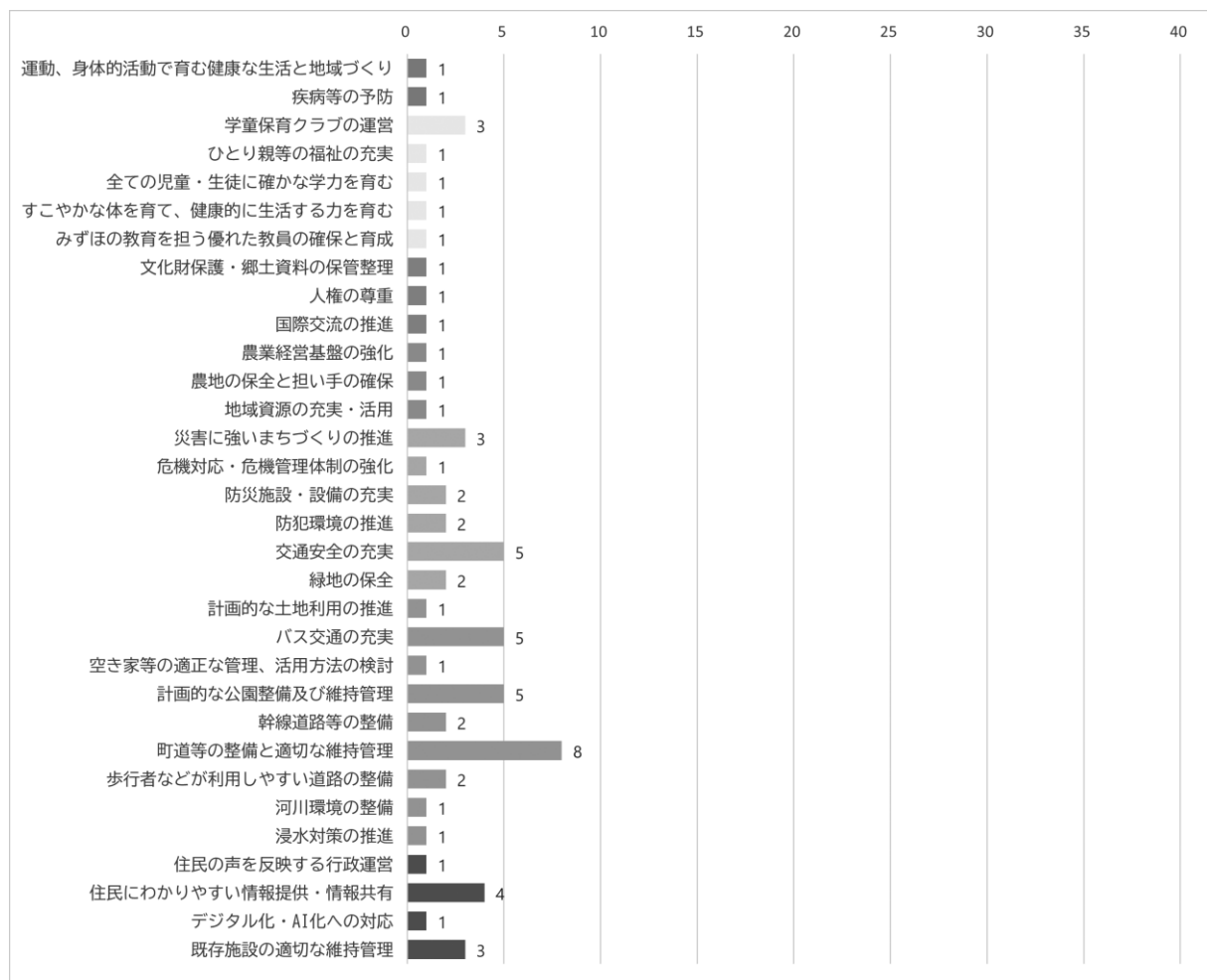
■施策に対する意見数の分布 <令和4年度分>



■施策に対する意見数の分布 <令和3年度分>



参考：施策に対する意見数の分布 <令和元年度分>



2. みずほ小・中学生議会における一般質問の内容分析

令和3～5年度の3ヶ年におけるみずほ小・中学生議会での議員一般質問の実績は、令和3年度が12件、令和4年度が8件、令和5年度が9件であった。これら質問内容の分析を行い、小・中学生議員が瑞穂町のどんなところが気になり、それに対して何ができると考えているのかを、それぞれ「気になっていること」「具体的な提案」として整理した。

■一般質問の内容に見る、瑞穂町で「気になっていること」と「具体的な提案」

気になっていること	具体的な提案
人々のふれあう時間、ふれあう場所がなくなっている	キッチンカーで高齢者への宅配サービス
	都立瑞穂農芸高校とのみずほブランド食材のレシピ開発
	新庁舎内のランチ・カフェスペースの新設
減ってきている自然を取り戻し、動物が住める環境を増やしたい	動物の住める場所を残すために、自然を残す
	動物が安心して住めるきれいな町にするために、道端にゴミを捨てないように、ポイ捨て防止活動を行う
	植物を増やすために、歩道に花壇を作るなどして植える場所を増やす
	捨てられた犬や猫などを各学校で飼育する
	動物に触れあうイベントを行い、飼い主と動物の愛があふれる機会とする
自然を守り魅力的な町を作ることで、笑顔あふれる瑞穂町にしたい	六道山に生えている杉を少しずつ伐採し、代わりに落葉樹、広葉樹、花粉をあまり出さない種類の杉の苗木を植える
	瑞穂ブランドを扱うカフェを作る
	地域の人が自然と触れ合える機会として、六道山でゴミ拾い活動、木の管理などを体験するイベントを企画
瑞穂町の自然を生かした施設を作り、アウトドアで観光客を集めたい	瑞穂モール跡地から六道山にかけて、キャンプ場やアクティビティなどを整備（お金の面では、町民の税金から一人500円を徴収し、残りはクラウドファンディングで）
モノレールの延伸計画により多くの来訪者が見込まれるものの、施設の閉店・閉鎖等が続いている。町に住む人々の充実とともに、観光客に来てもらえる町にしたい	駅周辺の公有地を利用したカフェスペースの設置
	瑞穂町へ訪れた訪問客へPRする「西多摩の魅力を発信する」アンテナショップの設置
	瑞穂町から都心へ働きに出る人々が増えることを見込んだ夜間も営業する「スーパーマーケット」を
町外の人が瑞穂町に遊びに来	家族が楽しむための施設を駅前に作る

気になっていること	具体的な提案
たい、住みたいと思える町にしたい	団地を整備し憩いの場所を作る
家族で楽しむ場所が少ない	家族が楽しむためのショッピングモール・映画館などの施設を増やす
	地産地消のレストランなどの施設を増やす
	町の自然を多く残す
瑞穂町をもっとにぎやかにしたい	特産品を活用したレストランや売店、花畑などを要した「瑞穂パーク」の建設
瑞穂町をもっと楽しくにぎやかな町にしたい	瑞穂音頭を利用した新しい創作ダンスやスカイホールでのダンス大会により、伝統を活かして地域活性化
	自然をもとに作るアスレチック「自然共生型アウトドアパーク・フォレストアドベンチャー」のような施設を、野山北・六道山公園の遊びの森をリニューアルしたり、林などをうまく利用したりしてつくる
コロナで売り上げが減少しているお茶・お菓子の特産品の使い道	水道の蛇口からお茶を出したり、特産品とコラボしたり、若者や高齢者に人気の製品を作る
瑞穂町を盛り上げる	特産品を活用した食品の開発
	カフェや自動販売機などを設置し、特産品を手軽に食べられる機会を持てもらう
	トゥクトゥクなどの新しい移動手段の提案
食料自給率が低く輸入食料品が多い	「牛乳でスマイルプロジェクト」に参加し牛乳の消費拡大
	清水牧場と連携を図り、ジェラートアイスや瑞穂町の小中学校給食に提供できれば、農業の活性化、牛乳の消費拡大に貢献できる
町のゴミをなくしたい	町にゴミ箱を増やす
	町内の人が意識的にゴミを拾ったり、看板などを利用して呼びかけを行う
	リサイクルをする、給食を残さない
ゴミの問題を解決したい	清掃マップを作成し、ごみを捨てない意識や環境に対する関心を高める
綺麗な瑞穂町にする	こどもがデザインしたゴミ箱を設置することで利用者がゴミをポイ捨てしない
	こどもがデザインしたエコバックによってゴミを持ち帰る意識付けを
	デザインコンクールを開催し、ごみ問題に関して多くの人の関心を集める

気になっていること	具体的な提案
今よりもすごしやすい町にしたい	ごみのポイ捨てをなくす、公共施設のルールを守る
	交通ルールを守り事故を減らす
バス停に屋根がなく、雨の日に濡れてしまう	利用者の多いバス停やコミュニティバスのバス停に設置
バス停にイスや日影がない	バス停に腰を掛けられるイスと日影をつくる
誰もが安心安全にらせる町にしたい	危険な道にガードレールや信号、カーブミラーの設置
	子どもたちが安心して遊べる公園や広場の設置
公園の遊具に高学年向けのものがあまりない	年齢差があっても楽しむことが出来る公園を設置（その際、安全を考慮したり、みずほまるに興味を持ってもらえるような遊具を設置する）
瑞穂町に街灯が少ない	自作の危ない場所マップを参照し、街灯が少ない箇所・必要な箇所への設置
安全な学校、災害に負けない、安全に住み続けられる街にしたい	故障している冷暖房の修理とバリアフリーへの対応
	非常階段の修繕
	災害時対応マニュアルのユニバーサルデザイン化
LGBTQ などの様々な事情がある人が結婚できない	みずほパートナーシップ制度の導入
町の PR を「みずほまる」をさらに前面に出して行いたい	SNS を充実させアピールしていく
	みずほまるグッズを増やす
瑞穂町の工業生産のすごさの PR が足りない	自分たちが作成した、瑞穂町の工業生産のすごさをアピールできる劇の中に登場するヒーローを活用した宣伝
瑞穂町にユニークなものがない	まちの主な公園近くにペットボトルや空き缶の特別なゴミ箱を設置し、お金に換金
『住み続けられるまち』になるために、まちに暮らす人が、誇りを持ってまちづくりに参加できるようにしたい	みんなが楽しめるような場所や、公共設備、公共施設の整備

第5次瑞穂町長期総合計画後期基本計画策定に係る基礎調査報告書

発行日 令和7年3月

発 行 瑞穂町 企画部 企画政策課 企画推進係

〒190-1292 東京都西多摩郡瑞穂町大字箱根ヶ崎 2335 番地

TEL 042-557-0501（代表）

URL <http://www.town.mizuho.tokyo.jp/>

